

令和2年度
SYLLABUS
講義要項

子ども学科

山村学園短期大学

子ども学科 SYLLABUS もくじ

頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名
【教養科目】			【保育の内容・方法に関する科目】			【教職に関する科目】		
1	日本国憲法	中川翔	23	保育・教育課程論	新井英	48	教育方法・技術論	新井英/橋本
2	体育講義	山本	24	保育内容総論 *	相沢	49	教育相談	原田
3	体育実技	山本	25	保育内容健康	新井英	50	教育行政学	新井英/宇田川
4	保育英会話		26	保育内容人間関係	室井	51	保育・教職実践演習(幼稚園) *	相沢/橋本
5	生命倫理	渡邊	27	保育内容環境	野口	【保育者の資質を高める科目】		
6	コンピュータ基礎演習	新井誠	28	保育内容言葉	相沢	52	基礎演習 *	巢立/新井英/室井/宇田川
7	キャリアアップセミナーⅠ *	巢立/新井英/室井/宇田川	29	保育内容表現	鴨志田	53	総合演習 *	相沢/鴨志田/酒井/橋本
8	キャリアアップセミナーⅡ *	相沢/鴨志田/酒井/橋本	30	音楽	福泉/数野/大導寺/町田/福士 中川悠/宮尾	54	乳児小児救命法	酒井/マスターワークス
9	保育入門	相沢/酒井/巢立/室井/山村	31	図画工作	酒井	55	アウトドア演習A	新井英/井上
【保育の本質・目的に関する科目】			32	幼児体育	鴨志田	56	アウトドア演習B	堀口/山村
10	保育原理 *	室井	33	乳児保育Ⅰ	巢立	57	ソーイング演習	成田
11	教育原理 *	宇田川/近喰	34	乳児保育Ⅱ	山田	58	ナチュラルアート	酒井
12	子ども家庭福祉	橋本	35	子どもの健康と安全	田中	59	ダンスムーブメント	鴨志田
13	社会福祉	橋本	36	障がい児保育	宇田川	【実習科目】		
14	子ども家庭支援論	北條	37	社会的養護Ⅱ	宇田川	60	実習指導Ⅰ *	橋本/相沢/宇田川/巢立/室井
15	社会的養護Ⅰ	巢立	38	子育て支援	室井	61	実習指導Ⅱ *	橋本/相沢/宇田川/巢立/室井
16	保育・教職論	野口	39	健康と人間関係の指導法	新井英/室井	62	実習指導Ⅲ *	橋本/相沢/宇田川/巢立/室井
17	特別支援教育	宇田川/近喰	40	環境の指導法	野口	63	保育実習Ⅰ *	室井/巢立
【保育の対象の理解に関する科目】			41	言葉と表現の指導法	相沢/鴨志田	64	施設実習Ⅰ *	宇田川/巢立
18	保育の心理学 *	巢立/山村	42	造形表現の探究	酒井	65	保育実習Ⅱ *	橋本
19	子ども家庭支援の心理学	原田	43	音楽表現の探究	福泉	66	施設実習Ⅱ *	宇田川/巢立
20	子どもの理解と援助	富田	44	子ども文化演習A	大島/尾崎	67	教育実習Ⅰ *	相沢/巢立
21	子どもの保健	田中	45	子ども文化演習B	鴨志田/酒井/福泉	68	教育実習Ⅱ *	相沢/巢立
22	子どもの食と栄養	田中	46	ピアノA	数野/大導寺/福士/宮尾	カリキュラムツリー/実務教員略歴		
			47	ピアノB	数野/大導寺/福士 町田/中川悠			
						* 実務教員科目		

教 養 科 目

授 業 科 目 名	日本国憲法			教員名	中川 翔伍		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔 66条の6 〕						卒業認定・学位授与方針 DP2
授業内容を示すキーワード	憲法、自由、人権、公共の福祉、三権分立、地方自治						
授業の概要	私たちは数多くの法が張り巡らされた社会に生きています。目に見えないので意識しにくいとは思いますが、皆さんの誰もが法律と共に生活しています。そして、全ての法律の基本となっているのが憲法です。憲法はとっつきにくいというのが正直なところだと思います。しかし、本講義を受講した後、きっと皆さんはニュースや新聞に書いてあることの意味がわかるようになるでしょう。それは皆さんが世界を広げたということです。皆さんが豊かな教養を持った素敵な先生になることを祈念して、わかりやすく憲法をお伝えします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 憲法理念や国家の成り立ち等の基礎的な教養を習得し、人権感覚を芽生えさせること 【到達目標】 芽生えた人権感覚等を咀嚼し、幼児教育に応用・実践できること						
授業の方法等	授業と小テスト(第2講より開始)を軸にします。その日学んだことをその日に小テストで確認し、講義時間内に解説まで行います。小テストの返却は次回の講義の冒頭で行います。 授業は講義形式を基本としますが、適宜ソクラテスメソッドを用いて双方向的に行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕 58% ■授業への取り組み・態度(小テスト含む) 42%						
教科書	「いちばんやさしい憲法入門【第5版】(有斐閣アルマ)」初宿等共著 有斐閣 平成8年初版発行						
参考書	「憲法【第7版】」芦部信喜著 岩波書店						
関連科目	社会福祉、子育て支援、子ども家庭福祉						
質問受付の方法	授業後直接又はメール(shogonakagawa2000@gmail.com、nakagawa@maru-soleil.jpいずれも可)で受け付けます。						
履修上の注意	授業に関心が持てないこともあると思いますが、周りに迷惑をかける行為一切を禁じます。最低でも自己責任の範疇に抑えてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		自己紹介、ガイダンス、憲法総論
	1	〈予習〉テキストの目次や気になるところを読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		立憲民主政と改憲論(問題状況の把握にとどめる)、天皇制
	2	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		子どもの人権、外国人の人権、公共の福祉(制約)、労働基本権
	3	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		平等権、幸福追求権等各権利
	4	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		精神的自由権① 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離、学問の自由
	5	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		精神的自由権② 表現の自由(1)(表現内容規制と内容中立規制、知る権利、検閲)
	6	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		精神的自由権③ 表現の自由(2)(結社、集会、通信)
	7	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		経済的自由権① 職業選択の自由、営業の自由
定 期 試 験	8	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		経済的自由権② 財産権、正当補償
	9	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		人身・居住移転の自由、刑事手続上の権利
	10	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		社会権① 生存権、教育を受ける権利
	11	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		社会権② 勤労権、参政権、その他社会権
	12	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		三権分立、国会、内閣
	13	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		裁判所と司法審査制
	14	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		地方自治
	15	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		◆定期試験〔 筆記 〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕 30分

授 業 科 目 名	体育講義			教員名	山本 恵弥里		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 66条の6 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 66条の6 〕						卒業認定・学位授与方針
							DP2
授業内容を示すキーワード	体育、スポーツ、健康						
授業の概要	体育に関する基礎的な理論やスポーツ、運動、健康づくりの実践や指導に関する基礎的知識の習得を目指します。運動技能を身につける(学習する)プロセスに加え、社会のなかでどのような文化としてスポーツが存在するかなど、スポーツに関する幅広い知識を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 近年、生活の質の向上を目指す機運の向上や健康志向の高まりを背景に、スポーツや運動が社会的関心事のひとつとなっている。本講義では、スポーツを多様な視点から概観し、基礎的知識の習得をねらいとする。						
	【到達目標】 体育、スポーツ、運動、健康に関する基礎的な理論を理解することができるとともに、実践や指導に関する基礎的知識を身につける。						
授業の方法等	プレゼン資料を用い講義形式で行う。定期試験は、授業内容から出題します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕 60% ■授業への取り組み・態度 40%						
教科書	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。						
参考書	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。						
関連科目	体育実技、幼児体育、保育内容健康、保育内容表現						
質問受付の方法	授業の前後にいつでも受け付けます。						
履修上の注意	質問は常時受け付けます。積極的に参加することを望みます。 理由のない欠席、遅刻は減点対象になります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション 授業内容、評価の方法の説明
	1	〈予習〉シラバスを読む 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	2	体育とスポーツ スポーツとは何か 〈予習〉スポーツについて調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	3	体について知る1 身体の構造と機能 〈予習〉骨、筋の名称について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	4	体について知る2 現代の健康問題 〈予習〉健康問題についてい調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	5	コンディショニング 〈予習〉栄養、休養、運動の関わりについて調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	6	飲酒、喫煙、薬物 〈予習〉飲酒、喫煙、薬物について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	7	病氣と怪我 〈予習〉運動に関する病氣や怪我について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	8	スポーツの歴史1 古代ギリシャ、古代ローマ 〈予習〉配付資料を読む 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	9	スポーツの歴史2 中世、近代 〈予習〉配付資料を読む 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	10	現代社会とスポーツ 〈予習〉配付資料を読む 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	11	スポーツ文化1 文化とは何か 〈予習〉文化について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	12	スポーツ文化2 スポーツ文化の内容 〈予習〉配付資料を読む 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	13	スポーツマンシップとフェアプレイ 〈予習〉スポーツマンシップとフェアプレイについて調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
	14	スポーツと産業 〈予習〉配付資料を読む 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
15	まとめ 〈予習〉これまでの配付資料等をまとめる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	体育実技			教員名	山本 恵弥里		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	実技
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔66条の6〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP2	
授業内容を示すキーワード	スポーツ、体育、運動						
授 業 の 概 要	健全な発育や心身の健康の維持・増進には身体を動かすことが重要な役割を果たします。本授業では、スポーツを教材にし、実践を通して心身の健康について理解することを目指します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 本授業ではスポーツ種目や様々な運動を通して、楽しみながら健康づくりについて学び、実践していく。加えて、協働を通じコミュニケーション能力を高めることをねらいとする。 【到達目標】 スポーツ種目や運動の実践を通して、心身の健康を維持し、その増進を図る。また、他者との協働を行う中でコミュニケーション能力を培う。						
授業の方法等	体育館において実技形式で行う。基礎的な技術やルール、競技特性を理解するための時間を確保し、その上でゲームを行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔実技〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教科書	なし(適宜資料を配付)						
参 考 書	なし(適宜資料を配付)						
関 連 科 目	体育講義、保育内容表現、言葉と表現の指導法、幼児体育、ダンスムーブメント						
質問受付の方	授業前後の時間帯に、体育館または講師控室にて。						
履 修 上 の 注 意	・授業の中では安全を守ることに對して十分に注意しながら行って下さい。 ・運動に適した服装(ジャージなど)、運動靴を必ず用意し、水分補給などスポーツを楽しむ上で必要なものを持参しましょう。 ・積極的、協力的な態度での授業参加を期待します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション	
	1	〈予習〉シラバスを読む 45分 〈復習〉これから行うスポーツ種目について調べる 45分
	2	からだほぐしの運動 〈予習〉ストレッチなどについて調べる 45分 〈復習〉授業内で行った運動を実践する 45分
	3	卓球1 ラケットに慣れる 〈予習〉卓球について調べる 45分 〈復習〉卓球のゲームを調べる 45分
	4	卓球2 シングルのゲーム 〈予習〉シングルのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	5	卓球3 ダブルスのゲーム 〈予習〉ダブルスのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	6	卓球4 団体戦 〈予習〉団体戦について調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	7	バレーボール1 ボールに慣れる、パス練習 〈予習〉バレーボールについて調べる 45分 〈復習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分
	8	バレーボール2 サーブ練習、ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	9	バレーボール3 ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	10	バレーボール4 チームの連係、ゲームを行う 〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	11	バスケットボール1 パス、ドリブル、シュート 〈予習〉バスケットボールについて調べる 45分 〈復習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分
	12	バスケットボール2 3×3のゲーム 〈予習〉3×3でのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	13	バスケットボール3 オールコートでのゲーム 〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	14	バスケットボール4 攻撃と守備の連係、ゲームを行う 〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	15	バスケットボール5 様々なシュート、ゲームを行う 〈予習〉バスケットボールについて調べる 45分 〈復習〉授業を振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔実技〕75分 ◆振り返り・フィードバック〔実技試験の講評を行う〕15分	

授 業 科 目 名	保育英会話			教員名			
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔 66条の6 〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP2	
授業内容を示すキーワード	幼稚園 英会話						
授 業 の 概 要	保育園や幼稚園、認定こども園等で使うであろう英語の学習をします。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教科書に沿って内容を理解し、よく使う表現を反復練習して役割を決めて使い慣れるようにする。 【到達目標】 保育園や幼稚園、認定こども園等に日本語が苦手な子どもや親がいた場合に英語を使って、少しでも対応できるようにする。						
授業の方法等	演習形式で授業を進めます。教科書に沿って授業を進めるので、教科書を持参してください。また、会話の聞き取りをしてペアで練習するのでノートを毎回持参する必要があります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕 30% ■授業への取り組み・態度 70%						
教 科 書	「保育の英会話」萌文書林 赤松直子、久富陽子著						
参 考 書	適宜紹介、資料を配付します。						
関 連 科 目	保育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	授業時間中に質問を受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	授業中に寝る・周りに迷惑になるような私語は授業の妨げとなる為、【授業への取り組み・態度】を厳格に評価し、減点対象とします。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		テキストに沿って進めます。第一回は「お名前を教えて下さい」というテーマで挨拶の学習
	1	〈予習〉Unit1を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉授業の内容を忘れる前に反復練習。100分
	2	「園ようこそ！」というテーマで挨拶の学習 〈予習〉Unit2を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉ミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		時間と数
	3	〈予習〉Unit3を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉前回のミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		地図と道案内
	4	〈予習〉Unit4を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		クラスメイトとの出会い
	5	〈予習〉Unit5を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		天候の挨拶
	6	〈予習〉Unit6を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		食事に関する表現
	7	〈予習〉Unit7を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		生活習慣の表現
	8	〈予習〉Unit8を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
定 期 試 験		子供同士の交流の表現
	9	〈予習〉Unit9を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		怪我と病気
	10	〈予習〉Unit10を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		電話での対応
	11	〈予習〉Unit11を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		遠足
	12	〈予習〉Unit12を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		赤ちゃんのケア
	13	〈予習〉Unit13を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		卒園
	14	〈予習〉Unit14を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		まとめ
	15	〈予習〉Unit15を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと今までの授業の内容を見ないで言えるように反復練習。100分

授 業 科 目 名	生命倫理			教員名	渡邊 智寛		
配 当 年 次	1・2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針 DP2
授業内容を示すキーワード	生命の尊厳、生殖補助医療、遺伝子操作、子どもの自己決定、脳死・臓器移植、安楽死、エンハンスメント(能力増強)、動物の生命、環境問題						
授業の概要	生命に関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにとって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。社会に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 規範が複雑化し価値観が多様化した現代社会では、高度な倫理的判断力が求められます。機械的に対応に陥らず自ら思考し判断する力が欠かせません。専門的な知識を獲得したうえで、倫理的に思考し、判断し、応用する力を養成します。他人の意見を理解し尊重する態度も養います。 【到達目標】 (1)生命倫理的諸問題を具体的かつ詳細に理解する。 (2)各学説の意味と目的を理解する。 (3)各問題に対し自分の意見を形成する。 (4)根拠・理由を示しつつその意見を的確に説明する。						
授業の方法等	「授業形態」は「講義」となっていますが、学生グループによる調査や発表、全員参加の討論が中心となります。自由かつ活発な意見交換を期待しています。授業の終盤では教員による総括と解説がなされます。統計や新聞記事、ビデオ教材などを扱うこともあります。自分の意見とその理由などを論述する課題(授業内提出物)もあります。また、授業内容は、翌週の授業冒頭で振り返り・再確認(小テスト)します。予習・復習の詳細な内容や方法は授業内に指示します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テストの点数〕20%						
教科書	なし(適宜資料を配付)						
参考書	調査・発表テーマに応じ、適宜教員が指示します。						
関連科目	子どもの保健Ⅰ						
質問受付の方法	講義前後の時間帯に、教室または講師控室にて。 bioethics.mn@gmail.com						
履修上の注意	普段から講義内容に関連するテレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けてください。家族や友人と話し合うことなども強く薦めます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	導入：生命倫理学とはなにか
	1 〈予習〉シバズ「キーワード」から3つ以上を選択し、ネット情報を活用してその内容を簡単に把握する 90分 〈復習〉授業内容の整理・確認 90分
	生命の始まりに関わる問題① 生殖補助技術、人工妊娠中絶
	2 〈予習〉生殖補助医療や中絶問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	生命のはじまりに関わる問題② 子供の選択、権利は誰のものか
	3 〈予習〉自己決定権や子どもの権利問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	生命の取り扱いに関わる問題① 遺伝子の選択と排除、ヒトの改良と強化
	4 〈予習〉遺伝子を用いた人間改良問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	生命の取り扱いに関わる問題② 優生思想と障害者
	5 〈予習〉優生思想や障害者問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	生命の質と自己決定に関わる問題① 医師―患者関係、高度医療資源配分問題
	6 〈予習〉医療資源と社会のかかわりに関する問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	生命の質と自己決定に関わる問題② インフォームド・コンセント、QOLとSOL
	7 〈予習〉生活(生命)の質と尊厳の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	生命の終わりに関わる問題① 脳死・臓器移植、安楽死・尊厳死、終末期医療
	8 〈予習〉脳死・臓器移植や安楽死尊厳死問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	生命の終わりに関わる問題② 死の概念、治療の概念、死を認める条件
	9 〈予習〉社会は「死」をどのように位置づけ・扱っているか、事前確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	人間以外の生命に関わる問題① 命を食す、ペットを飼う、動植物を利用する
	10 〈予習〉人間と多種生物とのかかわりに関する問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	人間以外の生命に関わる問題② クジラ・イルカ漁の是非、普遍的道徳と文化相対主義
	11 〈予習〉普遍道徳・文化相対主義の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	環境と人間に関わる問題① 自然とは何か、自然と人間の関係、未来に対する責任
	12 〈予習〉自然と人間のかかわりの歴史的変遷の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	環境と人間に関わる問題② ディープ/シャロー・エコロジー、生命圏全体主義
	13 〈予習〉エコロジー問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	総論① 生命倫理基本四原則＋自律尊重原理、功利主義、(新)優生主義
	14 〈予習〉新優生主義問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
	総論② 自己決定、愚行権、パーソン論、動物・環境の権利
	15 〈予習〉パーソン論や動物に権利に関する問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説と総括〕30分

授 業 科 目 名	コンピュータ基礎演習			教員名	新井 誠		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP2	
授業内容を示すキーワード	コンピュータ・インターネット・セキュリティ・ワード・エクセル・パワーポイント						
授 業 の 概 要	コンピュータの基礎的な使用法と情報セキュリティについて学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 現代社会ではコンピュータを用いた情報活用能力が求められている。この能力は、情報の収集、整理、分析、表現に大きく分けることができる。これらの能力を演習により習得する。						
	【到達目標】 この科目においては、これらの能力の基礎的な部分を習得することを目標とする。 具体的には次の4点である。 ・インターネットの利便性および危険性を踏まえて活用できること。 ・プレゼンテーションソフトを使って、説得力のあるプレゼンができること。 ・ワープロソフトを使って、図や表を取り込んだビジネス文書を作成できること。 ・表計算ソフトを使って、簡単なデータの加工ができること。						
授業の方法等	コンピュータを一人一台ずつ使用し、演習を中心行う。4つテーマについて、各演習課題を印刷して提出します。 事前に指定されたページ(プリント・教科書)を良く読み授業に臨みましょう。 授業終了後は、課題シートに完成した日付を記入してファイルにまとめて下さい。 事前学習・演習(説明を含む)・まとめは各90分とします。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記・実技〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物〔演習課題等〕30%						
教 科 書	「ミニマニュアルシリーズこれだけ！Office 2010」数研出版 数研出版編集部編						
参 考 書	「保育者のためのパソコン講座」阿部正平、阿部和子、二宮祐子(萌文書林)						
関 連 科 目	保育実習Ⅰ・Ⅱ、施設実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ 健康と人間関係の指導法、言葉と表現の指導法、環境の指導法						
質 問 受 付 の 方 法	主に授業の前後に受け付けます。(出勤日であればいつでも遠慮なくどうぞ、可能な限り対応)						
履 修 上 の 注 意	演習データ保存用(講義中に指示する)には、各自のUSBメモリーを使用します。(パソコンのハードディスク内には保存しない) 高等学校共通必修教科「情報」を習得済を前提として演習を進めます。 高校時代に使用した教科書(「情報の科学」or「社会と情報」)を併用します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション（コンピュータを上手に使えるようになるう）
	1	〈予習〉高校時代の教科書で、習得した内容を振り返る。90分 〈復習〉配付資料の空欄をのノートに清書しファイルに綴じる。90分
		OS Microsoft Windows を使ってみよう。
	2	〈予習〉高校時代の教科書で、OSの内容を振り返る。90分 〈復習〉配付資料の空欄をのノートに清書しファイルに綴じる。90分
		インターネットの仕組みを理解して、安全にコンピュータを使うための方法を身につけよう。
	3	〈予習〉教科書p156～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
		パワーポイント 2010を使ってプレゼンをしてみよう。
	4	〈予習〉教科書p108～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
		プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。(1)パワーポイント 2010を使ってみよう。
	5	〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。(2)パワーポイント 2010の便利な機能を使おう。
	6	〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。(3)パワーポイント 2010を使いこなそう。
	7	〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		作成した文書を、パワーポイント使ってプレゼンをしてみよう。
8	〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
	ワード 2010を使って文書を作成してみよう。	
9	〈予習〉教科書p16～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分	
	ビジネス文書を作成してみよう。(1)ワード 2010の便利な機能を使おう。	
10	〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
	ビジネス文書を作成してみよう。(2)ワード 2010の使いこなそう。	
11	〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
	ビジネス文書を作成してみよう。(3)ワード 2010で「おたより」を作ろう。	
12	〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
	表計算アプリを使ってデータ処理をしてみよう。	
13	〈予習〉教科書p66～を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分	
	エクセル2010の基本操作を使ってデータ処理をしよう。	
14	〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
	エクセル2010の便利な機能を使ってデータ処理をしよう。	
15	〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記・実技〕70分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕20分	

授 業 科 目 名	キャリアアップセミナーⅠ(4月～8月)*			教員名	巢立 佳宏 / 新井 英人 / 室井 佑美 宇田川 和久 / 福泉 博子		
配 当 年 次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修						卒業認定・学位授与方針 DP6
授業内容を示すキーワード	学習ゼミ 少人数指導 保育に関する専門性 自己理解						
授業の概要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、幼稚園や保育所、小学校の教員としての実務経験をもとに、保育現場での具体的・実践的な数テーマを取り上げ、それぞれのスキル(専門技術)アップを目指します。 後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心を同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術を定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分(後期)を除く、通年29回の授業を行う。 キャリアアップにつながる行事や学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行う。 学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式で行う。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(キャリアアップの学習 30%、行事参加 20%、ゼミナール 50%) 100%						
教科書	特に使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	基礎演習、総合演習、キャリアアップセミナーⅡ						
質問受付の方法	各担任、学習ゼミ担当に直接質問してください。						
履修上の注意	キャリアアップセミナーⅠ(第2時限)と基礎演習(第1時限)とは、学習内容によって連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。 また、保育体験Ⅳとして、土日祭等を利用した地域のボランティアに参加する活動も必須となります。						

授 業 計 画 (4 月 ～ 8 月) と 時 間 外 学 習		サークル紹介
	1	〈予習〉シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
	2	クラスゼミ 〈予習〉クラスづくりを考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	3	ナチュラル保育検定、やまたんテキスト効果測定事前学習 〈予習〉テキストを使って試験対策をする 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分
	4	保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)① 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	5	防災避難訓練、学生総会 〈予習〉防災避難訓練を考える 45分 〈復習〉防災避難訓練の自己点検・評価 45分
	6	保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)② 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	7	保育体験Ⅱ(園見学)① 〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	8	保育体験Ⅱ(園見学)② 〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	9	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉山緑祭準備の進捗状況の確認 45分
	10	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉山緑祭準備の進捗状況の確認 45分
	11	クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉山緑祭準備の確認 45分 〈復習〉山緑祭準備の進捗状況の確認 45分
	12	クラスゼミ 〈予習〉前期を振り返りクラスづくりを考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	13	小川町七夕準備② 〈予習〉小川町七夕祭の理解と準備の確認 45分 〈復習〉七夕準備の進捗状況の確認 45分
	14	前期試験に向けて、里山保全、動物飼育体験オリエンテーション 〈予習〉体験学習の目的・内容を整理する 45分 〈復習〉体験学習の進め方を確認する 45分
15	小川町七夕準備③ 〈予習〉小川町七夕祭の理解と準備の確認 45分 〈復習〉七夕準備の進捗状況の確認 45分	
定 期 試 験	◆定期試験は行わない	

授 業 科 目 名	キャリアアップセミナーⅠ（9月～1月）＊			教員名	巢立 佳宏 / 新井 英人 / 室井 佑美 宇田川 和久 / 福泉 博子		
配 当 年 次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修					卒業認定・学位授与方針	
						DP6	
授業内容を示すキーワード	学習ゼミ 少人数指導 保育に関する専門性 自己理解						
授 業 の 概 要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、幼稚園や保育所、小学校の教員としての実務経験をもとに、保育現場での具体的・実践的な数テーマを取り上げ、それぞれのスキル（専門技術）アップを目指します。 後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心を同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術を定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分（後期）を除く、通年29回の授業を行う。 キャリアアップにつながる行事や学習の準備活動は、クラス単位又は学年全体で講義・演習形式で行う。 学習ゼミは、希望調査をもとに15名程度の1・2年合同の少人数グループを編制し、ゼミナール形式で行う。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度（キャリアアップの学習 30%、行事参加 20%、ゼミナール 50%） 100%						
教科書	特に使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	基礎演習、総合演習、キャリアアップセミナーⅡ						
質問受付の方法	各担任、学習ゼミ担当に直接質問してください。						
履修上の注意	キャリアアップセミナーⅠ（第2時限）と基礎演習（第1時限）とは、学習内容によって連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。 また、保育体験Ⅳとして、土日祭等を利用した地域のボランティアに参加する活動も必須となります。						

授 業 計 画 （ 9 月 ～ 1 月 ） と 時 間 外 学 習	16	クラスゼミ、TDL振り返り 〈予習〉TDL体験学習の自己点検・評価 45分 〈復習〉クラスでの討議を振り返る 45分
	17	学習ゼミ① 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備をする 45分 〈復習〉振り返り 45分
	18	学習ゼミ② 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備をする 45分 〈復習〉振り返り 45分
	19	保育体験Ⅲ（施設見学） 〈予習〉施設見学の準備 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	20	来学する園児対応の準備、双子ちゃん集まれ参観 〈予習〉来学園児の対応準備を考える 45分 〈復習〉参観の振り返り、来学園児対応準備を確認 45分
	21	実習報告会（1・2年合同） 〈予習〉実習経験を振り返る 45分 〈復習〉報告会の見聞をまとめる 45分
	22	来学した園児と触れあおう 〈予習〉来学園児の対応を確認する 45分 〈復習〉園児対応を自己点検・評価する 45分
	23	鳩山フェスタ準備 〈予習〉鳩山フェスタでの企画を考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	24	学習ゼミ④ 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	25	学習ゼミ⑤ 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	26	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉クリスマス会の目的・準備を確認する 45分 〈復習〉クリスマス会準備の進捗状況の確認 45分
	27	クリスマス会リハーサル 〈予習〉活動内容等を確認する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	28	学習ゼミ⑥ 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	29	学習ゼミ⑦ 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
定 期 試 験		◆定期試験は行わない

授 業 科 目 名	キャリアアップセミナーⅡ（4月～8月）＊			教員名	相沢 和恵 / 鴨志田 加奈 酒井 誠 / 橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修					卒業認定・学位授与方針	DP6
授業内容を示すキーワード	少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授 業 の 概 要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、幼稚園や保育所、小学校の教員等としての実務経験を元に保育現場での具体的・実地的な数テーマを取りあげ、それぞれのスキル（専門技術）アップを目指します。 後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心と同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高める。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術や協調性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図る。						
授業の方法等	教育実習3週間分（前期）を除く、通年27回の授業を行います。 前期は、クラス又は学年単位で責任実習等のテーマ別のキャリアアップ講座を学習します。後期は、行事の準備や、1・2年生合同で15人程度の少人数グループを編制しゼミナール形式での学習を展開します。 専門的な内容への取組となりますので、授業以外にもクラス・グループ・個人による活動・作業が必要となる場合があります。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度（キャリアアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%） 100%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	基礎演習、総合演習、キャリアアップセミナーⅠ						
質問受付の方法	各担任やゼミナール担当に随時間いてください。						
履修上の注意	総合演習（第1時限）とキャリアアップセミナーⅡ（第2時限）は、学習内容によって1限目と連続して実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。						

授 業 計 画 （ 4 月 ～ 8 月 ） と 時 間 外 学 習	1	サークル紹介 キックオフミーティング 〈予習〉紹介内容を準備する 45分 〈復習〉活動内容を確認する 45分
	2	クラスゼミ・個人面談（進路等） 〈予習〉進路等について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	3	ナチュル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習 〈予習〉テキストを熟読する 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分
	4	クラスゼミ・個人面談（進路等） 〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	5	防災避難訓練、学生総会 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	6	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	7	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	8	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	9	小川町七夕準備① 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	10	小川町七夕準備② 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	11	小川町七夕準備③ 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	12	小川町七夕準備④ 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
定 期 試 験		◆定期試験は行わない

授 業 科 目 名	キャリアアップセミナーⅡ（9月～1月）＊			教員名	相沢 和恵 / 鴨志田 加奈 酒井 誠 / 橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針 DP6
授業内容を示すキーワード	少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授業の概要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、幼稚園や保育所、小学校の教員等としての実務経験を元に保育現場での具体的・実際の数テーマを取りあげ、それぞれのスキル（専門技術）アップを目指します。 後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアアップテーマや興味・関心と同じにするゼミの学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高める。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術や協調性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図る。						
授業の方法等	教育実習3週間分（前期）を除く、通年27回の授業を行います。 前期は、クラス又は学年単位で責任実習等のテーマ別のキャリアアップ講座を学習します。後期は、行事の準備や、1・2年生合同で15人程度の少人数グループを編制しゼミナール形式での学習を展開します。 専門的な内容への取組となりますので、授業以外にもクラス・グループ・個人による活動・作業が必要となる場合があります。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度（キャリアアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%）100%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	基礎演習、総合演習、キャリアアップセミナーⅠ						
質問受付の方法	各担任やゼミナール担当に随時聞いてください。						
履修上の注意	総合演習（第1時限）とキャリアアップセミナーⅡ（第2時限）は、学習内容によって1限目と連続して実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。						

授 業 計 画 （ 9 月 ～ 1 月 ） と 時 間 外 学 習	13	クラスゼミ・個人面談 〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	14	学習ゼミ① 〈予習〉ゼミ活動の目的を考え理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	15	学習ゼミ② 〈予習〉ゼミの内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分〈予習〉
	16	双子ちゃん集まれ準備 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	17	双子ちゃん集まれ 〈予習〉活動内容等を確認する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	18	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉活動の内容等を確認する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	19	実習報告会（1・2年合同） 〈予習〉実習経験を振り返る 45分 〈復習〉ワークシートにまとめる 45分
	20	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	21	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	22	学習ゼミ④ 〈予習〉ゼミの内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	23	学習ゼミ⑤ 〈予習〉研究計画等を立てる 45分 〈復習〉振り返り 45分
	24	クラスゼミ（クリスマス会準備） 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	25	クリスマス会リハーサル 〈予習〉演技内容等を確認する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	26	学習ゼミ⑥ 〈予習〉研究計画等を立てる 45分 〈復習〉振り返り 45分
	27	学習ゼミ⑦ 〈予習〉研究計画等を立てる 45分 〈復習〉振り返り 45分
定 期 試 験	◆定期試験は行わない	

授 業 科 目 名	保育入門			教員名	山村 穂高 相沢 和恵/酒井 誠 巢立 佳宏 / 室井 佑美		
配 当 年 次	1	開講時期	半期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	本短大と山村国際高校との連携科目。山村国際高校での授業内で実施。保育所での体験学習。						
授業の概要	1 前半は、保育技術検定2級の筆記試験対策を行い、後半は、絵本の読み聞かせ、手遊び、造形、子どもの病気やケガなど現場での実践的な知識、技能を習得する。 2 夏季休業中には、保育所などでの体験学習を行う予定。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1 保育技術検定2級合格を目指し、言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の筆記試験で合格できるようにする。 2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、造形の技術等の基本的な技能を身につける。 3 保育所での体験学習を行い、保育現場の理解を深める。 【到達目標】 1 保育技術検定2級合格に必要な言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の知識を説明できる。 2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形技術などの基本的な技能を実際に活用することができる。 3 保育所での体験学習を通し、保育の現場の雰囲気を感じ、感じたことを言葉で表現することができる。						
授業の方法等	山村国際高校での授業15回(100分×15回)と保育所での体験学習半日×3日間。						
成績評価の基準と方法	■試験〔前期:筆記/後期:レポート〕 50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教科書	指定なし						
参考書	指定なし						
関連科目	保育士養成に係る科目全般。						
質問受付の方法	授業時間中または授業前後で質問を受け付けます。						
履修上の注意	本短大に入学後、本学保育学科の必要卒業単位数に単位を算入します。保育所での体験学習は本短大の近隣の園で実施する予定。山村国際高校との日程の調整により、内容の変更があるので注意すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	9
	オリエンテーション 〈予習〉なし。 〈復習〉作成したプリントで復習を行う。170分	保育実践―手あそび 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	2	10
	造形表現技術基礎知識の習得① 色彩の基礎知識 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	保育実践―絵本の世界 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	3	11
	造形表現技術基礎知識の習得② 描画技法 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	保育実践―触れ合い遊び 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	4	12
	造形表現技術基礎知識の習得③ 絵の発達段階 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	保育実践―楽器を作る 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	5	13
	言語表現技術基礎知識の習得① 絵本、紙芝居の基礎知識、読み語り 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	保育実践―スタンプ遊び 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	6	14
	言語表現技術基礎知識の習得② 色々な言葉遊び、シアター 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	保育実践―カードを作る 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	7	15
	言語表現技術基礎知識の習得③ 言葉の発達段階 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	保育実践―ペープサートを作る 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
	8	
	それまでのまとめ、確認テストと体験学習準備 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	
体験学習	保育体験学習(近隣保育園にて) 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	
	保育体験学習(近隣保育園にて) 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	
	保育体験学習(近隣保育園にて) 〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	
試 験	◆試験〔 筆記 〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説 〕 30分	◆試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 コメントを入れて返却 〕

保育の本質・目的に関する科目

授 業 科 目 名	保育原理 *			教員名	室井 佑美		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育原理〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	保育所保育 養護 教育 保育思想 保育士 保育所保育指針 子ども・子育て支援新制度						
授業の概要	保育の意義、基本、方法など、保育の原理を学びます。さらに、日本と諸外国の保育の思想、歴史を知り、保育に関連した制度や課題を把握します。そのうえで、「保育とは何か」という保育の本質をとらえ、考えていきます。また、保育に関する問題意識をもち、子どもへの理解、保育現場に対する理解等、様々な力を身につけます。 保育士として保育現場で勤務経験を有する実務家教員であることから、保育現場における保育者の視点、子どもや保護者の視点、地域の住民やその他の視点など、多角的に現状を伝え、保育の専門的知識に活かすことができます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士資格を取得するための必修科目であり、保育士の専門性に関する根本を学ぶ。保育の本質を探究することで、保育者としての資質向上を目指す意欲を養う。						
	【到達目標】 (1) 保育所保育指針、保育内容与方法について説明することができる。 (2) 保育の思想や歴史の変遷をとらえ、現在の保育施策の背景や現状を説明することができる。 (3) 保育の意義を自分なりに示しながら、保育の諸課題について問題意識をもって主体的にこれから求められる保育の姿を考えていくことができる。						
授業の方法等	講義形式を中心に行います。一部授業内で視聴覚教材の使用、演習など行います。 また、リアクションペーパーの作成を求め、自分自身の意見をまとめることを多く行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
教科書	「Workで学ぶ保育原理」佐伯一弥・金瑛珠著 わかば社 2019 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	保育小六法 その他授業中に適宜紹介します。						
関連科目	保育・教職論 教育原理 子ども家庭福祉 など						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室およびリアクションペーパーなどで受け付けます。						
履修上の注意	テキストおよび授業内で配布するプリント等に記載込みます。2穴ファイルなどで資料を整理し、学んだことは一週間にまとめておきましょう。専門用語は用語辞典で調べる、制度に関しては厚生労働省や内閣府子ども・子育て本部のホームページを参照するなどして、主体的に知識を得る学習習慣を身につけてください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず欠席する場合は翌日には研究室に資料を受け取り、課題の把握、授業内容の確認などして主体的に学ぶ意欲を見せるようにしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション、保育とは何か(理念と概念) 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉自分の保育に関する思いを論じる 180分
	2	諸外国における保育・教育思想と歴史の変遷 〈予習〉第1回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉授業内で指定されたワークをテキストに書き込む 90分
	3	日本における保育・教育思想と歴史の変遷 〈予習〉第2回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉授業内で指定されたワークをテキストに書き込む 90分
	4	日本の保育施策の動向(子ども・子育て支援新制度を中心に) 〈予習〉第3回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉テキスト確認テストⅣを解く 90分
	5	保育所の法的・制度的位置づけ、資格・免許について、最新の動向 〈予習〉第4回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉担当分担当された課題を調べる 90分
	6	幼稚園の法的・制度的位置づけ、資格・免許について、最新の動向 〈予習〉第5回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉担当分担当された課題を調べる 90分
	7	認定子ども園の法的・制度的位置づけ、資格・免許について、最新の動向 〈予習〉第6回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉担当分担当された課題を調べる 90分
	8	地域型保育事業(小規模保育、家庭の保育、事業所内保育、居宅訪問型保育)の制度的位置づけ、最低基準 〈予習〉第7回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉テキスト確認テストⅡを解く 90分
	9	多様な保育内容、保育方法(日本、諸外国も含めて) 〈予習〉第8回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉担当分担当された課題を調べる 90分
	10	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の変遷と構成 〈予習〉第9回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉授業内で指定されたワークをテキストに書き込む 90分
	11	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容と詳細 〈予習〉第10回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉授業内で指定されたワークをテキストに書き込む 90分
	12	子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)とその循環(1) 〈予習〉第11回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉テキスト確認テストⅢを解く 90分
	13	子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)とその循環(2) 〈予習〉第12回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉8月の日案を模写する 90分
	14	子育て支援・保護者支援(制度的位置づけ、支援機関や事業、保育者の役割について) 〈予習〉第13回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉配付資料を読み感想を書く 90分
	15	保育における現代的課題と未来に対する展望、保育原理のまとめ 〈予習〉第14回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 90分 〈復習〉定期試験対策資料の作成 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕70分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕20分	

授 業 科 目 名	教育原理 *			教 員	宇田川 和久/近喰 晴子		
配 当 年 次	2	配当年次	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔教育原理〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔教育の基礎的理解に関する科目/教育の理念並び教育に関する歴史及び思想〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	学校教育、教育思想、教育史、学習指導要領、教育制度						
授 業 の 概 要	教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育に携わる保育士・幼稚園教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程、学習指導等に関する基礎的な知識を学習します。 また、教育者として教育現場や教育行政での勤務経験を有する実務教員であることから、教育現場での教育者の視点、子ども・保護者の視点等を多角的に現状を伝え、教育の専門的知識に活かしていく力を養います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教育の目的や意義・方法等について学習し、保育士・幼稚園教諭として必要な基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)教育の意義・目的について理解する。 (2)学校教育の歴史と制度について理解する。 (3)教育の制度について理解する。 (4)教育実践のさまざまな取組について理解する。 (5)教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式で行います。必要に応じて課題を提示し、レポート作成・発表・協議など学生の主体的な取り組みのある授業展開を目指します。また、最近の教育の動向や様々な教育問題等についても学んでいきます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	保育士養成課程「教育原理」小田豊監修、野尻裕子・栗原泰子編著、光生館 2012						
参考書	文部科学省ホームページ						
関連科目	保育原理、教育行政学						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		教育とは何かを考える〔担当:宇田川〕
	1	〈予習〉第1章を読み教育とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	2	教育の目的を考える〔担当:宇田川〕 〈予習〉第1章を読み教育の目的について自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	3	子どもの権利としての教育と福祉〔担当:近喰〕 〈予習〉 児童憲章、児童権利条約(育つ権利)について調べてくる。90分 〈復習〉 授業時に配布したレポートをまとめる。90分
	4	日本における就学前教育と児童福祉〔担当:近喰〕 〈予習〉 学校教育法、児童福祉法等の法律に示された教育・保育の目的を調べてくる。 90分 〈復習〉 授業時に配布したレポートをまとめる。 90分
	5	日本の教育の歴史Ⅰ（昭和20年まで）〔担当:近喰〕 〈予習〉 明治～昭和にかけ活躍した先覚者の業績を調べてくる。 90分 〈復習〉 幼稚園誕生から昭和初期の幼児教育の発展を年表にする。 90分
	6	日本の教育の歴史Ⅱ（昭和20年以降）〔担当:近喰〕 〈予習〉 幼稚園教育要領改訂(S39)、保育所保育指針(S40)頃の時代背景について調べてくる。 90分 〈復習〉 戦後から平成にかけての教育・保育の流れを年表にする。 90分
	7	近代日本までの教育理論〔担当:近喰〕 〈予習〉 寺子屋、手習塾等、庶民教育の実態について調べてくる。90分 〈復習〉 江戸時代の教育についてまとめる。 90分
	8	日本の幼児教育理論〔担当:近喰〕 〈予習〉 三法令に記された教育・保育の理念について調べてくる。 90分 〈復習〉 幼稚園や保育所等に取り入れられている保育について整理する。 90分
	9	諸外国における教育観と子ども観の変遷〔担当:近喰〕 〈予習〉 近代教育に貢献した人物の業績を調べてくる。 90分 〈復習〉 主体性についてカントの理論を参考にレポートをまとめる。 90分
	10	日本の教育制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第3章及び第6章を読み学校とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	11	教育行政の目的と組織〔担当:宇田川〕 〈予習〉第6章を読み教育委員会の役割について調べる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	12	保育内容の変遷〔担当:近喰〕 〈予習〉 保育三項目から保育要領までの保育内容を調べてくる。 90分 〈復習〉 これからの時代を生きていく子どもたちに必要な保育内容についてまとめる。 90分
	13	教育実践の基礎理論〔担当:宇田川〕 〈予習〉第8章を読み教育に関する法律について調べる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	14	教育実践の多様な取り組み〔担当:宇田川〕 〈予習〉第8章を読み教育実践の多様な取り組みについて調べる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	15	生涯学習社会と学校教育〔担当:宇田川〕 〈予習〉第9章を読み生涯学習とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子ども家庭福祉			教員名	橋本 淳一		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子ども家庭福祉〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	保育 保育所 子どもの人権擁護 子ども・子育て新制度 社会的養護						
授 業 の 概 要	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷、子どもの人権、子ども家庭福祉の制度や実施体系、地域子育て支援、子ども虐待・DV、社会的養護、次世代育成支援等子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育が福祉の一分野であることを理解し、保育、子ども・子育て支援を中心に、子どもや家庭に関する実情や制度について、福祉の観点から捉え直すことをめざす。 【到達目標】 保育者に必要な子ども家庭福祉の意義や歴史的変遷、制度と法律、実施体系などを理解している。子育て支援、子ども虐待、障害のある子ども、社会的養護その他子どもと家庭をめぐるさまざまな問題を理解し、その対応を主体的に考えることができる。						
授 業 の 方 法 等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』成清美治・吉弘淳一編著 学文社 2011年						
参 考 書	『保育者のための児童家庭福祉データブック2019』中央法規出版						
関 連 科 目	社会福祉 社会的養護Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション～子ども家庭福祉の意義と保育～
	1	〈予習〉テキスト第1章1・3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	2	子ども家庭福祉の現代的背景 〈予習〉テキスト第2章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	3	子どもの権利とそれを守る取り組み 〈予習〉テキスト第1章2・4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	4	子ども児童家庭福祉の歴史的変遷 〈予習〉テキスト第3章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	5	子ども家庭福祉の主要な法律 子ども家庭福祉の施設と専門職 〈予習〉テキスト第4章1を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	6	世界における子どもの権利の実情① 〈予習〉テキスト第2章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	7	世界における子どもの権利の実情② 〈予習〉前回プリントの読み返し 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	8	子ども家庭福祉の行政と実施機関 〈予習〉テキスト第4章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	9	子ども家庭福祉の施設と専門職 〈予習〉テキスト第5章2第8章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	10	社会的養護の意味と施設 〈予習〉テキスト第3章1第5章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	11	子ども家庭支援の展開～母子保健、子ども虐待・DV、貧困家庭・外国籍の子どもへの対応～ 〈予習〉テキスト第6章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	12	地域子育て支援と子ども・子育て新制度 〈予習〉テキスト第2章5第6章8を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	13	障害のある子どもの福祉 〈予習〉テキスト第3章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	14	授業のまとめ 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
15	問題演習 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り、理解を定着 90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔 試験 〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕 30分	

授 業 科 目 名	社会福祉			教員名	橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔社会福祉〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	ノーマライゼーション アドボカシー 社会福祉基礎構造改革 トウギャザー・ウィズ・ヒム						
授業の概要	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点、社会福祉の法律・制度や実施体系、社会福祉における利用者保護の仕組み、社会福祉の動向と課題等について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 社会福祉と現実の子ども家庭支援や保育がどう繋がっているのかを知るとともに、現代の社会福祉の考え方や体系を理解し、その法律や制度、専門的方法・技術など、子ども家庭支援や保育の現場にいかせる知識の獲得をめざす。 【到達目標】 保育者に必要な社会福祉の理念や概念、歴史、制度と法律、相談援助の理論や方法・技術、及び社会福祉における子ども家庭支援の方策について理解し、適用することができる。						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度 20 %						
教科書	『現代社会福祉のすすめ』馬場茂樹・和田光一編著学文社、2012						
参考書	『国民福祉の動向』厚生統計協会						
関連科目	子ども家庭福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護内容Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	社会福祉の理念と対象、社会福祉における利用者保護に関わる仕組み 〈予習〉テキスト第2章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	2	日本の社会福祉のあゆみ① 前近代から昭和初期まで 〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	3	日本の社会福祉のあゆみ② 戦後の社会福祉の展開 〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	4	イギリスを中心とする欧米の社会福祉のあゆみ 〈予習〉テキスト第4章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	5	社会福祉の法体系と実施機関 〈予習〉テキスト第3章2.3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	6	社会福祉と障害に関する海外事例研究① 〈予習〉テキスト第8章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	7	社会福祉と障害に関する海外事例研究② 〈予習〉テキスト第8章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	8	日本の社会保障・保険制度① 年金・健康保険 〈予習〉テキスト第3章1.2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	9	日本の社会保障・保険制度② 公的扶助・生活保護 〈予習〉テキスト第6章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	10	地域の福祉とボランティア、社会福祉の専門職、相談援助の技術 〈予習〉テキスト第5・7章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	11	子どもと家族の福祉 〈予習〉テキスト第6章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	12	障害をもつ人の福祉 〈予習〉テキスト第6章3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	13	高齢者の福祉 〈予習〉テキスト第6章4を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
	14	授業のまとめ 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着させる 90分
	15	問題演習 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り理解を定着させる 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子ども家庭支援論			教員名	北條 直子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 子ども家庭支援論 〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	①家庭支援の意義 ②家庭支援を取り巻く社会的状況 ③保護者支援(傾聴と信頼関係)とコミュニケーション力 ④関連機関との連携						
授 業 の 概 要	①心豊かな子どもの成長を促す家族の役割を理解します。 ②現在社会の中で取り巻く家庭の状況・問題や課題を意識します。 ③保育者としての支援方法や具体的ななかかわり方を学びます。 ④子育て支援政策を理解し、地域の関係機関等のつながりを理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ①心豊かな子どもを育てる為に、保育者と保護者との信頼関係を築くことが、保育者として基本であることを自覚する。 ②信頼関係を築く具体的な事例を通して、支援方法を認識・実践する。 ③支援政策動向を理解し、地域の関係機関等のつながりを認識する。 【到達目標】 ①子どもへの保育課題、保護者の支援方法を様々な事例を通して、学生なりに解決方法を見いだすことができる。 ②傾聴の必要さを自覚し、保護者に寄り添う行動や言動を実践することができる。 ③子育ての事例を通して、支援課題と地域の関係機関等につなげていく過程を理解する。						
授業の方法等	講義 事例協議・発表を90分授業を15回実施します。 授業の課題に沿ったレポートを12回提出します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60％ ■授業への取り組み・態度(自己発表等) 20％ ■12回のレポート提出 20％						
教科書	「子ども家庭支援論」監修 児童育成協会 松原康雄 村田典子 南野奈津子編集 中央法規2019 * 毎回持参する						
参考書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018 ※他、授業中に適宜紹介します。						
関連科目	子ども家庭福祉 社会福祉 子育て支援 教育相談						
質問受付の方法	授業中、終了後、随時受け付ける。						
履修上の注意	遅刻・欠席はしないこと。配布されたプリントは各自自己管理をし、忘れず持参する。 A4のプリントが入るファイルを用意すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション(授業の流れ及び目標説明) 子ども家庭支援の意義と必要性 〈予習〉児童憲章・児童福祉法・保育所保育指針・幼稚園教育要領を調べる。90分 〈復習〉各学生が調べてきた法的根拠を振り返る。90分
	2	各種制度なかでの保育・子育て支援の位置づけを確認し、支援の目的と機能 〈予習〉各種制度を調べる。 〈復習〉配付されたプリントを見返す。90分
	3	子育て家庭施策・次世代育成支援施策を支える社会の流れ 〈予習〉子ども支援関連用語を調べる。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	4	子育て家庭の福祉を支える社会資源(フォーマルサービス・インフォーマルサービス)の理解 〈予習〉子ども支援関連用語を確認する 90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	5	保育の専門性を活かした家庭支援と意義 〈予習〉ソーシャルワークの役割を確認する。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	6	子どもの育ちの喜びの共有の意義 〈予習〉具体的なコミュニケーションを考える。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	7	保育士に求められる基本的態度(バイステックの7原則) 〈予習〉リフレーミングを考える。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	8	保育士のコミュニケーション力を高める① ジェノグラムを使って子ども・保護者の関係性 〈予習〉配付された事例から子ども・保護者の姿を読み解く。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	9	保育士のコミュニケーション力を高める② 事例を通してジェノグラムを使って課題を分析し、解決手法 〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	10	保育士のコミュニケーション力を高める③ 文章コミュニケーション(図だより・連絡帳の書き方) 〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	11	保育士のコミュニケーション力を高める④ 言語的コミュニケーション(リフレーミングを通した助言の言葉)の実践 〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	12	特別なニーズを持つ家族の姿と援助① 育てにくい子ども・障害のある子どもと親への対応 〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	13	特別なニーズを持つ家族の姿と援助② 乳幼児の虐待種類・定義・症状 〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	14	要保護児童及びその家庭に対する支援 〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	15	世界の子育て支援と日本の子育て支援(世界の保育環境)、子ども家庭支援の今後の課題 〈予習〉世界の保育環境を調べる。90分 〈復習〉子どもの未来の責任と協力者であることを認識をする。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	社会的養護Ⅰ			教員名	巢立 佳宏		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔社会的養護Ⅰ〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護						
授 業 の 概 要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要とされる考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習得します。 【到達目標】 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 2. 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。 3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4. 社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。 5. 社会的養護の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	基本は講義形式としますが、主体的な学びを進めるため、アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。またe-learningシステムにより、双方向型の授業及び自主学生支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	「新基本保育シリーズ⑥社会的養護Ⅰ」相澤仁、林浩康 編、中央法規						
参 考 書	厚生労働省ホームページ						
関 連 科 目	社会的養護Ⅱ、子ども家庭福祉、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	里親制度、児童虐待などに関し、日ごろからニュースや新聞記事などから情報収集し専門用語や記事に対する自身の考えをまとめ、社会的養護に対する理解を図るようにしてください。 e-learningを実施しながら授業を進めるため、スマートフォンを持参してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	社会的養護の理念と概念	
	1	〈予習〉社会的養護に関する法令等を含め情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	社会的養護の歴史の変遷 〈予習〉社会的養護の歴史について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	3	子どもの人権擁護と社会的養護 〈予習〉子どもの人権に関する新聞記事等を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	4	社会的養護の基本原則 〈予習〉児童福祉法の改正に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	5	社会的養護における保育士等の倫理と責務 〈予習〉保育士の倫理綱領について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	6	社会的養護の制度と法体系 〈予習〉社会的養護の制度に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	7	社会的養護のしくみと実施体系 〈予習〉社会的養護の制度について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	8	社会的養護とファミリーソーシャルワーク 〈予習〉ソーシャルワークに関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	9	社会的養護の対象と支援のあり方 〈予習〉児童虐待に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	10	家庭養護と施設養護 〈予習〉里親と施設養護の現状について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	11	社会的養護にかかわる専門職 〈予習〉施設保育士に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	12	社会的養護に関する社会的状況 〈予習〉「新しい社会的養育ビジョン」に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	13	施設等の運営管理の現状と課題 〈予習〉社会的養護の施設等に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	14	被措置児童等の虐待防止の現状と課題 〈予習〉情緒障害児短期治療施設等の情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	15	社会的養護と地域福祉の現状と課題 〈予習〉地域福祉に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	保育・教職論			教員名	野口 一夫		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育者論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応含む)〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭) 今求められる資質・能力 幼保連携型認定こども園						
授 業 の 概 要	保育者としての専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な保育士・幼稚園教諭・保育教諭の養成とその基礎となる役割や資格、そして資質・能力のあり方、組織とリーダーシップを習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士や幼稚園教諭を目指すために、保育者とは何か、今保育者に求められている資質や能力は何か、そしてその職務の内容等について、関連法規等を踏まえて検証することができる。 【到達目標】 保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)に対する意識を高め、その違いや共通点を明らかにし、さらに保育者としての専門性の高揚を図り、連携・協働の重要性を理解することができる。						
授業の方法等	わかりやすく理解するため、「聞く」「書く」「質問」「演示」等のメリハリを工夫し、保育所・幼稚園・施設等を取り巻く国の動向や公務員試験の現状等をリアルタイムに提供します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	なし(適宜資料を配付)						
参 考 書	「保育者論」民秋言 編著 建帛社 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関 連 科 目	保育原理 教育原理						
質問受付の方法	担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	レポートは毎回提出します。 レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	「保育」のもつ意味 ～先人にみる「子ども観」 幼保連携型認定こども園 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10 〈予習〉先人の「子ども観」について調査。90分 〈復習〉幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10の理解。90分
	2	保育士と幼稚園教諭の違い ～本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ。90分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態。90分
	3	保育者の要件・地位 ～T(時)P(場所)O(場合) 江戸しぐさ 〈予習〉T(時)P(場所)O(場合)調べ。90分 〈復習〉「江戸しぐさ」に学ぶ。90分
	4	保育者としての免許・資格 ～職業病 〈予習〉免許・資格調べ。90分 〈復習〉「幼保連携型認定こども園」への就職にあたって。90分
	5	保育士の専門性と役割 ～保育の基本と役割 省察とは 〈予習〉省察とは。90分 〈復習〉施設保育士とは。90分 〈復習〉施設保育士とは。90分
	6	幼稚園教諭の専門性と役割 ～地方公務員法(服務 欠格事由等) 〈予習〉地方公務員法を調査。90分 〈復習〉実習に際し、幼稚園、保育園の一日を学ぶ。90分
	7	保育士・幼稚園教諭の職務の具体的な内容 ～5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 〈予習〉5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の調査。90分 〈復習〉勤務体制を学ぶ。90分
	8	最近の乳幼児・児童の傾向 ～LD、ADHD、アスペルガー症候群等 〈予習〉LD、ADHD、アスペルガー症候群等の調査。90分 〈復習〉症状と対処の仕方を学ぶ。90分
	9	様々な保育課題と対応の在り方1 ～夜尿症、じょうずなほめ方・しかり方等 〈予習〉症状の理解。90分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ。90分
	10	様々な保育課題と対応の在り方2 ～しつけ、虐待、放任、過保護等 〈予習〉症状の理解。90分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ。90分
	11	今求められる理想の保育者像 ～都市化、少子化、核家族化等 〈予習〉それぞれの実情調べ。90分 〈復習〉その対応。90分
	12	今、保育者に求められる資質・能力 ～組織に馴染む 園長・主任等のリーダーシップ 〈予習〉組織の調査。90分 〈復習〉組織に馴染む 園長・主任等のリーダーシップの考察。90分
	13	保育所・幼稚園と家庭の役割 ～ドロシー・ロー・ノルト 〈予習〉ドロシー・ロー・ノルト調査。90分 〈復習〉保育所・幼稚園と家庭の役割の理解。90分
	14	適性の理解と進路選択 ～保育士養成におけるキャリアパス、キャリア教育 〈予習〉公務員試験に見る傾向。90分 〈復習〉国や県の社会福祉事業団への理解。90分
	15	公務員等試験(埼玉・東京・社会福祉事業団等)にみる昨今の就職状況 ～論文の書き方 〈予習〉全学習の振り返り。90分 〈復習〉論文の書き方の理解。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	特別支援教育			教員名	宇田川 和久		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に関する理解〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	共生社会、インクルーシブ教育システム、特別支援教育、障害特性、就学支援、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、特別支援教育コーディネーター						
授 業 の 概 要	○インクルーシブ教育システムの理念である障害のあるなしにかかわらず共に学ぶことの重要性について学びます。 ○また、このシステムを構築するため、特別支援教育を推進する必要があることを学びます。 ○さらに、特別支援教育は、特殊教育の対象であった障害に加えLD、ADHD、高機能自閉症等も対象とし、子どもたち一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その持てる力を最大限に高めるための教育として今後極めて重要になることを障害に関する基礎的な知識や教育の現状や課題などを通して学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ○障害者を取り巻く社会環境の変化を理解し、インクルーシブ教育システムの必要性とその在り方について考えます。 ○その上で、特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子どもたちを支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】 (1)障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システムの必要性について理解する。 (2)特別支援教育の理念や基礎的な体系を理解する。 (3)特別支援教育の指導・支援内容と実践方法を理解する。 (4)個に応じた指導・支援の方法について理解する。 (5)特別支援教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	基本は講義形式としますが、主体的な学びを進めるため、アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。 授業では障害のある子供たちの支援の在り方等の実際について理解を図るために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	「特別支援教育の基礎・基本新訂版」 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所著 ジアース教育新社 2015						
参考書	「特別支援学校学習指導要領」、「特別支援学校学習指導要領解説」、文部科学省ホームページ 文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のホームページにある資料						
関連科目	障がい児保育						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	障害者を取り巻く社会環境の変化とインクルーシブ教育システム 〈予習〉障害者について自分の関心のあることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	インクルーシブ教育システムの構築と特別支援教育 〈予習〉障害のある子どもたちに関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		特別支援教育の現状
	3	〈予習〉特別支援教育に関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		視覚障害児及び聴覚障害児の理解と指導の実際
	4	〈予習〉視覚障害や聴覚障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		肢体不自由児及び病弱児の理解と指導の実際
	5	〈予習〉肢体不自由や病弱について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		知的障害児の理解と指導の実際
	6	〈予習〉知的障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		発達障害の理解
	7	〈予習〉発達障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		LD、ADHD児の理解
	8	〈予習〉LD、ADHD児の特性について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		自閉症児の理解
	9	〈予習〉自閉症児の特性について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		情緒障害児の理解
	10	〈予習〉情緒障害とは何かについて調べる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		障害と就学支援
	11	〈予習〉障害について考え、自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		特別支援学校における教育の実際
	12	〈予習〉特別支援学校に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		特別支援学級における教育の実際
	13	〈予習〉特別支援学級に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		通級による指導の実際
	14	〈予習〉通級による指導に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		今後の特別支援教育の方向性
	15	〈予習〉特別支援教育の意義等について自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

保育の対象の理解に関する科目

授 業 科 目 名	保育の心理学 *			教員名	巢立 佳宏/山村 穂高		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育の心理学〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	子どもの発達理解、発達と保育実践、子ども観・保育観						
授業の概要	子どもの発達の基礎を学び、保育実践と関連付けながら理解します。子どもが自ら発達しようとする心理について理解し、それを捉えて支援する環境づくりや保育実践を考察します。現場経験のある教員が発達段階に応じた映像や事例を示しながら授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの発達に関わる心理学の基礎を知り、子ども理解を深め、初期経験の重要性を理解する。発達に応じた支援について考察する。						
	【到達目標】 子どもの発達過程、現代の子どもの発達支援の実践と課題について基礎的なことを理解し説明できる。						
授業の方法等	オムニバス方式で各教員が授業回を担当します。。 テキストに沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていきます。 13～15回目の授業で双方向型授業を実施します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「子どもとかかわる人のための心理学」 沼山博 三浦主博 編著 萌文書林 2017						
参考書	授業中に適宜紹介します。						
関連科目	乳児保育Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助、子育て支援、教育相談						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意							

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		発達を踏まえた主体的学習及びそれを支える指導の基礎について〔担当:山村〕
	1	〈予習〉教科書を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	2	幼児、児童及び生徒の学習に関する理論について〔担当:山村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	3	子どもの発達理解①(言葉のはじまり)〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	4	子どもの発達理解②(愛着、自己と他者)〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	5	子どもの発達理解③(自己抑制と自己主張)〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	6	子どもの発達理解④(心の理論)〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	7	子どもの発達理解⑤(遊びの変化)〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	8	子どもの発達に応じた保育援助①(乳児)〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	9	子どもの発達に応じた保育援助②(幼児)〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	10	異年齢集団による保育実践〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	11	子どものアニミズム〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	12	子どもの想像力とは〔担当:巢立〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	13	発達に支援を必要とする子ども〔担当:山村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	14	生涯発達と生きる力の生成〔担当:山村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
15	現代社会に育つ子どもの発達と支援〔担当:山村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子ども家庭支援の心理学			教員名	原田 友毛子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 子ども家庭支援の心理学 〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	生涯発達 家庭・家庭の理解 子育て家庭に関する現状と課題 子どもの精神保健とその課題						
授 業 の 概 要	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題などについて学びます。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達の観点から捉える視点を習得します。また、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解しその知見を保育現場で活かせる力を身に付けます。子どもの精神保健とその課題について理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもやその家庭の支援に関する包括的な内容を理解し、子どもとその家庭支援について基本的な知識・技能を身に付けることができる。 【到達目標】 (1) 乳幼児期から高齢期までの生涯発達について理解し、概説できる。 (2) 親子関係・家族関係を家庭ライフサイクル論や家庭システム論かの視点から学び、どのように支援したらよいかについて理解できる。 (3) 子育て家庭に関する現状と課題について個々の事例を通して学び、対応の基本的事項について説明できるようにする。 (4) 子どもの精神保健とその課題について学び、子どもの心の健康について、自然災害などの防災の観点からも考える事ができる。						
授業の方法等	講義を中心として行いますが、各々の理論を保育者視点に立ってグループで討議する場面も設けます。毎回のレスポンスカードへの振り返りを各自が発表したりして授業内容の理解を深めることを目指します。前時の重要な内容については「ブチ復習」という形で振り返りを行い学習の定着を図ることとします。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	「こども家庭支援の心理学」原信夫・井上美鈴 編著（北樹出版）、2019、2100円						
参 考 書	「こども家庭支援の心理学」白川佳子・福丸由佳 編 中央法規、2019 「こども家庭支援の心理学」本郷一夫・神谷哲司 編著 建帛社、2019						
関 連 科 目	保育の心理学 子ども理解と援助 子ども家庭支援論 子どもの保健						
質問受付の方	授業終了直後、または講師控室にて対応します。						
履 修 上 の 注 意	配布した資料は丁寧に整理・保管してください。また、学ぶ事項は保育現場ですぐに役立つものばかりなので真摯に主体性を持って取り組むことを期待します。教科書を基に論を展開しますので毎回忘れずに持参します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	生涯発達とライフサイクル
	1 〈予習〉シラバスの熟読 90分 〈復習〉こども家庭支援の心理学の全体構造について整理する 90分
	乳幼児期から学童期前期にかけての発達
	2 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉乳幼児期から児童期前期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	学童期後期から青年期にかけての発達
	3 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉学童期後期から青年期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	成人期から老年期にかけての発達
	4 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉自分の家族などの体験談も交えてどのように生きるかについて思索する 90分
	家族・家庭の意義と機能
	5 〈予習〉自身の家族などに関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時の狙いに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	親子関係・家族関係の理解
	6 〈予習〉自身の家族などに関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時の狙いに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	子育ての経験と親としての育ち
	7 〈予習〉親になることについて思索し教科書を熟読し理解しておく 90分 〈復習〉親になること、あるいは親として、自分自身の考えをまとめる 90分
	子どもと家庭の状況
	8 〈予習〉少子高齢化、世帯構造の変化などについて教科書に加えて検索しておく 90分 〈復習〉保育者の立場として自分自身がどう対応していくかについて考えをまとめる 90分
定 期 試 験	ライフコースと仕事・子育て
	9 〈予習〉教科書を熟読しライフコースと仕事・子育てについて思索する 90分 〈復習〉ライフコースと仕事・子育てについて自身の感想をまとめる 90分
	多様な家庭とその理解
	10 〈予習〉ひとり親家庭に実態などを教科書やニュースなどから理解しておく 90分 〈復習〉多様な家庭への支援はどのようにすることが適切なのかをまとめる 90分
	特別な配慮を要する子どもと家庭
	11 〈予習〉特別な配慮を要する子どもとはどのような事かについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉保育所としてどのような配慮が必要なのかについて整理する 90分
	なぜ子どもの精神保健を学ぶのか 子ども生活・生育環境とその影響
	12 〈予習〉環境の力が及ぼす影響について教科書を熟読する 90分 〈復習〉配布資料やルーマニアの事例などから発達の可逆性について考えを整理する 90分
	子どもの心の健康にかかわる問題
	13 〈予習〉様々な障害や疾患などについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉心の健康に関わる問題を抱えた子どもに対しての適切な保育について整理する 90分
	災害と子ども
	14 〈予習〉配付された資料を熟読する 90分 〈復習〉災害と精神的な健康にどのような関係があり、保育者としてどう関わるかについてまとめる 90分
	こども家庭支援の心理学のまとめをする
	15 〈予習〉配付された資料や教科書を再度読み込む 90分 〈復習〉こども家庭支援の心理学についての知見をどの程度理解できたかノート整理をする 90分

授 業 科 目 名	子どもの理解と援助			教員名	富田 久枝		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの理解と援助〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/幼児理解の理論及び方法〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	幼児理解、発達の過程、観察法、記録方法と活用、子育て支援						
授業の概要	保育実践の場における幼児理解の意義と重要性を理解し、幼児の発達や学習過程で生じるつまずきの要因を把握するために必要な原理や観察・記録の在り方について、個々の幼児の発達段階や集団との関わり、家庭との連携を含めて考察する力を事例やグループ討議を通して学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼児理解の知識・考え方・基礎的態度を理解すると共に、幼児理解の方法を具体的に理解できるようにする。 【到達目標】 (1)幼児の遊び及び生活の実態に即した幼児理解の意義を理解する。 (2)幼児理解を深めるための基礎的な態度を理解する。 (3)観察・記録の意義と目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 (4)保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解する。						
授業の方法等	幼児理解と援助、評価の基本について必要な事項を教科書等を中心に90分授業を12回(24時間)行います。この学習をもとに、観察記録をまとめ、事例や課題レポートの発表、協議を進めます。主体的に課題等に取り組む予習・復習がなされていることを前提とした授業展開になります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	新基本保育シリーズ⑩ 「子どもの理解と援助」 監修:公益財団法人 編集:清水益治・森俊之 中央法規						
参考書	「幼稚園教育要領」文部科学省 2018						
関連科目	保育の心理学						
質問受付の方法	適宜講師控室等に対応します。						
履修上の注意	講義の記録、作成した課題レポート等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	幼児理解の意義と必要性(現代的な課題と乳幼児の心身の発達) 〈予習〉シラバスの熟読と自己の学びへの展望を考える 45分 〈復習〉幼児理解に関わる現代的課題を調べて整理する 45分
	2	幼児の発達や学びのとらえ方(遊びや生活を通しての経験的・対話的な深い学び) 〈予習〉幼児期の遊びの特徴や生活の様子を調べる 45分 〈復習〉幼児期の学びで展開される経験的・対話的な学びについて事例をまとめる 45分
	3	幼児の発達に関わる多様な課題(特別な支援を要する子ども、要保護家庭などの現代的な課題と支援方法) 〈予習〉特別な支援を要する子どもの特徴や要保護家庭について調べ学習をする 45分 〈復習〉特別な支援について学んだ内容を整理して課題を理解する 45分
	4	幼児理解を深める保育者の姿勢(保育者の子ども観・保育観の重要性) 〈予習〉保育者の専門性について調べ、自分の保育に対する考えをまとめる 45分 〈復習〉子どもとはどのような存在か、保育とは何をする事かといった授業で学んだことを復習する 45分
	5	集団と個の関係の在り方・見方(集団による学び合いや規範意識の育ちについて) 〈予習〉規範意識の発達について調べる 45分 〈復習〉集団生活における規範の重要性を整理する 45分
	6	特別な支援を必要とする子どもの事例から学ぶ①(発達の視点と子どもへの支援検討) 〈予習〉発達障害の特徴を整理して事前に理解する 45分 〈復習〉事例で扱われた障害特性を整理して障害への理解を深める 45分
	7	特別な支援を必要とする子どもの事例から学ぶ②(保護者への支援とその連携を検討) 〈予習〉保護者の困り感を事前に調べる 45分 〈復習〉教科書の指定したページをまとめる(特別支援雄理解) 45分
	8	観察・記録の方法と分析・考察の視点(観察法の利点とその活用法) 〈予習〉観察の視点や様々な観察法について事前に教科書を熟読する 45分 〈復習〉事例への回答を記入し観察の視点を理解する 45分
	9	観察・記録のまとめについての発表と協議(記録に基づく省察と評価とアセスメント) 〈予習〉観察・記録をまとめて発表の準備を行う 45分 〈復習〉観察・記録のまとめについての発表の省察を行う 45分
	10	保護者支援の方法～ロールプレイで学ぶ～(カウンセリングの技法の活用と共感的理解) 〈予習〉保護者支援の主な内容や保護者の困り感を教科書等で事前に学習 45分 〈復習〉ロールプレイで気づいたことをレポートのまとめる 45分
	11	家庭や地域との連携と支援体制と子育て支援の課題検討(地域資源の発掘:エコマップの作成と検討) 〈予習〉自分を取り巻く地域資源を5つ以上あげてその特徴や利便性等ノートに整理する 45分 〈復習〉自分たちで作ったエコマップへの感想を書く 45分
	12	子ども理解についてのまとめ(各自の学びをレポートにまとめ発表) 〈予習〉各自のこども理解に関する学びレポートの発表準備 45分 〈復習〉こども理解に関する課題のレポート作成 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子どもの保健			教員名	田中 直代		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの保健〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	健康、母子健康手帳、養護、スクヤモン、パーセンタイル値、ネグレクト、視力、はしか、予防接種、IgE、川崎病、たばこ、集団生活前健診						
授 業 の 概 要	子どもの保健は子どもの身体の健康を維持し、増進することを目的とした実践活動です。子どもは日々発育・発達しているが、先天的条件、養育や環境の条件を受けやすい。子どもが順調な発育・発達をし、支障のない生活を送るためには大人や社会の適切な対応が必要となります。子どもの将来の健康状態を予測し、自立して健康に過ごせるよう保健的働きかけの重要性を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態は、その後の人生の健康や生活の基礎になる。子どもの心身の健康と保健の意義を理解し、身体発育、生理機能・運動機能の発達について学ぶ。子どもの健康状態を観察し、不調の早期発見に努め、子どもの病気や救急疾患、事故、アレルギーについて適切な予防法や危機管理、健康管理の必要性を理解する。一人一人の発育・発達を把握し保護者、他職種と情報共有することが重要であることを理解するために学ぶ。						
	【到達目標】 1.子どもの心身の保健活動の意義を理解する。 2.スクヤモンの器官別発育曲線について説明できる。 3.子どもの心身の健康状態の把握すべき項目を挙げることができる。 4.子どもの救急疾患の特徴とその対応を挙げることができる。 5.子どもの免疫の発達と感染症の特徴を挙げることができる。 6.保健活動が他職種間の連携・協働の下での適切な対応が重要であることに気づく。						
授 業 の 方 法 等	・パワーポイントのスライドと配布プリントによる講義形式です。 ・テキストを中心にを行います。子どもに関する医療や保健のニュースも取り入れます。 ・説明に物や図・表を使います。図・表の説明に色鉛筆があると理解が深まります。 ・やまたんテキストについて小テストがあります。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔筆記〕90 % ■授業への取り組み・態度〔ファイルノート点検〕10% ※出席は教科書、ファイルを確認します						
教 科 書	「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」小林美由紀編著 診断と治療社 2019						
参 考 書	「子どもの病気の地図帳」鴨下重彦・柳沢正義監修 講談社 2012 「子どもの保健演習ブック」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房 2019						
関 連 科 目	「子どもの健康と安全」						
質 問 受 付 の 方 法	保育士資格必修科目なので、遅刻・欠席等をしないで下さい。教科書とノートを随時使用します。配布したプリントはA4判2穴ファイルに学習ノートとして整理します。子どもの健康と安全の学習に使用します。						
履 修 上 の 注 意	保育士資格必修科目なので、遅刻・欠席等をしないで下さい。教科書とノートを随時使用します。配布したプリントは授業中に書き込みをし、A4判2穴ファイルに学習ノートとして整理します。子どもの健康と安全の学習に使用します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	子どもの保健と健康の意義 (1)保健活動の意義と目的 / 色鉛筆 〈予習〉P1「子どもの保健とは」 P5,「日本の保育所の歴史と保健活動」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	2	子どもの保健と健康の意義 (2)子どもの出生と母子保健の意義 / 色鉛筆 〈予習〉P18「母子健康手帳の歴史」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	3	子どもの保健と健康の意義 (3)現代社会における子どもの健康に関する現状と課題 / 色鉛筆 〈予習〉P21図1「出生数および合計特殊出生率の年次推移」からわかることを見出す。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	4	子どもの発育・発達と保健 (1)子どもの身体発育 〈予習〉P28「乳幼児の身体計測の仕方」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	5	子どもの発育・発達と保健 (2)子どもの運動機能の発達 〈予習〉P36「新生児の原始反射」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	6	子どもの発育・発達と保健 (3)生理機能の発達と生活習慣 / 幼児視野体験眼鏡 〈予習〉P48「生活習慣の時代変化」を読む。 次回ノート提出 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	7	地域における保健活動と子どもの虐待防止 / 色鉛筆 〈予習〉P57「海外での子育て支援」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	8	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握 〈予習〉P60「子どもの健康状態の把握」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	9	子どもの病気 (1)子どもの免疫の発達と感染症の特徴 / 色鉛筆 〈予習〉P71「感染症の歴史」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	10	子どもの病気 (2)感染症の予防および適切な対応 / 色鉛筆 〈予習〉P74「感染経路と対策」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	11	子どもの病気 (3)救急疾患の特徴と適切な対応 〈予習〉P85表1「年度別・家庭用品等における誤飲事故述べ報告件数」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	12	子どもの病気 (4)新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応 〈予習〉P38「低出生体重児の発育」、P95「出生前診断の課題」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	13	子どもの病気 (5)アレルギー疾患の特徴と適切な対応 / DVD 〈予習〉P100「食物アレルギーと離乳食開始の変遷」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	14	子どもの病気 (6)慢性疾患の特徴と適切な対応 〈予習〉P106「子どもの慢性疾患とは」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	15	子どもの発育・発達の把握と保護者との情報共有 / まとめ 〈予習〉P123「障害児や慢性疾患児への子ども同士の理解」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	子どもの食と栄養			教員名	田中 直代		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの食と栄養〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	母乳、朝食、箸、クワシオルコル、くる病、貧血、水分、グルタミン酸、節分、給食、エビパン						
授業の概要	子どもが健康に発育し、成長するためには適切な量と質の食事は大切である。栄養学の基礎、子供の成長による生理的变化や栄養状態を評価する方法を学びます。また、料理選択型栄養教育である「3.1.2弁当箱法」、「育児用ミルクの調乳」、「離乳食の試食」の演習を行います。これらを通して、子どもや保護者に支援となる知識や技術を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの各発達段階における食と栄養の重要性を知る。子どもの食生活の現状と課題を知る。食の伝承を受け継ぎ豊かな食生活を伝える担い手となるように食に関心を持ち、子どもや保護者とともに食を楽しむ。体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもに対する食事の対応を理解する。これらを通して、保育士として、子どもや保護者に適切な支援をする姿勢や態度を身につけるために学ぶ。 【到達目標】 1.健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的な知識を理解する。 2.子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 3.食育の基本とその内容および食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。 4.家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題を説明することができる。 5.特別な配慮を要する子どもの食と栄養について適切に対応することができる。						
授業の方法等	・パワーポイントのスライドと配布プリントによる講義形式です。 ・演習（①3・1・2弁当箱法をカフェテリアで行います。 ②育児用ミルクの調乳、離乳食の試食を各自行い技術を身につけます。） ・項目によっては色鉛筆を使います。 ・やまたんテキストについて小テストがあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60％ ■授業への取り組み・態度〔ファイルノート点検〕10% ■提出物〔演習について(3回)〕30% ※出席は教科書、ファイルを確認する						
教科書	「子どもの食と栄養」児玉浩子編 中山書店 2019 「646食品成分表2019」とうほう 2019						
参考書	「授乳・離乳の支援ガイド 実践の手引き」財団法人母子衛生研究会編 母子衛生事業団 2008 「子どもの食と栄養演習ブック」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房 2019						
関連科目	保育内容健康						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修なので遅刻・欠席等をしないで下さい。演習は髪をまとめましょう。爪を切る、適切な服装で受講して下さい。エプロン、三角巾、弁当箱を用意します。配布資料は授業中に書き込みをし、A4判2穴ファイルに整理と保存します。後日ノート提出。復習テストをします。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	シラバスを読む。子どもの健康と食生活の意義 〈予習〉P2～5「2015年乳幼児栄養調査(図、表)」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	2	栄養・食に関する基本的知識 (1)消化吸収の仕組み、栄養の基礎知識 〈予習〉P26.27「便の特徴」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	3	栄養・食に関する基本的知識 (2)タンパク質の代謝と栄養学的意義 〈予習〉食品成分表よりタンパク質を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	4	栄養・食に関する基本的知識 (3)糖質、脂質の代謝と栄養学的意義 〈予習〉食品成分表で炭水化物、脂質、コレステロールを多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	5	栄養・食に関する基本的知識 (4)ビタミンの代謝、ミネラルの代謝と栄養学的意義、水分、食物繊維 〈予習〉食品成分表で水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン等多く含む食品を調べる。プリント提出 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	6	栄養・食に関する基本的知識 (5)妊娠期、授乳期の食事摂取基準、食事バランスガイド 〈予習〉ファイルノートを提出。食品成分表P156で葉酸を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	7	栄養・食に関する基本的知識 (6)思春期： 3.1.2弁当箱法(演習) 〈予習〉配付したプリントを読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	8	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (1)乳幼児期の咀嚼の発達 DVD視聴 〈予習〉P52・53「咀嚼機能の発達の目安について」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	9	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (2)乳児期栄養 〈予習〉P62「乳汁栄養 母乳栄養の利点と留意点」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	10	乳児期：調乳(演習) 〈予習〉「育児用ミルクの調乳方法」を熟読する。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	11	子どもの発育・発達と栄養・食生活 (3)幼児期栄養 〈予習〉P74「幼児期の成長と発達」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	12	乳幼児期：離乳食(演習) 〈予習〉配付したプリントを読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	13	食育の基本と実践 〈予習〉P88「食育基本法の概要」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	14	児童福祉施設における食と栄養(講義) 〈予習〉P112「給食の課題と配慮すべき点」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
	15	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 〈予習〉P136「食物アレルギー」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	保育・教育課程論			教員名	新井 英人		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育の計画と評価〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
授 業 の 概 要	幼稚園及び保育所、認定こども園におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育の計画と評価と幼稚園教諭養成課程の教育課程論について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園及び保育所における、カリキュラムを理解し、実際のカリキュラムに沿って指導計画が作成できる保育者としての専門的な知識・技能を養う。 【到達目標】 上記のねらいを達成するために、各カリキュラムについて理解し、保育士・幼稚園教諭として資質の向上と子どもたちのために、カリキュラムからしっかり指導計画の作成ができるようにする。						
授業の方法等	講義形式で進めます。できるだけ具体的な内容の提示をし、理解を深めていけるようにします。授業時間内において、レポートの提出を行うほか筆記試験を実施します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教 科 書	「保育者養成シリーズ 教育・保育課程論」 一藝社 高橋弥生・大沢裕 編著 2018						
参 考 書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関 連 科 目	保育・教職論						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義の記録、配付した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	教育要領の性格、位置づけ並びにカリキュラム編成の基本 〈予習〉教科書第1章1を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	2	教育要領改訂の変遷、主な改定内容と社会的背景 〈予習〉教科書第1章3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	3	保育課程・教育課程の必要性 〈予習〉教科書第2章1・2を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	4	保育所保育指針と保育課程編成の基本と留意点 〈予習〉教科書第3章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	5	幼稚園教育課程の基本と編成に向けて 〈予習〉教科書第4章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	6	教育課程編成の留意点 〈予習〉教科書第5章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	7	指導計画作成の手順と留意点 〈予習〉教科書第6章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	8	保育方法と指導計画及び記録による反省 〈予習〉教科書第7章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	9	指導要録の構成と記載法 〈予習〉教科書第8章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	10	保育の基本と保育指導計画 〈予習〉教科書第9章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	11	幼稚園における指導計画 〈予習〉教科書第10章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	保育形態に応じた指導計画 〈予習〉教科書第11章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	年間計画と行事 〈予習〉教科書第12章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性 〈予習〉教科書第13章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	15	評価の基本的考え方や対象 〈予習〉教科書第15章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	保育内容総論 *			教員名	相沢 和恵		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔 保育内容総論 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 領域及び保育内容の指導法に関する科目 / 保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む) 〕						卒業認定・学位授与方針
							DP3
授業内容を示すキーワード	幼稚園 保育所 幼保連携型認定こども園 子どもの発達 養護 教育 5領域 遊び 生活						
授業の概要	乳幼児期に子どもが保育の中で体験する内容について理解します。保育は園の生活全体を通して総合的に営まれという考え方を踏まえて環境構成をし、実践する為に必要な知識を身に付けます。特に幼稚園教諭、保育士としての職務経験を活かして、具体的な乳幼児の姿と関連させ、子どもが遊びの中でどのような経験をしているのかを学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを意識して、遊びを通して子どもが育つことを理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育の基本を踏まえた園における保育内容の考え方を理解する。 ・乳幼児の発達を見通した指導計画の作成を理解する。 ・乳幼児の実態に応じた具体的な保育内容を理解する。 【到達目標】 遊びを通しての総合的な保育の意義と保育者の役割が説明できる。 ・乳幼児理解に基づく評価について説明できる。 ・乳幼児にとっての行事の意義を理解し、園行事のあり方を説明できる。 ・模擬保育を育通してねらい及び内容に沿って総合的保育する力を身に付ける。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 課題に沿ったグループ討議やレポート提出を求めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験 筆記 50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 20%						
教科書	「改訂保育内容総論 あなたならどうしますか」酒井幸子・守巧 編 萌文書林 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	必要に応じて紹介します。						
関連科目	健康と人間関係の指導法 環境の指導法 言葉と表現の指導法 特別支援教育 保育・教育課程論						
質問受付の方法	担当へ随時受け付けます。						
履修上の注意	プリント類はA4版2穴ファイルに整理、保存します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		保育内容を総論としてとらえる
	1	〈予習〉予定授業内容の教科書該当ページを読む 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	2	幼稚園教育要領からひもとく保育内容 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	3	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領からひもとく保育内容 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	4	子どもと保育内容① 子ども理解 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	5	子どもと保育内容② 子どもを取り巻く環境 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	6	子どもと保育内容③ 子どもと遊び 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	7	領域と保育内容① 健康・環境 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	8	領域と保育内容② 人間関係・言葉 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	9	領域と保育内容③ 表現 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	10	保育者の役割と保育内容① 気になる子の支援 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	11	保育者の役割と保育内容② 保護者との連携 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	12	保育者の役割と保育内容③ 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	13	保育者の役割と保育内容④ 家庭・地域・関係機関との連携 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
	14	保育実践とのつながりを考える 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業内容の教科書該当ページを読んでおく 90分
15	保育内容の今後の展望と課題 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉定期試験内容の教科書該当ページ、プリントを読み復習する 90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔 筆記 〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕 30分	

授 業 科 目 名	保育内容健康			教員名	新井 英人		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目／領域に関する専門的事項・健康〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	領域 健康						
授 業 の 概 要	領域「健康」について、乳幼児を取り巻く社会的状況や教育的課題を踏まえ上で、指導に必要となる基礎的知識や基礎的技能を身に付けます。具体的には、乳幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において乳幼児期には大人と違った特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」の指導の基盤となる、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための専門的事項について、知識を技能を身に付けることができる。 【到達目標】 (1)乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 (2)乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。 (3)安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。 (4)乳幼児期の運動発達の特徴を意義を理解する。						
授業の方法等	講義と演習を合わせて行います。 できるだけ具体的な事例を提示し、理解を深めていきます。授業内においてレポートの提出や小テストを実施します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕40％ ■授業への取り組み・態度 20％ ■提出物 40％						
教 科 書	「演習 保育内容健康 大人から子どもへつなぐ健康の視点」萌文書林						
参 考 書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関 連 科 目	保育内容人間関係 保育内容環境 保育内容言葉 保育内容表現 健康と人間関係の指導法						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義の記録、配付した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	健康の定義と乳幼児期の健康の意義
	1 〈予習〉シラバスの熟読、教科書第1章を読む 45分 〈復習〉第1章を復習し、健康の定義について整理する 45分
	乳幼児期の身体にかかわる発達
	2 〈予習〉教科書第2章を読む 45分 〈復習〉第2章を復習し、健康な子ども、元気な子どもの姿を整理する 45分
	乳幼児期の健康課題(乳幼児を取り巻く生活環境と健康)
	3 〈予習〉教科書第3章を読む 45分 〈復習〉第3章を復習し、乳幼児期の健康課題について整理する 45分
	乳幼児期の生活習慣の形成①(生活リズムの形成とその意義)
	4 〈予習〉教科書4章を読む 45分 〈復習〉第3章を復習し、生活リズムの形成とその意義について整理する 45分
	乳幼児期の情緒・社会性にかかわる発達
	5 〈予習〉教科書第5・6章を読む 45分 〈復習〉第6章を復習し、情緒・社会性にかかわる発達について整理する 45分
	乳幼児期の感覚器官にかかわる発達
	6 〈予習〉教科書第7章を読む 45分 〈復習〉第7章を復習し、感覚器官にかかわる発達について整理する 45分
	乳幼児期の運動発達の特徴
	7 〈予習〉教科書第8章1・2・3を読む 45分 〈復習〉第8章1・2・3を復習し、運動発達の特徴を整理する 45分
	日常生活における運動
	8 〈予習〉教科書第8章4・5及び第9章を読む 45分 〈復習〉第8章4・5及び第9章を復習し、運動発達の保障について整理する 45分
	乳幼児期の生活習慣の形成②(生活習慣の獲得)
	9 〈予習〉教科書第10章を読む 45分 〈復習〉第10章を復習し、生活習慣の獲得について整理する 45分
	幼児の安全教育と危険①(安全教育と安全管理)
	10 〈予習〉教科書第11章1・2を読む 45分 〈復習〉第11章1・2を復習し、安全教育と安全管理について整理する 45分
	幼児の安全教育と危険②(幼児期の怪我や事故の特徴と応急措置・病気の予防)
	11 〈予習〉教科書第11章3・4を読む 45分 〈復習〉第11章3・4を復習し、怪我や事故の特徴について整理する 45分
	幼児の安全教育と危険③(リスクの見極めとハザードの除去)
	12 〈予習〉教科書第12章を読む 45分 〈復習〉第12章を復習し、リスクの見極めとハザードの除去について整理する 45分
	遊びとしての運動
	13 〈予習〉教科書第13章を読む 45分 〈復習〉第13章を復習し、遊びについて整理する 45分
	子どもの健康を支える協働
	14 〈予習〉教科書第14章を読む 45分 〈復習〉第14章を復習し、子どもの健康を支える協働について整理する 45分
	保育内容・健康のまとめ
	15 〈予習〉教科書第15章を読む 45分 〈復習〉第15章を復習し、配付プリントを完全に仕上げる 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	保育内容人間関係			教員名	室井 佑美		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・人間関係〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	領域 人間関係 就学前教育 育みたい資質・能力 発達 乳幼児の人と関わる力の育ち						
授業の概要	領域「人間関係」について学問的な背景や基盤となる考え方を学びます。人間関係の専門的視点を、より幅広く、より深く考えることを目指します。また、養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれ関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を習得します。就学前教育において、「何をどのように指導するか」という視点で、「何を」にあたる部分であり、主体的・対話的で深い学びから領域「人間関係」における専門的知識・技能を修得し子ども理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「人間関係」の指導の基盤となる、乳幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項について、知識と技能を身に付けることができる。 【到達目標】 (1)乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を具体例を挙げながら理解できる。 (2)乳幼児期の人間関係の発達について、幼稚園・保育所・認定こども園生活の関係発達論的視点から理解し、概説できる。 (3)養護と教育において「人間関係」と五領域との関連性や相互性を具体的例を挙げながら理解できる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。リアクションペーパーの作成を求め、自分自身の意見をまとめることを多く行います。また、事例検討、作品制作などを活用し、アクティブラーニングの手法を用いて展開します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30％ ■授業への取り組み・態度 40％ ■提出物 40％						
教科書	「〈領域〉人間関係ワークブック」 田村美由紀・室井佑美著 萌文書林 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	その他授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	保育内容健康 保育内容環境 保育内容言葉 保育内容表現 健康と人間関係の指導法						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室およびリアクションペーパーなどで受け付けます。						
履修上の注意	配布した資料は丁寧に整理、保存してください。なお、保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)は1つのファイルに一貫して保存することを勧めます。授業の実施場所、準備物、服装については、事前の指示をよく聞いてください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず欠席する場合は翌日には研究室に資料を受け取り、課題の把握、授業内容の確認などして主体的に学ぶ意欲を見せるようにしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション、幼児教育(就学前教育)の基本と保育内容の全体構造
	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉乳幼児期の人間関係を育む上で大切なことを論じる 90分
	2	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴と社会的背景 〈予習〉乳幼児期の自分について家族にインタビューする 45分 〈復習〉教科書の指定したワークを解く 45分
	3	人と関わる力と生涯発達／乳児期の人と関わる力の発達 〈予習〉0・1・2歳の子どもを観察して記録する 45分 〈復習〉教科書の指定したワークを解く 45分
	4	子どもの健康、安全、快適を求めた養護の実際と育まれる人間関係 〈予習〉自分の家族を観察して記録する 45分 〈復習〉教科書の指定したワークを解く 45分
	5	子どもの安心感、安定感を満たす養護の実際と育まれる人間関係 〈予習〉大学内の教職員を観察して記録する 45分 〈復習〉教科書の指定されたワークを解く 45分
	6	幼児期の人と関わる力の発達(1)(遊び・生活における保育者との関係) 〈予習〉3・4・5歳の子どもを観察して記録する 45分 〈復習〉教科書の指定されたワークを解く 45分
	7	幼児期の人と関わる力の発達(2)(遊び・生活における子ども同士の関係) 〈予習〉自分の友だちを観察して記録する 45分 〈復習〉教科書の指定されたワークを解く 45分
	8	幼児期の人と関わる力の発達(3)(遊び・生活における集団の中での育ち) 〈予習〉クラスの様子を観察して記録する 45分 〈復習〉教科書の指定されたワークを解く 45分
	9	家族や地域との関わりと育ちに関する発達の姿と実際 〈予習〉身近な人以外を観察して記録する 45分 〈復習〉教科書の指定されたワークを解く 45分
	10	自立心の育ちと発達の姿の実際 〈予習〉教科書の指定されたワークを解く 45分 〈復習〉自立心が育つと思われる事例を自ら考える。45分
	11	協同性の育ちと発達の姿の実際 〈予習〉教科書の指定されたワークを解く 45分 〈復習〉協同性が育つと思われる事例を自ら考える。45分
	12	道徳性・規範意識の芽生えと発達の姿の実際 〈予習〉教科書の指定されたワークを解く 45分 〈復習〉道徳性・規範意識が芽生えると思われる事例を自ら考える 45分
	13	小学校との円滑な接続におけるスタートカリキュラムと人間関係 〈予習〉保育所/幼稚園生活と小学校生活についてどのような違いがあるか考える 45分 〈復習〉インターネットを活用してスタートカリキュラムを実践している事例を探す 45分
	14	領域の相互性、関連性と人間関係 〈予習〉教科書の指定されたワークを解く 45分 〈復習〉教科書の指定されたワークを解く 45分
	15	保育内容人間関係のまとめ／健康と人間関係の指導法に向けて 〈予習〉最終回のため、なし 〈復習〉乳幼児期の人間関係を育む上で大切なことを論じる 90分
定 期 試 験		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔添削をして後日返却〕

授 業 科 目 名	保育内容環境			教員名	野口 一夫		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・環境〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	環境 幼保小との接続・連携 環境との出会い						
授業の概要	「領域『環境』とは」環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、乳幼児を取り巻く環境と、乳幼児の発達にとつての意義を理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児を取り巻くさまざまな環境や乳幼児と環境の関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付けることができる。 【到達目標】 環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、身近な環境との関わりを具体的な生活事例（製作・遊ぶ活動）を通して体験的に学び、実践できるようにする。						
授業の方法等	環境を、広い意味や保育内容「環境」としての意味を理解し、具体的な体験・経験のなかで身に付けます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	「生活事例からはじめる保育内容・環境」徳安敦、瀧川光治、杉浦広幸 編著 青踏社 2016 「環境・エコへの道標―幼稚園・保育園・課程・家庭へ」雄文社 2016						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容言葉、保育内容表現、環境の指導法 保育・教職論 保育原理						
質問受付の方	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出します。 レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	環境とは 領域「環境」 レイチェル・カーソン 1 〈予習〉レイチェル・カーソンについて調査 45分 〈復習〉領域「環境」の概要理解 45分 環境を通して行う教育・保育の基本 2 〈予習〉教育・保育の基本調べ 45分 〈復習〉教育・保育の基本的理解 45分 領域「環境」のねらいと内容 「幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 3 〈予習〉改訂教育要領・保育指針・認定こども園教育・保育要領しらべ 45分 〈復習〉ねらいと内容の理解 45分 身近な環境の構成 人的・物的・自然・社会 4 〈予習〉身近な環境とは何かを調査 45分 〈復習〉身近な環境への理解 45分 さまざまな環境との出会い ①季節との出会い 春・夏 5 〈予習〉春・夏の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分 さまざまな環境との出会い ②身近な草花との出会い チューリップ・タンポポ等 6 〈予習〉家の周囲の野草調べ 45分 〈復習〉ファーム周辺の野草調べ 45分 さまざまな環境との出会い ③野菜の栽培 ナス・ミニトマト・ピーマン・サツマイモ等 7 〈予習〉身近な野菜の花と実調べ 45分 〈復習〉成長の観察 45分 さまざまな環境との出会い ④野菜の栽培 ナス・ミニトマト・ピーマン・サツマイモ等 8 〈予習〉その後の成長 45分 〈復習〉わき目・除草・追肥等の効果的なやり方 45分 さまざまな環境との出会い ⑤季節との出会い 秋・冬 9 〈予習〉秋・冬の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分 さまざまな環境との出会い ⑥動物（虫・鳥等） 10 〈予習〉学内に棲むセミ・バッタ・シジウカラ等の調査 45分 〈復習〉それぞれの特徴調べ 45分 さまざまな環境との出会い ⑦遊び（自然・おもちゃ・昔の遊び等） 11 〈予習〉昔の遊び調べ 45分 〈復習〉自然・おもちゃ・昔の遊び等の再実践 45分 保育内容「環境」の計画・評価と課題 12 〈予習〉保育内容「環境」の計画 45分 〈復習〉評価と課題 45分 小学校との接続・連携 生活科とのつながり 幼保小の連携 13 〈予習〉教育要領や保育指針から見られる連携 45分 〈復習〉幼保小の連携の重要性の理解 45分 安全のための環境 事故・災害・不審者等 14 〈予習〉安全のための環境調べ 45分 〈復習〉事故・災害・不審者等への対応 45分 振り返り 15 〈予習〉今までの学習の振り返り 45分 〈復習〉総復習 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	保育内容言葉			教員名	相沢 和恵		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・言葉〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	5領域「言葉」 保育内容 言葉の獲得 ことば遊び 児童文化財 文字						
授 業 の 概 要	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現法を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を学びます。「言葉」の意義と機能について理解し、乳幼児の言葉を育て、言葉に対する感覚を豊かにする保育教材を学び実践力を身に付けます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の姿から言葉の意義や機能について考え、言葉を育て想像する楽しさを広げる児童文化財について学ぶ。						
	【到達目標】 乳幼児の言葉の発達過程について、言葉の機能への気付きも含めて説明できる。乳幼児の発達における児童文化財の意義について理解する。						
授 業 の 方 法 等	演習・講義を合わせて行います。 児童文化財の理解については、実習・模擬保育も取り入れレポート等にまとめます。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔レポート〕 40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
教 科 書	「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域「言葉」」無藤隆 監修 宮里朱実 編 萌文書林 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参 考 書	「保育を豊かに 絵本でコミュニケーション」村中李衣 編著 かもがわ出版 2018 他、必要に応じて紹介します。						
関 連 科 目	保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容表現 保育内容総論、言葉と表現の指導法、教育原理、保育・教育課程論、特別支援教育						
質 問 受 付 の 方 法	担当へ随時受け付けます						
履 修 上 の 注 意	プリント類はA4版2穴ファイルに整理、保存します						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		保育内容「言葉」とは何か 乳幼児期の言葉のおもしろさ
	1	〈予習〉予定授業内容の該当箇所教科書を読む 45分 〈復習〉次回授業該ページを読んでおく 45分
	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容「言葉」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	3	子どもは言葉をどのように獲得するのか 1 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	4	子どもは言葉をどのように獲得するのか 2 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	5	言葉に関する感覚 遊びの中の豊かな言葉 模倣、見立て 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	6	言葉に関する感覚 遊びの中の豊かな言葉 クラスみんなで行う活動から 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	7	ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方 1 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	8	ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方 2 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	9	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の意義 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	10	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実際 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	11	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実践 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	12	文字に対する興味、関心をもつ経験 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	13	言葉の遅れがある子どもと保育内容 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	14	保育界の動向と「言葉」をめぐる今日的課題 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	15	保育内容「言葉」 5領域との関係 まとめ 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉定期試験、レポートの該当プリントと該当ページ教科書を読む 45分
定 期 試 験		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れて成績発表時に返却する〕

授 業 科 目 名	保育内容表現			教員名	鴨志田 加奈		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/領域に関する専門的事項・表現〕						卒業認定・ 学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	表現 感性 創造性 コミュニケーション 遊び						
授業の概要	保育内容領域「表現」に関して、乳幼児の表現やその過程について理解するとともに、乳幼児の感性や創造性を豊かに育む遊びや環境構成について学びます。また、表現について根源的に学ぶこと、自身の体験を通して経験することによって保育者としての感性を磨きます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の生活や遊びの中にある表現やその意義について理解し、また表現全般について広く体験的に学びながら自身の感性を磨くことによって、乳幼児の感性や創造性を引き出す構想力、知識、技能、表現力を身につける。 【到達目標】 (1)領域「表現」の概要を理解する。 (2)乳幼児の心性を理解し表現を受容的に受け止める視点を身につける。 (3)自身の感性や表現力を磨く。 (4)他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。 (5)基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。						
授業の方法等	体験的な学びを中心に演習を行い、ワークシートを活用し学びの省察・自己評価を行いながら学び進めます。また、視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法及びICTを積極的に用います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物(ポートフォリオなどを含む) 40%						
教科書	「表現の指導法 改訂第2版」田澤里喜 編著 玉川大学出版部 2019 「あそびから学びが生まれる動的環境デザイン」大豆生田啓友 学研教育みらい 2018						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容言葉、言葉と表現の指導法、造形表現の探究、音楽表現の探究、図画工作、音楽、ナチュラルアート、ダンスムーブメント						
質問受付の方法	担当教員の研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		領域「表現」のねらい及び内容 「現れ」と「表し」をキーワードに
	1	〈予習〉授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		表現の根源を考える ～古今東西の表現の歴史や文化について～
	2	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		自然と感性 ～五感を通して自然を感じる～
	3	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		自然とイメージ ～イメージを形にすることを楽しみ、幼児の表現活動に展開する可能性を探る～
	4	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		生活の中のイメージ ～日常にある小さな感動や、気づきを共有し様々な方法で表現しあい楽しむ～
	5	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		モノとイメージ ～身近にある素材に触れ、それを生かした表現遊びに展開する可能性を探る～
	6	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		空間とイメージ ～空間の特性が感性や表現に及ぼす影響について体験的に学ぶ～
	7	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション ～表現とは応答的な関係の元に成立する～
定 期 試 験	8	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		物語とイメージ ～絵本などの物語から広がるイメージを生かした遊び～
	9	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		豊かな表現とは何か ～表現の根本となる内言について理解を深める～
	10	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		他者との創造と協働1 ～朗読劇などの台本などを元に演劇的表現を楽しむ～
	11	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		他者との創造と協働2 ～他者とイメージを共有し、シーンを再構成する面白さと難しさを経験する～
	12	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		ICTの活用1 ～ICTを活用した表現活動・制作～
	13	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		ICTの活用2 ～ICTを活用した表現活動・発表～
	14	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
		ICTの活用3 ～ICTを活用した表現活動・省察～
	15	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業配付プリントを見返す 45分
定 期 試 験		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック(成績発表時等に返却します)

授 業 科 目 名	音楽(4月～8月)			教員名	福泉 博子 数野 麻衣子 / 福士 紗希		
配 当 年 次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	音あそび 歌唱 こどものうた ピアノ 弾き歌い 楽典 ソルフェージュ						
授業の概要	保育者として必要となる音楽の基礎的な知識、技能の理解と習得を目指します。そのため、楽典や歌唱法、ソルフェージュに関する授業を前期に、ピアノや弾き歌いなどの個人レッスンを後期の授業で実施し、音楽全般について総合的に学習します。 また、本学の自然環境を生かした音遊びの中で五感と想像力を養います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1)幼稚園や保育所などで歌う「こども・幼児のうた」の特性を学び、ピアノで弾き歌いをしながら幼児の指導ができる力を身につけます。 2)自然や生活の中にある音を感じ、声や身体、楽器、身近にあるものを使って音楽を奏でる方法を習得します。また、それらの方法を用いて、こどもの発達に合わせた活動が出来るようにします。						
	【到達目標】 〈前期〉では基本的な音楽の知識を学び、一人で読譜ができるようにします。 ・自然や生活の中にある音を感じとることができる。 ・声や身体、楽器、生活の中にあるものを使って、自由に音楽を創作する感性を身につけることができる。 〈後期〉ではピアノ・弾き歌い進度表の応用Ⅱまで、中級者はソナチネアルバムⅠやブルグミュラー、上級者はソナタアルバムや同レベルのピアノ曲が弾けるようにすることを目標とします。 ・生活のうた、季節のうたなどを通して、こどもの心に伝わる歌い方ができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分(後期)を除く、通年29回の演習授業を行います。 〈前期〉は各グループを未経験者と経験者の2グループに分け、2名の教員で授業を行います。生活のうたや季節のうたなどの弾き歌いや、楽典に関する授業を行います。また、入学前課題で配付した楽譜プリント集の「ピアノ・弾きうたい進度表」に沿ってすすめていきます。 〈後期〉はピアノの個人レッスンを行います。各グループ5名の教員が担当し、個々のレベルにあったレッスンをを行います。 定期試験の前期は楽典の筆記試験、後期は発表会形式でピアノと弾き歌いの実技試験を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔前期:筆記 / 後期:実技(ピアノ演奏40%・弾き歌い40%)〕各期80% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 各期 20% ※前期と後期の平均で評価します。						
教科書	「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) 2017 ※全員購入 「ジュニアクラスの楽典問題集」(ドレミ楽譜出版社) ※全員購入 「全訳(標準)バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社) ※各自の進度に応じた教則本を指示します。 楽器(オカリナ) ※購入方法は授業時に指示します。						
参考書	「こどものうた100」(チャイルド社)「やさしく弾ける ピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲」(新星出版社) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集。 具体的には、授業時に各自の進度に合わせて担当教員より指示します。 やまたんテキストvol.4 2020年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表(山村短大オリジナル)						
関連科目	ピアノA ピアノB 音楽表現の探究						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 配付プリントはA4ノートに貼り、整理しておきましょう。 <u>楽譜や教材は毎回必ず持参してください。</u> また、後期には【2020年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表】を持参してください。 教材としてオカリナを購入してもらいます。詳細は授業で伝えます。						

授 業 計 画 (4 月 ～ 8 月) と 時 間 外 学 習		オリエンテーション 授業内容の説明 音さがしⅠ
	1	〈予習〉シラバスの内容確認 10分 〈復習〉音さがしの配付しプリントのまとめ 35分
	2	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅰ 音さがしⅡ 弾き歌い「あさのうた」 〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題集の「音名」を解く35分 「あさのうた」 片手ずつ 毎日20分程度
	3	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅱ 弾きうたい「あさのうた」 〈予習〉あさの歌片手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉配付プリント問題 30分
	4	譜表・音符・休符の理解 弾き歌い「おべんとう」 〈予習〉あさの歌両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉楽典問題集の「音符・休符」を解く 30分
	5	譜表・音符・休符の理解 弾き歌い「おべんとう」・森の音環境整備をしようⅠ 〈予習〉おべんとう片手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉配付プリント問題 30分
	6	拍子とりリズムの理解 弾き歌い「おかえりのうた」・森の音環境整備をしようⅡ 〈予習〉おべんとう両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉楽典問題集の「拍子とりリズム」を解く75分
	7	拍子とりリズムの理解 弾き歌い「おかえりのうた」・森の音環境整備をしようⅢ 〈予習〉おかえりのうた片手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉配付プリント問題 30分
	8	幹音と派生音 変化記号の理解 弾き歌い「さよならのうた」 ・手作り楽器を作ろう 〈予習〉おかえりのうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉問題集の「幹音・派生音・変化記号」を解く 30分
	9	調号と臨時記号 ・手作り楽器で遊ぼう 〈予習〉さよならのうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉問題集の「調号と臨時記号」を解く 30分
	10	反復記号・省略記号 ・オカリナを作ろう 〈予習〉生活のうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉問題集の「反復記号・省略記号」を解く 30分
	11	強弱 速度 発想記号 ・オカリナで合奏をしよう 〈予習〉生活のうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉問題集の「強弱・速度・発想記号」を解く 30分
	12	音階 調性 発声法Ⅰ 弾き歌い 生活のうた 季節の歌を描こうⅠ 〈予習〉季節のうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉問題集の「音階・調整」を解く 30分
	13	和音 発声法Ⅱ 弾き歌い 季節のうた 季節の歌を描こうⅡ 〈予習〉季節のうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉配付プリントの仕上げ 30分
	14	コードネーム 弾き歌い こどものうた 〈予習〉こどものうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉配付楽譜にコードをつける 30分
15	伴奏法 授業内容の振り返り / 生活の歌見極め 〈予習〉こどものうた両手・歌唱練習 毎日30分 〈復習〉楽典のまとめのプリントを解く 30分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説〕30分	

授 業 科 目 名	音楽(9月～1月)			教員名	福泉 博子/数野 麻衣子 大導寺 俊平/福士 紗希/町田 百合絵 中川 悠子/宮尾 夕華		
配 当 年 次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 保育内容の理解と方法 〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	音あそび 歌唱 こどものうた ピアノ 弾き歌い 楽典 ソルフェージュ						
授 業 の 概 要	保育者として必要となる音楽の基礎的な知識、技能の理解と習得を目指します。そのため、楽典や歌唱法、ソルフェージュに関する授業を前期に、ピアノや弾き歌いなどの個人レッスンを後期の授業で実施し、音楽全般について総合的に学習します。 また、本学の自然環境を生かした音遊びの中で五感と想像力を養います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1) 幼稚園や保育所などで歌う「こども・幼児のうた」の特性を学び、ピアノで弾き歌いをしながら幼児の指導ができる力を身につけます。 2) 自然や生活の中にある音を感じ、声や身体、楽器、身近にあるものを使って音楽を奏でる方法を習得します。また、それらの方法を用いて、こどもの発達に合わせた活動が出来るようにします。 【到達目標】 〈前期〉では基本的な音楽の知識を学び、一人で読譜ができるようにします。 ・自然や生活の中にある音を感じとることができる。 ・声や身体、楽器、生活の中にあるものを使って、自由に音楽を創作する感性を身につけることができる。 〈後期〉ではピアノ・弾き歌い進度表の応用Ⅱまで、中級者はソナチネアルバムⅠやブルグミュラー、上級者はソナタアルバムや同レベルのピアノ曲が弾けるようにすることを目標とします。 ・生活のうた、季節のうたなどを通して、こどもの心に伝わる歌い方ができる。						
授 業 の 方 法 等	教育実習1週間分(後期)を除く、通年29回の演習授業を行います。 〈前期〉は各グループを未経験者と経験者の2グループに分け、2名の教員で授業を行います。生活のうたや季節のうたなどの弾き歌いや、楽典に関する授業を行います。また、入学前課題で配付した楽譜プリント集の「ピアノ・弾きうたい進度表」に沿ってすすめていきます。 〈後期〉はピアノの個人レッスンをを行います。各グループ5名の教員が担当し、個々のレベルにあったレッスンをを行います。 定期試験の前期は楽典の筆記試験、後期は発表会形式でピアノと弾き歌いの実技試験を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 前期:筆記 / 後期:実技(ピアノ演奏40%・弾き歌い40%) 〕 各期 80% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 各期 20% ※前期と後期の平均で評価します。						
教 科 書	「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) 2017 ※全員購入 「ジュニアクラスの楽典問題集」(ドレミ楽譜出版社) ※全員購入 「全訳(標準)バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社) ※各自の進度に応じた教則本を指示します。 楽器(オカリナ) ※購入方法は授業時に指示します。						
参 考 書	「こどものうた100」(チャイルド社) 「やさしく弾ける ピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲」(新星出版社) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集。 具体的には、授業時に各自の進度に合わせて担当教員より指示します。 やまたんテキストvol.4 2020年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表(山村短大オリジナル)						
関 連 科 目	ピアノA ピアノB 音楽表現の探究						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 配付プリントはA4ノートに貼り、整理しておきましょう。 楽譜や教材は毎回必ず持参してください。また、後期には【2020年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表】を持参してください。 教材としてオカリナを購入してもらいます。詳細は授業で伝えます。						

授 業 計 画	オリエンテーション(目標 内容 授業形式の説明)
(9 月 ～ 1 月) と 時 間 外 学 習	16 <予習>シラバスの内容確認 毎日30分程度 <復習>レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	17 17～28回は、学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン ※17回目「教育実習Ⅰ」ピアノ見極めテスト
	【初級者の教則本(バイエル)及び学習事項】 ピアノ進度表
	18 基礎Ⅱ 新しい調とその音階 基礎Ⅲ 複合問題 応用Ⅰ 曲の構成の把握と転調を含む曲 応用Ⅱ 総復習
	19 <予習>教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 <復習>レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	【中級者の教則本】 ピアノ進度表
	20 ソナチネアルバムⅠ ブルグミュラー <予習>教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 <復習>レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	21 【上級者の教則本】 ピアノ進度表
	22 ソナタアルバム、ブルグミュラー、他 弾き歌い(生活、行事、季節、子どものうた、 テレビ・アニメのうた) <予習>教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 <復習>レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	実技試験 リハーサル
	29 <予習>試験曲の練習 毎日30分程度 <復習>リハーサルの振り返り 30分 試験曲の練習(歌唱練習含) 毎日30分程度
定 期 試 験	◆定期試験〔 実技 〕 75分 ◆振り返り・フィードバック〔 試験の講評 〕 15分

授 業 科 目 名	図画工作			教員名	酒井 誠		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 保育内容の理解と方法 〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	基礎的な技法 ,身近な素材を使う、素材の特性安全性を考える						
授業の概要	図画工作を行っていく過程で必要になる、技法・素材等の基礎知識を学びます。ものづくりの楽しさを理解するとともに、それを伝える力や、怪我等トラブル回避のための行動を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 図画工作の技法・素材を習得する。身近にあるものを使って作ることを体験し、様々なものが、一手間加えるだけで、新たなものに生まれ変わる楽しさの理解を深める。ゆっくりと丁寧に、かつ安全に制作することができるようになります。 【到達目標】 多くの技法・素材の知識を身に付けることによって、表現力の幅を広げ、制作に自分なりの工夫を凝らせるようになる。将来の指導者として制作の楽しさを子どもたちに伝えられるようになります。						
授業の方法等	実技を主体とした授業です。毎回様々な授業展開をしますので出席が大切です。毎回の授業内容を作品とともにスケッチブックにまとめて学期末に提出があります。やまたんテキスト効果測定(図画工作)を2回以上実施します。入学前課題について触れます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕 25% ■作品提出・配付プリントをまとめ、添付したスケッチブックの提出 50% ■授業へ取り組む姿勢と制作への態度 25%						
教科書	プリントを配付します。講義には別途講義用プリントを配付します。						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館2018 「やまたんテキストQ&A Vol.3」						
関連科目	造形表現の探究 子ども文化演習B						
質問受付の方法	オフィシアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨んで下さい。 2.積極的な姿勢で授業に関わりましょう。 3.毎回の授業時に配付するプリントは、図画工作スケッチブックの巻末に添付して下さい。 4.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		ガイダンス・授業内容の説明 様々な技法を知る①/フロッタージュとコラージュ-こすりだし技法と張り込み-
	1	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	2	様々な技法を知る②/デカルコマニー -偶然性を利用した色や形の表現- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	3	様々な技法を知る③/パチック・スクラッチ -クレヨンと絵の具の性質を知る- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	4	様々な技法を知る④/ステンシル・スパッタリング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	5	様々な技法を知る⑤/染め紙・マーブリング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	6	様々な技法を知る⑥/スタンピング・ローリング・ドリップング -多様な技法を知り、応用して制作する- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	7	風船張り子のお面制作①/デザイン決め～張り込み 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	8	風船張り子のお面制作②/張り込み 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	9	風船張り子のお面制作③/張り込み～装飾～完成 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	10	たからの地図制作 -基礎実技を応用して制作- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	11	スタンドグラス風オブジェ制作 -普段よく見るものを別のものへ- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	12	折り紙を使った遊び -紙とでんぶん糊とハサミを使った表現- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	13	感覚スケッチ -視覚に頼らず、触覚だけでイメージして描く- 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	14	CDコマ制作① -身近な素材でおもちゃを作る- /やまたんテキスト図画工作の実施① 〈予習〉Yテキスト図画工作の暗記・事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
15	CDコマ制作② -身近な素材でおもちゃを作る- /やまたんテキスト図画工作の実施② 〈予習〉Yテキスト図画工作の暗記・事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分	
定 期 試 験	◆定期試験〔 筆記 〕 60分 ◆フィードバック・振り返り〔定期試験の解説、講義用プリントを基に自己点検する〕 30分	

授 業 科 目 名	幼児体育			教員名	鴨志田 加奈		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 保育内容の理解と方法 〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	健康、運動、発達、遊び、遊び環境						
授 業 の 概 要	乳幼児の運動遊びの意義を理解し、様々な運動遊びの援助法等について体験的に学びます。自分自身の身体性や表現力を高めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の運動遊び、保育における展開についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性、表現力を向上をさせる。 【到達目標】 ①乳幼児の運動あそびの意義について説明することができる。 ②様々な運動あそびを実践することができる。 ③保育の場面(遊び・活動・行事等)に合ったねらいや内容を理解している。 ④子どもの発達段階にあった援助、安全管理等、適切な配慮について主体的に考えることができる。 ⑤乳幼児を取り巻く現代的課題や、遊び環境の重要性について主体的に考えることができる。 ⑥自らの身体性や表現力向上に対して積極的に努力することができる。						
授業の方法等	乳幼児の運動遊びの方法や環境構成について具体的な体験・経験のなかで身に付けていきます。学びの省察・自己評価を行いながら学び進めます。また、視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法を積極的に用います。入学前課題の発表も行う。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 実技 〕20% ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物 40%						
教 科 書	「子どもの運動遊びバイブル にこにこ笑顔で楽しみながら運動の力もの伸びてゆく！」 香村恵介・八藤直樹・内藤譲・田中真紀 著 みらい 2018						
参 考 書	「幼児期運動指針ガイドブック」文部科学省 サンライフ企画 2013						
関 連 科 目	保育内容健康 保育内容表現 健康と人間関係の指導法 言葉と表現の指導法 子どもの保健Ⅰ・Ⅱ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ ダンスムーブメント						
質問受付の方法	適宜、研究室等にて受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	1.運動できる服装で臨んで下さい。2.内履き、外履きをロッカーに準備しましょう。3.授業実施場所の変更や準備物等については教員の指示や掲示板等などに注意して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	運動遊びの意義を考える 〈予習〉授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	2	子どもの発達と運動を考える①発育・発達と運動 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	3	子どもの発達と運動を考える②動きの発達・習得・洗練・多様化 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	4	動きの種類と運動遊び①運動遊びの面白さ、グループ遊びと伝承遊びの特徴とねらい 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	5	動きの種類と運動遊び②年齢に応じた運動遊び 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	6	動きの種類と運動遊び③運動遊びの環境作り、運動遊びで人気の道具・使えるアイテム 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	7	楽しく遊ぶための技とコツ①運動遊びを楽しむために 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	8	楽しく遊ぶための技とコツ②動きを伝えるおもしろさと難しさ、運動遊びの雰囲気作り 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	9	運動遊びとリスクマネジメント 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	10	保育への導入・展開・応用の探求 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	11	運動遊びアラカルト 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	12	自然と繋がる身体 ヨガ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	13	遊び環境の多様性①固有覚・前庭覚 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	14	遊び環境の多様性②触感覚 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	15	遊び環境の多様性③水遊び 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔 実技 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 実技試験の講評を行う 〕30分	

授 業 科 目 名	乳児保育Ⅰ			教員名	巢立 佳宏		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔乳児保育Ⅰ〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	乳児保育の意義と役割、乳児の心身の発達、子育て支援						
授 業 の 概 要	乳幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、 1. 乳児保育の概要について知ります。 2. 乳幼児期の発達や生活に理解を深めます。 3. 乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳児保育に必要な知識や技能を様々な観点を通して学ぶ。 【到達目標】 乳児保育についての歴史、現状、課題について理解する。乳幼児の心身の発達について基礎的知識を身につける。乳児保育の内容や、園児・保護者に対するの援助の方法について知る。						
授業の方法等	テキストに沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていきます。ロールプレイングなどのアクティブラーニングを取り入れて行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕40％ ■授業への取り組み・態度 20％ ■提出物 40％						
教 科 書	「はじめて学ぶ乳児保育」志村聡子編著 同文書院 2018						
参 考 書	「子どもとかかわる人のための心理学」沼山博・三浦主博編著 萌文書林 2019						
関 連 科 目	乳児保育Ⅱ 保育の心理学						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意							

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	乳児保育の社会的背景 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	2	乳児保育に関わる制度 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	3	保育所保育指針における「乳児保育」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	4	乳児保育の「ねらい及び内容」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	5	乳児の体の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	6	乳児の心の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	7	保育園における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	8	乳児院等における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	保育の計画 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	10	保護者との連携 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	11	保育者同士の連携のあり方 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	12	乳児保育実践の基礎知識①(だっこ、おむつ替え等) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	13	乳児保育実践の基礎知識②(授乳、離乳等) 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	14	乳児保育実践の基礎知識③(安全管理) 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	15	地域や関係機関との連携 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	乳児保育Ⅱ			教員名	山田 真由美		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔乳児保育Ⅱ〕						卒業認定・学位授与方針 DP3
授業内容を示すキーワード	学びの芽生え 受容的・応答的な関わり 子どもの最善の利益 ～具体的実践～						
授 業 の 概 要	0. 1. 2歳児の発育・発達や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方を学びます。 養護及び教育の一体性を踏まえて、生活や遊び、保育の方法、環境について具体的に理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳児保育の重要性を認識するとともに、具体的援助や関わりを習得し専門性を高める。 【到達目標】 (1)0. 1. 2歳児の発達を理解することができる。 (2)保育の知識、技術等具体的に学びを深め、実践力を身に付けようとする。 (3)事例から多様な連携を理解することができる。						
授業の方法等	教育実習の1週分を除く、14回の授業を実施します。 具体的学びを通して実践につながる授業を展開します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	改訂「乳児保育の基本」阿部和子著 萌文書林 2019						
参 考 書	適宜必要な資料を配布します。						
関 連 科 目	乳児保育Ⅰ						
質問受付の方法	適宜講師控室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意							

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		乳児保育の意義・目的
	1	〈予習〉子どもの主体性とは何か考える。45分 〈復習〉養護と教育について理解しておく。45分
	2	0. 1. 2歳児が生活する場の現状と課題 〈予習〉0. 1. 2歳児の生活を身近な事例から考える。45分 〈復習〉授業内容をまとめる。45分
	3	0. 1. 2歳児の生活 ―保育のねらいと内容― 〈予習〉3つの視点と5領域を確認する。45分 〈復習〉授業内容をまとめる。45分
	4	協働の中の保育の実際 〈予習〉生活を共にする職員・保護者・地域の連携を考える。45分 〈復習〉保護者と連携するための方策をまとめる。45分
	5	乳児保育の基本 〈予習〉0. 1. 2歳児の発達を理解しておく。45分 〈復習〉0. 1. 2歳児の対応の基本を具体的にまとめる。45分
	6	生活や遊びを通しての保育とその環境 （日課・睡眠） 〈予習〉子どもが安心して一日を過ごせるために配慮すべきことを考える。45分 〈復習〉ディリープログラムから保育者の関わり・配慮をまとめる。45分
	7	生活や遊びを通しての保育とその環境 （食事・排泄） 〈予習〉基本的な生活習慣を確認する。45分 〈復習〉発達の連続性を意識し、まとめる。45分
	8	生活や遊びを通しての保育とその環境 （着脱・清潔・健康と安全） 〈予習〉子どもの病気、事故など身近な事例を確認する。45分 〈復習〉授業をまとめる。45分
	9	生活や遊びを通しての保育とその環境 （遊び・子ども同士の関わり） 〈予習〉具体的な場面を考える。45分 〈復習〉遊びを提案する。45分
	10	生活や遊びを通しての保育とその環境 （遊び） 〈予習〉「遊び」を提案するため各自まとめておく。45分 〈復習〉「遊び」のバリエーションを増やす。45分
	11	0. 1. 2歳児の発育発達を踏まえた生活と遊びの実際 （朝の受け入れ・午後の迎え・保護者対応） 〈予習〉心地よい伝え方について考える。45分 〈復習〉授業をまとめる。45分
	12	0. 1. 2歳児の発育発達を踏まえた生活と遊びの実際 （生活や遊びを支える環境構成） 〈予習〉ふさわしい室内外の環境について考える。45分 〈復習〉授業をまとめる。45分
	13	保育の全体的な計画と指導計画の実際 〈予習〉計画の立案について具体的に考える。45分 〈復習〉授業をまとめる。45分
	14	保育の全体的な計画と指導計画の実際 （エピソード記録を個別計画に活かす。） 〈予習〉エピソード記録を想定しておく。45分 〈復習〉授業内容をまとめる。45分
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	子どもの健康と安全			教員名	田中 直代		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの健康と安全〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	全体的な計画と保健計画、生命の保持、乳幼児身体発育曲線、窒息、抱っこ、むかえそで、仕上げ磨き、暑さ指数、やけど、手洗い、インフルエンザ、アレルギー性疾患、災害						
授業の概要	「子どもの保健」で学んだ知識や理論をもとに、子どもの健康及び安全を守る保健活動を学びます。新生児の身体測定、身体発育曲線による発育・発達の評価を理解します。子どもの生活習慣、発達援助と保健活動の意義を理解し、養護と教育の一体化した技術を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態は、その後の人生の健康や生活の基礎となる。子どもの健康及び安全を守る保健活動は、保健計画(健康管理、健康教育、環境衛生)で日々の保育が展開されている。保健活動が計画的に全職員が参画、周知されることで感染症、事故、災害などの危機的状況に対応していることを理解するために学ぶ。 【到達目標】 1.保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 2.関連するガイドラインや近年のデータに関心を持ち、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策について、具体的に理解する。 3.健康及び安全にかかわる保健活動の計画・実施・評価を行う。 4.個の健康と集団の保健の視野に立った対応や予測した保育を行う。 5.保育が養護と教育を一体化すると、一人一人の子どもと応答的な触れ合いや言葉がけを楽しめることを理解する。						
授業の方法等	・教育実習の1週分を除く、14回の授業を行います。 ・授業は講義と演習をセットに進め、講義はパワーポイントのスライドと配布プリントによる講義形式、演習(内容、手順、実施、評価)はグループ学習、必ず各自が体験し、技術を身につけます。 ・演習は自己評価、他己評価を行います。／・項目により、プリント提出、発表を行います。 ・やまたんテキストについて小テストがあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕80% ■授業への取り組み・態度〔ファイル提出〕10% ■提出物〔レポート〕10%						
教科書	「子どもの健康と安全」中根淳子・佐藤益子編著 ななみ書房 2019						
参考書	「こどもの病気の地図帳」鴨下重彦・柳沢正義監修 講談社 2012 「子どもの保健 演習ノート」改訂第3弾 柳原洋一監修 診断と治療者 2019						
関連科目	子どもの保健 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 乳児小児救命法 子どもの家庭支援論						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので遅刻・欠席等をしないで下さい。演習は動きやすい服装で受講し、終了後プリントを提出します。「子どもの保健」のA4判2穴ファイル復習して授業に臨んで下さい。配布資料は授業中に書き込みをし、A4判2穴ファイルに整理と保存します。後日提出、復習テストがあります。色鉛筆を使うので用意しておいて下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション、保健的観点を踏まえた保育環境及び援助	
	1	〈予習〉シラバスの内容確認。30分 〈復習〉保険計画、保健だよりに目を通す。60分
	2	保育における健康及び安全の管理(1)衛生管理 〈予習〉P15～ 屋内施設、屋外施設の衛生管理を読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	3	保育における健康及び安全の管理(2)事故防止及び安全管理 〈予習〉P25～ 保育中の事故、死亡原因を読む。45分 〈復習〉〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	4	保育における健康及び安全の管理(3)危機管理・災害への備え 〈予習〉P29～ 危機管理の意味と目的、災害への備えを読む。45分 〈復習〉次回ノート提出の準備。45分
	5	子どもの体調不良等に対する適切な対応(1)子どもに起こりやすい体調不良 〈予習〉P37～ 発熱を読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	6	子どもの体調不良等に対する適切な対応(2)応急処置 / 色鉛筆 〈予習〉P54～ ショック、頭部打撲、熱傷、熱中症を読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	7	子どもの体調不良等に対する適切な対応(3)応急処置 〈予習〉P61～ 異物の誤飲を読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	8	感染症対策(1)集団発生の予防 〈予習〉P79～ 感染症予防の基本を読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	9	感染症対策(1)感染症発症時と罹患後の対応 / DVD 〈予習〉P84～ 感染症発症時と罹患後の対応。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	10	保育における保健的対応(1)抱き方・背負い方 / 色鉛筆 〈予習〉P89～ 抱き方・背負い方・寝かせ方を読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	11	保育における保健的対応(2)排泄、衣服・靴 / 色鉛筆 〈予習〉P95～ 排泄、衣服・靴を読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	12	保育における保健的対応(3)歯みがき / 色鉛筆 〈予習〉配付したプリントを見返す。45分 〈復習〉歯みがき・染め出し後、プリント提出。45分
	13	保育における保健的対応(4)個別的な配慮を有する子どもへの対応 てんかん/アレルギー / DVD 〈予習〉P112～ てんかん、食物アレルギーを読む。45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
	14	健康及び安全の管理の実施体制 / まとめ 〈予習〉P125～ 保育における保健活動の計画及び評価 / ルーラーを作る準備(のりとはさみ) 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	障がい児保育			教員名	宇田川 和久		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔障害児保育〕					卒業認定・学位授与方針	DP3
授業内容を示すキーワード	障害、知的障害、発達障害、インクルージョン、特別支援教育、医療・福祉、連携、個別支援計画						
授 業 の 概 要	障害とは何か、障害のある子どもにとって保育はどのような意味を持つのか、障害に応じた適切な支援の方法はどうあるべきなのか、障害のある子どもの保育を進めるために関係機関とどのように連携していく必要があるのかなどについて学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 障害のある子どもや特別な支援を必要とする子どもの保育を進める上で必要な基本的な知識を習得することを目的とします。 【到達目標】 (1) 障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 (2) 個々の障害特性や心身の発達に応じた援助の仕方、合理的配慮などについて理解する。 (3) 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 (4) 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの家庭に対する支援や関係機関との連携・協働について理解する。 (5) 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義・演習・障害幼児に関するビデオ視聴等を織り交ぜながら、障害児保育について理解を図るようにします。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	「障害児保育ワークブック(インクルーシブ保育・教育を目指して)」星山麻木著 萌文書林 2019						
参 考 書	文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のホームページ						
関 連 科 目	特別支援教育論						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義等の記録、配付した印刷物はA4版2穴ファイルに学習ノートとして整理、保存して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		「障害」の概念と障害児保育
	1	〈予習〉Lesson1を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	2	発達を理解する 〈予習〉Lesson2を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	3	発達の違いを理解する 〈予習〉Lesson3を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	4	障害の特性を理解する①(知的障害及び肢体不自由) 〈予習〉Lesson4を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	5	障害の特性を理解する②(視覚障害及び聴覚障害、病弱等) 〈予習〉Lesson4を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	6	障害の特性を理解する③(自閉症) 〈予習〉Lesson5を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	7	障害の特性を理解する④(LD,ADHD) 〈予習〉Lesson5を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	8	支援方法を理解する①(心の支援) 〈予習〉Lesson6を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	9	支援方法を理解する②(発達論による支援) 〈予習〉Lesson7を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	10	支援方法を理解する③(行動への支援) 〈予習〉Lesson8を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	11	支援方法を理解する④(環境調整による支援) 〈予習〉Lesson9を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	12	支援方法を理解する⑤(人の連携による支援) 〈予習〉Lesson10を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	13	事例研究① 本人・家族への支援 〈予習〉提出課題の調査 90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
	14	事例研究② 関係機関との連携 〈予習〉提出課題の調査 90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
	15	事例研究③ 就学支援 〈予習〉提出課題の調査 90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	社会的養護Ⅱ			教員名	宇田川 和久		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔社会的養護Ⅱ〕					卒業認定・学位授与方針	DP3
授業内容を示すキーワード	社会的養護、家庭養護、施設養護、子どもの人権、虐待、里親、権利擁護、個別支援計画						
授業の概要	児童福祉施設を利用している子どもたちの生活の様子や心情を理解するために、援助者として必要な知識や心構えを身につけます。また、児童観や施設養護観などを養うことにより、利用者が安心して生活が送れるように、生活プログラムの作成や事例研究などを通して、望ましい援助の在り方などを学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 児童福祉施設等の利用者に対し、保育士として望ましい支援や援助ができるように、支援者として必要な知識や心構えを習得します。 【到達目標】 (1)社会的養護における児童の権利擁護や保育士に求められる資質について理解する。 (2)施設養護等の社会的養護の実際について理解する。 (3)個別支援計画の作成と具体的な支援内容について理解する。 (4)社会的養護に関わるソーシャルワークの方法や技術について理解する。 (5)児童家庭福祉、地域福祉等について理解する。						
授業の方法等	12回授業を行います。 演習科目なので、講義の他に事例に関わるグループ討議、報告発表等を行い、学生が主体的に参加する授業展開を目指します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%						
教科書	「新基本保育シリーズ⑱社会的養護Ⅱ」相澤仁・村井美紀・大竹智編 中央法規 2019						
参考書	厚生労働省ホームページ						
関連科目	社会的養護Ⅰ 施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等に対応します。						
履修上の注意	グループ討議や講義等の記録、配付した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		子どもの権利擁護
	1	〈予習〉子どもの権利擁護に関する報道や虐待などの情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	2	社会的養護における子どもの理解 〈予習〉児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	3	施設養護（乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設）の特性及び実際① 〈予習〉提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	4	施設養護（児童心理治療施設、障害児施設など）の特性及び実際② 〈予習〉提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	5	家庭養護（里親制度、ファミリーホーム事業等）の特性及び実際 〈予習〉虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	6	社会的養護におけるケアマネジメント 〈予習〉社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	7	アセスメントと個別支援計画の作成 〈予習〉自立支援計画に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	8	事例分析（日常生活支援、心理的支援） 〈予習〉提出課題の調査 45分 〈復習〉事例分析の整理 45分
	9	事例分析（自立支援）と記録の意義 〈予習〉提出課題の調査 45分 〈復習〉事例分析の整理 45分
	10	社会的養護における保育士の専門性 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
	11	社会的養護におけるソーシャルワーク 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
定 期 試 験	12	今後の社会的養護の課題と展望 〈予習〉提出課題の調査 45分 〈復習〉レジュメをまとめる。45分
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	子育て支援			教員名	室井 佑美		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子育て支援〕					卒業認定・学位授与方針	DP3
授業内容を示すキーワード	子どもと保護者 地域の子育て家庭 連携・協働 社会資源 自己理解 他者理解 コミュニケーション						
授業の概要	保育者として、現代社会の中で求められている子育て支援の技術や技能を習得するために、子育て支援の特性や保育士の行う子育て支援の過程と實際を学びます。さらに、子ども家庭福祉を視野に入れ、倫理に基づいた専門性を学び、保育者と目指す上で自己理解を深め、他者理解に対する洞察力を養います。そして、保育者に求められる子育て支援の實際を、具体的な事例を用いて連携・協働を意識しながら学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者として子ども、家庭、社会等に対する実態を理解する。その上で、保育者として支援可能な環境の相互作用を支援し、様々な支援ニーズのある子どもと保護者、地域の子育て家庭への援助が展開できるよう、知識と技術を習得する。 【到達目標】 (1)保育者として保育の専門性を背景とした保護者や子育て家庭の相談に対する課題を整理して多様な支援を導き出す具体的な助言、情報提供、行動見本の提示等について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2)専門職としての職業倫理を踏まえて他者および自己理解を深め、配慮した態度と言動を意識することができる。 (3)保育者の行う子育て支援について、実践事例を通して具体的な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を検討し、ロールプレイすることができる。						
授業の方法等	演習および講義形式で授業を進めます。授業中は、自ら考え、積極的に発言、主張、行動をしていくことを求めます。また、視聴覚教材の使用、グループワーク、学外学習など授業内で行います。リアクションペーパーの作成を求め、自分自身の意見をまとめることを多く行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 45% ■提出物 35%						
教科書	「子育て支援」佐藤ひろ・佐藤純子著 北樹出版 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	その他授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	子ども家庭福祉 子ども家庭支援論 子ども家庭支援の心理学 など						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室およびリアクションペーパーなどで受け付けます。						
履修上の注意	テキストおよび授業内で配布するプリント等へ書き込みます。2穴ファイルなどで資料を整理し、学んだことは一週間にまとめておきましょう。演習に対して真剣に行うことで、コミュニケーション技術が向上し、自己省察も深まります。意識高く臨んでください。学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず欠席する場合は翌日には研究室に資料を受け取り、課題の把握、授業内容の確認などとして主体的に学ぶ意欲を見せるようにしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション、保育士の行う子育て支援の特性
	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉自分の子育て支援に関する思いを論じる 90分
	2	保護者への支援のニーズと多面的な理解、信頼関係の形成 〈予習〉第1回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉自己覚知ワーク①をして、ふりかえる 60分
	3	保育士としての自己覚知・他者理解(1) 〈予習〉第2回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉自己覚知ワーク②をして、ふりかえる 60分
	4	保育士としての自己覚知・他者理解(2) 〈予習〉第3回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉自己覚知ワーク③をして、ふりかえる 60分
	5	子育て支援における子ども・保護者の状況と状態の把握と支援の計画と環境の構成 〈予習〉第4回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉他者理解ワーク①をして、ふりかえる 60分
	6	子育て支援における支援の実践・記録・カンファレンスと職員間の連携・協働 〈予習〉第5回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉他者理解ワーク②をして、ふりかえる 60分
	7	社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 〈予習〉第6回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉他者理解ワーク③をして、ふりかえる 60分
	8	保育所等における子育て支援の實際 〈予習〉第7回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉保育所等における事例を検討してまとめる 60分
	9	地域の子育て家庭への子育て支援の實際 〈予習〉第8回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉地域の子育て家庭への支援における事例を検討してまとめる 60分
	10	障がいのある子どもおよびその家庭に対する子育て支援の實際 〈予習〉第9回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉障がいのある子どもと家庭への支援における事例を検討してまとめる 60分
	11	要保護児童とその家庭に対する子育て支援の實際 〈予習〉第10回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉要保護児童と家庭への支援における事例を検討してまとめる 60分
	12	特別な配慮を要する子ども、多様な支援ニーズを抱える子どもやその家庭に対する子育て支援の實際 〈予習〉第11回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉特別な配慮を要する/多様な支援ニーズを抱える子どもと家庭への支援における事例を検討してまとめる 60分
	13	地域における子育て支援施設への見学 〈予習〉第12回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉見学した子育て支援施設におけるレポートを作成する 60分
	14	子育て支援における今後の課題と未来への展望、子育て支援のまとめ 〈予習〉第13回で指定されたキーワードを見つけ、テキストにラインを引く 30分 〈復習〉自分の子育て支援に関する思いを論じる 60分
定 期 試 験		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔添削をして後日返却〕

授 業 科 目 名	健康と人間関係の指導法			教員名	新井 英人/室井 佑美		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目／保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕						卒業認定・学位授与方針 DP3
授業内容を示すキーワード	領域 健康 人間関係 就学前教育 育みたい資質・能力 発達 主体的・対話的で深い学び 保育の構想						
授業の概要	五領域で共通的に修得すべき資質能力を学び、「健康」及び「人間関係」における保育内容の指導法を学びます。就学前教育の基本、育みたい資質能力、就学前教育における見方・考え方を含め、ねらいと内容と就学前教育における評価を具体的な保育展開に結び付けける専門的実践すべき力を身に付けます。指導案作成や模擬保育及びその振り返りを含め、主体的・対話的で深い学びから「健康」及び「人間関係」における保育内容の指導法を修得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」及び「人間関係」における指導法の実践を学び、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付けます。 【到達目標】 (1) 幼児教育の基本及び乳児保育の基本を踏まえ、領域「健康」及び「人間関係」のねらい及び内容を理解し、それぞれ概説できる。 (2) 乳幼児の発達や学びの過程を理解し、「健康」及び「人間関係」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけようとする。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。教員2人体制でクラス分けの授業を展開します。 アクティブラーニング、保育模擬実践、学外学習などを活用します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕 40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
教科書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	その他授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、言葉と表現の指導法、環境の指導法、保育内容総論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室で受け付けます。						
履修上の注意	配布した資料は丁寧に整理、保存してください。なお、保育内容の指導法(健康と人間関係、言葉と表現、環境)は1つのファイルに一貫して保存することを勧めます。授業の実施場所、準備物、服装については、事前の指示をよく聞いてください。 学習の積み重ねを重視するため、やむを得ず欠席する場合は翌日には研究室に資料を受け取り、課題の把握、授業内容の確認などして主体的に学ぶ意欲を見せるようにしてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション、幼児教育(就学前教育)の基本と保育内容の全体構造〔担当:新井〕						
	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉教科書の指定したページを読む。180分					
	2	保育内容「健康」のねらいと内容(幼児が経験し身に付けていく内容/指導上の留意点)〔担当:新井〕					
		〈予習〉第1回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
	3	幼児理解と保育の構想の基本〔担当:新井〕					
		〈予習〉第2回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
	4	情報機器及び教材の活用法(健康の特性/幼児の経験から)〔担当:新井〕					
		〈予習〉第3回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
	5	指導案作成(「健康」に関する指導案の構成と立案/具体的な保育展開)〔担当:新井〕					
		〈予習〉第4回で配付した資料を読む。30分 〈復習〉実際に指導案を立案する。150分					
	6	幼児教育における評価方法〔担当:新井〕					
		〈予習〉第5回で配付した資料を読む。30分 〈復習〉立案した指導案を修正する。150分					
	7	「健康」に関連した模擬保育と振り返り(時間/環境構成/保育者の援助/臨機応変な対応)〔担当:新井〕					
		〈予習〉第6回で配付した資料を読む。30分 〈復習〉立案した指導案実践を評価する。150分					
	8	「健康」「人間関係」における保育実践の動向〔担当:新井・室井〕					
		〈予習〉第7回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
定 期 試 験	9	領域ごとの内容の関連性と小学校や教科等への接続〔担当:室井〕					
		〈予習〉第8回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
	10	保育内容「人間関係」のねらいと内容(幼児が経験し身に付けていく内容/指導上の留意点)〔担当:室井〕					
		〈予習〉第9回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
	11	情報機器及び教材の活用法(人間関係の特性/幼児の経験から)〔担当:室井〕					
		〈予習〉第10回で配付した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分					
	12	指導案作成(「人間関係」に関する指導案の構成と立案/具体的な保育展開)〔担当:室井〕					
		〈予習〉第11回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
	13	「人間関係」に関連した模擬保育と振り返り(時間・環境構成・保育者の援助・臨機応変な対応)〔担当:室井〕					
		〈予習〉第12回で配付された資料を読む。30分 〈復習〉実際に指導案を立案する。150分					
	14	「人間関係」における保育実践の動向〔担当:室井〕					
		〈予習〉第13回で配付した資料を読む。30分 〈復習〉実際に指導案を評価する。150分					
	15	指導法のとまとめと領域との関連性〔担当:室井〕					
		〈予習〉第14回で配付した資料を読む。90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。90分					
		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔添削をして後日返却〕					

授 業 科 目 名	環境の指導法			教員名	野口 一夫		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目／保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕					卒業認定・学位授与方針	DP3
授業内容を示すキーワード	幼保小の連携 スタートカリキュラム 野菜栽培 カルタあそび 自然とあそぶ エコグッズの制作						
授業の概要	幼児の身近な環境との関わりとして、野菜栽培や伝統的な遊び、自然と直接遊んだり、制作したりする体験を通して領域「環境」を理解し、小学校との円滑な接続について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入りにていこうとする経験と、小学校以降の教科とのつながりを理解できる。 【到達目標】 幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けることができる。						
授業の方法等	12回授業を行います。 ファームでの活動(土づくり、追肥、除草、収穫、収穫祭) VTR・DVD視聴 あそびと制作等、具体的な体験を通して学びます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	「生活科」教科書 野口一夫 共著 啓林館 「保育内容 環境」 神長美津子・堀越紀香・佐々木晃 編著 光生館 2018 「生活科指導」ビデオ 野口一夫他製作 「環境・エコへの道標」 野口一夫著 雄文社 2016						
関連科目	保育内容環境、保育内容総論、健康と人間関係の指導法、言葉と表現の指導法						
質問受付の方法	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出します。レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意して下さい。ファームで活動ができる服装(ジャージ、スニーカー等)、色鉛筆を準備して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	幼稚園教育の基本と小学校との接続・連携 ～生活科との関わり～ 〈予習〉「生活科」とはなにか調べる 45分 〈復習〉接続と連携の重要性を整理する 45分
	2	アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムと領域「環境」 VTR視聴 〈予習〉アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを調べる 45分 〈復習〉学習内容を整理する 45分
	3	草花とあそぶ ネイチャーゲームを楽しむ 〈予習〉ネイチャーゲームとは何か調べる 45分 〈復習〉学習内容を整理する 45分
	4	みんなで育てよう！ やさい①種、苗の観察 〈予習〉ナス、ピーマン、シシトウ、ポップコーンについて調べる 45分 〈復習〉種や苗の植え方を体験を通してポイントを整理する 45分
	5	みんなで育てよう！ やさい②成長の観察 〈予習〉時々観察することによって新しい発見をする 45分 〈復習〉見る 触る 聞く 嗅ぐ 心で感じる 比べる スケッチ などの観点を整理する 45分
	6	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」社会生活、思考力、自然との関わり、数量や図形を学ぶ・評価 〈予習〉「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を調べる 45分 〈復習〉学習内容を整理する 45分
	7	自然とあそぼう ①ササ舟・草笛・紙笛や葉っぱ 〈予習〉クマザサ、紙、葉っぱなどの自然等の自然物に目を向け、遊びを考える 45分 〈復習〉身近な自然とあそぶ楽しさを整理する 45分
	8	自然とあそぼう ②折り紙ヒコーキ・発泡スチロールヒコーキ 〈予習〉簡単に作ってあそべる物を調べる 45分 〈復習〉実習等で幼児にも簡単に作れることを学び、実践しようとする 45分
	9	伝統的なあそび(カルタ等)を直接体験する 〈予習〉伝統的なあそびを調べる 45分 〈復習〉既成の物や自作した物を体験し、ポイントを整理する 45分
	10	領域「環境」を内容とする指導計画と日案を作成 模擬保育と振り返り 〈予習〉長期・短期の指導計画を調べる 45分 〈復習〉日案の書き方のポイントを整理する 45分
	11	環境関連のDVD視聴、エコグッズの制作 〈予習〉エコグッズやエコクッキングについて調べる 45分 〈復習〉エコについての知識を深め、ポイントを整理する 45分
	12	やさいの収穫祭を楽しもう！ 〈予習〉食育の意義を調べる 45分 〈復習〉やさいを育てる過程で、命あるものを食することの意義を深め自然の恵みに感謝する 45分
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	言葉と表現の指導法			教員名	相沢 和恵/鴨志田 加奈		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目／保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕						卒業認定・学位授与方針
							DP3
授業内容を示すキーワード	乳幼児児 言葉 表現 教育 保育						
授 業 の 概 要	幼児の言葉や表現に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「言葉」「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解します。保育内容の各領域を総合的に捉え、構想、計画、指導、実践、省察する力を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「言葉」「表現」のねらい及び内容について理解し、生活や遊びの中で乳幼児が身に付けていく内容や育ちを踏まえて具体的な保育を展開する方法を身につける。 【到達目標】 (1)乳幼児の心情、認識、思考や動きを視野に入れ、保育を展開し適切な援助ができる。 (2)言葉や表現について豊かな感性を養うための環境の構成と保育の展開について具体的に計画を立てることができる。 (3)素材や教材について特性を理解しそれらを活用することができる。						
授業の方法等	教員2人体制でクラス分けの授業を展開します。 ICTを積極的に活用し、グループワーク・模擬保育などを取り入れます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕30％ ■授業への取り組み・態度(ポートフォリオなどの提出物を含む) 70％						
教科書	「言葉の指導法 改訂第2版」大豆生田啓友・佐藤浩代/編著 玉川大学出版部 2019 「表現の指導法 改訂第2版」田澤里喜 編著 玉川大学出版部 2019 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	「感じあう伝えあう ワークで学ぶ児童文化」村中李衣編著 金子書房 2015 「あそびから学びが生まれる動的環境デザイン」大豆生田啓友 学研教育みらい 2018 他、授業中に適宜紹介します。						
関連科目	保育内容言葉、保育内容表現、保育内容総論、健康と人間関係の指導法、環境の指導法						
質問受付の方法	担当教員の研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		幼稚園教育の基本と、保育内容領域「言葉」のねらいと内容、子どもの言葉の発達過程〔担当:相沢〕
	1	〈予習〉シラバスと指定教科書を読み、授業の概要を理解する 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	2	子どもの言葉を育む環境構成と援助(1)〔担当:相沢〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	3	子どもの言葉を育む環境構成と援助(2)〔担当:相沢〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	4	子どもの言葉を豊かにする環境構成、教材、実践〔担当:相沢〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	5	子どもの言葉を育む保育の構想、保育場面を想定した指導案の作成〔担当:相沢〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	6	子どもの言葉を育む保育の実践、模擬保育の実施〔担当:相沢〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	7	子どもの言葉を育む保育の評価と改善、模擬保育の振り返り〔担当:相沢〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	8	保育内容領域「表現」のねらい及び内容〔担当:鴨志田〕 〈予習〉教科書「表現の指導法」のはじめにを読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	9	子どもの表現を育む環境構成と援助(1)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	10	子どもの表現を育む環境構成と援助(2)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	11	子どもの表現を育む活動(1)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	12	子どもの表現を育む活動(2)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	13	子どもの表現を育む行事(1)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
	14	子どもの表現を育む行事(2)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
定 期 試 験	15	まとめ:子どもの言葉や表現を育み、豊かにする保育実践〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分
		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック(成績発表時に返却します)

授 業 科 目 名	造形表現の探究			教員名	酒 井 誠		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔大学が独自に設定する科目〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	身近な素材 素材の特性 コミュニケーション 安全性を考える 子どもの絵の発達段階						
授業の概要	本授業はものづくりの体験性を活かしたグループワークによる実践的な講義になります。単に技術を習得するだけではなく、その技術や知識を子どもたちがどのように理解し、共有し活かせるのか、講義を通して学んでいきます。 またe-learningシステムにより、双方向型の授業及び自主学生支援を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ものづくりについて、子どもの制作に対する意欲を引き出す方法や、作品に現れた子どもの心情を感じ取れるコミュニケーション能力を養います。さらに、制作時や制作物で遊ぶ際に注意すること等、楽しく安全に交流ができるよう配慮のできる人材を育成します。 【到達目標】 ものづくりの実践を通して、子どもが持っている隠れた魅力を引き出す力を身に付けます。さらにグループワークを通して他者との関係づくり及び協働がスムーズに行えるコミュニケーション力を養います。						
授業の方法等	演習・グループワークなど、制作を主体に90分授業を14回行います。 学期末に筆記試験を実施します。また、やまたんテキスト効果測定(造形表現)を2回以上実施します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20%						
教科書	毎回プリントを配付します。講義には別途講義用プリントを配付します。						
参 考 書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018 「やまたんテキストQ&A Vol.3」						
関 連 科 目	図画工作 子ども文化演習B						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨んで下さい。 2.積極的な姿勢で授業に関わりましょう。 3.毎回の授業時に配付するプリントは、図画工作スケッチブックの巻末に添付して下さい。 4.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。 5.e-learningを実施しながら授業を進めるため、スマートフォンまたはPCを持参してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	ガイダンス・造形表現のねらい/実技・新聞紙遊び①/身体を包んで遊ぶ 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	2	新聞紙遊び②/まちをつくる 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	3	新聞紙遊び③/新聞紙とビニールテープでものづくり 〈予習〉90分事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	4	大きな絵を描く①/模造紙に迷路を描く 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	5	大きな絵を描く②/大きなビニールシートに様々なものを写し取りながら描く 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	6	目に見えない素材で表現する/巨大こいのぼり作り① 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	7	目に見えない素材で表現する/巨大こいのぼり作り② 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	8	季節(行事)の壁面制作・(クリスマス会へ向けて・年中行事について知る①)・Yテキスト造形表現1回目の実施。 〈予習〉・Yテキスト造形表現の暗記・事前に配付するプリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	9	季節(行事)の壁面制作と展示・(ホールなどの効果的な飾りつけ方法を学ぶ)・Yテキスト造形表現2回目の実施。 〈予習〉・Yテキスト造形表現の暗記・事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	10	木の枝などの自然素材でクリスマスオーナメントをつくる・(年中行事について知る②)・装飾の技法を知る) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	11	ダンボールとパスタ、きのみを使ってリース作り 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	12	アートの森をつくる・卒業生の木 (毎年学生が一枚の葉っぱを作り、年度を超えて1本の樹木に壁面装飾として再構成する。) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	13	講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。なぐりがきから意味づけまで。 〈予習〉事前に配付する講義プリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉講義プリントをまとめる。45分
	14	講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。図式期までと幼児画の特徴について。 〈予習〉事前に配付する講義プリントで内容の確認をする。45分 〈復習〉講義プリントをまとめる。45分
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆フィードバック・振り返り〔定期試験の解説、講義用プリントを基に自己点検する〕30分

授 業 科 目 名	音楽表現の探究			教員名	福泉 博子		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔大学が独自に設定する科目〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	音楽づくり 音楽あそび 合唱 合奏 表現 協同学習						
授業の概要	幼児は生活や遊びの中で音楽に親しみ楽しむことで豊かな感性や創造性が生まれます。幼児の感性や創造性を育む方法や構成を実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能・表現力を習得します。また、発表会やクリスマス会などのステージ発表を通し、準備工程や他者との協働の大切さを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1) 音楽遊びを通して幼児の音楽的感覚を育てる方法を学びます。 2) 合唱や合奏活動を通じて歌唱法や幼児が使う各種楽器の奏法を学び、保育者に必要とされる指導技術を身につけます。 3) 発表会やクリスマス会の準備を通して園行事(音楽会)の流れを習得します。 【到達目標】 ①表現が目指すもの、もたらすものを学び、音楽の力が幼児に与える影響を理解、分析することができる。 ②表現する楽しさを実感し、合唱や合奏を通してハーモニーの重なりや楽しさを楽しむことができる。 ③歌詞や旋律が意図することを理解し、より幅広い表現ができるようにする。 ④協働して表現をしていく事を通し、他者と共感しながら豊かな表現につなげていくことができるようにする。 ⑤表現の知識技能を活かし、幼児の表現活動に展開させることができるようにする。						
授業の方法等	教育実習1週分を除く、14回の授業を行います。 演習形式。前半は「音楽遊び・音楽づくり」「合唱・合奏」を45分ずつ行います。 後半はクリスマス会に向けての合唱や、少人数でのアンサンブルやグループ練習を行います。 発表会、クリスマス会の練習は学生リーダーを中心に学生主体で授業を展開していきます。 定期試験(実技 歌唱・合奏)を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔実技〕60% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物(レポート) 10%						
教科書	プリントを配付します。						
参考書	やまたんテキストVol.4						
関連科目	音楽 子ども文化演習B						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	発表を成功させるためには、一人一人が自覚と向上心をもって取り組まなくてはなりません。他者の表現を受け止め共感し、より豊かな演奏や表現ができるように心がけましょう。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション 表現(音楽)のねらいと内容の理解
	1	〈予習〉シラバスの内容を確認する 20分 〈復習〉授業で配付されたプリントを見直す 70分
	2	身近にある音・声・楽器による音楽遊び (グループワーク)/合唱 歌唱法の習得 〈予習〉合唱曲の音取りを行う 毎日15分 〈復習〉音遊びのレポート作成 45分
		子どもたちとの音楽活動の方法を知る
	3	〈予習〉配布資料を見返す 20分 〈復習〉配布資料の仕上げと、音楽活動の手順や構成をまとめる。70分
		合唱 ハーモニーを学ぶ/合奏 やさしい鍵盤楽器、打楽器の奏法/音楽活動の指導案の立案
	4	〈予習〉合唱・合奏曲の練習 20分 〈復習〉合唱・合奏曲の練習とこどもたちへの指導方法の立案 70分
		感情や動作を音を使って表現する音楽づくり/合唱 歌詞の内容理解と曲想の理解/合奏 個人・グループ練習
	5	〈予習〉配付資料を見返す 20分 〈復習〉合唱・合奏曲の練習とこどもたちへの指導方法のまとめ 70分
		合唱・合奏 グループ練習・全体練習/音楽会の準備について I
	6	〈予習〉 合唱・合奏練習 45分 〈復習〉 音楽会の行程表の作成をする 45分
		合唱と合奏練習とリハーサル/音楽会の準備について II
	7	〈予習〉合唱・合奏練習 45分 〈復習〉音楽会の行程表の仕上げとプログラム作成 45分
		発表会
	8	〈予習〉合唱・合奏練習 45分 〈復習〉発表会の振り返りレポート作成 45分
定 期 試 験		クリスマス会の演目説明 演奏曲目決めと担当者決め
	9	〈予習〉配付資料を見返す 20分 〈復習〉クリスマス会の内容の確認と練習 70分
		グループ練習 合唱 パート練習・全体練習/合奏 個人練習・グループ練習・全体練習
	10	〈予習〉個人練習 20分 〈復習〉グループ練習 70分
		中間発表とグループ練習 (中間発表での問題点の見直しと調整)
	11	〈予習〉中間発表の準備 45分 〈復習〉個人練習・グループ練習 45分
		全体練習
	12	〈予習〉グループ練習 45分 〈復習〉個人練習・グループ練習 45分
		クリスマス会リハーサル
	13	〈予習〉リハーサルの準備 45分 〈復習〉リハーサルの振り返りと練習 45分
		クリスマス会振り返りレポート 授業のまとめ・振り返り
	14	〈予習〉なし 〈復習〉クリスマス会レポートの仕上げ 20分 実技試験曲の練習 70分
定 期 試 験		◆定期試験〔実技〕80分 ◆振り返り・フィードバック〔実技試験の講評〕10分

授 業 科 目 名	子ども文化演習A			教員名	尾崎 富美子 / 大島 靖史		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	絵本 紙芝居 パネルシアター エブロンシアター わらべうた 遊び歌(手遊び・ふれあい遊び・ダンスなど) 廃材や身近にあるものを使った遊び						
授 業 の 概 要	・児童文化財の知識と活用法を習得します。 ・「遊び歌・遊び」の楽しさ、指導の心構えや指導方法を実技を通して習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・児童文化の基本を学び、保育者としての力を養いましょう。子どもとやりとりする時の言葉や姿勢、態度を身につけましょう。 ・「遊び歌・遊び」の楽しさ、指導の心構えや指導方法を実技を通して指導技術を習得します。 【到達目標】 ・絵本や紙芝居を活用し、表現することで保育者としての自己のイメージをつくっていきます。 ・遊び歌や遊びを知り、指導法を体得した経験を保育実習や保育業務で自信を持って実践することができる。						
授業の方法等	教員2人体制で授業を展開します。前半の7回を尾崎が担当し、後半の7回を大島が担当します。15回目は尾崎／大島が担当します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕 60% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20%						
教 科 書	尾崎:適宜資料を配付 大島:「たのしくおどろろ『手あそびうた』(DVD付き)」成美堂出版						
参 考 書	「簡単楽しいエブロンで作るポケットシアター」尾崎富美子著 トロル出版部 2010 「手ぶくろ人形の部屋」高田千鶴子著 偕成社 1982 あそび歌CD『スマイル×スマイル』キッズスマイルカンパニー						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)						
質 問 受 付 の 方	授業開始前、授業終了後 随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	レポート及び制作物は必ず提出して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	児童文化財とはなにかー子どもの目線で考える 〔担当:尾崎〕 1 〈予習〉シラバスを見て授業内容を把握する。90分 〈復習〉教わった内容について振り返り、理解する 90分 絵本の魅力と基礎知識 〔担当:尾崎〕 2 〈予習〉図書室の絵本を手にとって読もう。90分 〈復習〉地域図書館の子ども・絵本コーナーを調べる。90分 絵本の開き読みの実践 〔担当:尾崎〕 3 〈予習〉開き読みのための絵本を選ぶ。90分 〈復習〉地域図書館の子ども・絵本コーナーを調べる。90分 保育で活かす紙芝居 〔担当:尾崎〕 4 〈予習〉紙芝居を音読してみる。90分 〈復習〉紙芝居を子どもの前で演じる。90分 パネルシアター 作り方と演じ方 〔担当:尾崎〕 5 〈予習〉大学図書室にあるパネルシアターを借りだす。90分 〈復習〉パネルシアターを実践する。90分 エブロンシアター 活用と制作の方法 〔担当:尾崎〕 6 〈予習〉大学図書室でエブロンシアターについて調べる。90分 〈復習〉エブロンシアターを演じる。90分 保育で活きる「わらべうた」〔担当:尾崎〕 7 〈予習〉知っているわらべうたを思い出して書き出しておく。90分 〈復習〉教わったわらべうたを覚えて活用する 90分 オリエンテーション「自己紹介」「遊びとコミュニケーション」について 遊び歌の実践 〔担当:大島〕 8 〈予習〉シラバスを見て授業内容を把握する。90分 〈復習〉教わった内容について振り返り、理解をする。90分 身近にある物を使った遊びを紹介・実践 〔担当:大島〕 9 〈予習〉子どもの発達や保育指針を理解する。90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。90分 遊び歌の実践「伝承遊び」など 保育での遊び実践のビデオ鑑賞 〔担当:大島〕 10 〈予習〉過去に教わったり、体験してきた手遊び、伝承遊びを振り返る。90分 〈復習〉授業で行った遊びを振り返り練習する。90分 年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ【0・1・2歳編】 〔担当:大島〕 11 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分 年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ【幼児編】 〔担当:大島〕 12 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分 年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ【アレンジ編】 〔担当:大島〕 13 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分 手遊びグループ発表 〔担当:大島〕 14 〈予習〉実技試験で行う手遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分 授業のまとめ 〔担当:尾崎/大島〕 15 〈予習〉授業で配付された資料をまとめる。90分 〈復習〉実践に向けて自身の課題に取り組む。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績発表時にコメントを入れ返却します〕

授 業 科 目 名	子ども文化演習B			教員名	鴨志田 加奈 酒井 誠 / 福泉 博子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修					卒業認定・学位授与方針	
						DP4	
授業内容を示すキーワード	総合的な表現、表現の過程、創造性、協働性、表現力、コミュニケーション、表現技術、保育者としての資質・能力						
授業の概要	劇の特徴は、言語表現・身体表現・音楽表現・造形表現などを融合しながら、物語の世界を総合的に表現することです。この表現に対する総合的な捉えは、子どもたちのごっこ遊びやイメージの世界を理解する上で必要不可欠な視点です。 本授業では2年間の学びを活かしながら、子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇を創作・実演します。子どもの心性に基づき意図をもって主体的に作品を創作すること、教員や仲間と協働すること、自身が舞台で表現することを通して、保育者としての資質・能力や社会人基礎力を高めていきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇作品の創作・実演を通して表現についての具体的な知識・技能・身体知を身につけること、体験過程を通して自身の思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、創造性、コミュニケーション能力等の実態に気づき、それらの能力を活かしたり向上させることをねらいとする。 【到達目標】 ①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。 ②自身の表現力・表現技術を身につける。 ③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。 ④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。 ⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。						
授業の方法等	講義、制作、実技、演習、発表、グループワークを併用して展開します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕20％ ■授業への取り組み・態度 70％ ■提出物 10％						
教科書	使用しません。						
参考書	適宜紹介します。						
関連科目	保育内容表現、言葉と表現の指導法、音楽、音楽表現の探究、図画工作、造形表現の探究						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	責任のある行動を求めます。報連相に努め、チームの一員という自覚をもって取り組んでください。授業中・授業外共にグループ活動への積極的な参加、自主的な練習が求められます。日常から表現に興味を持って、積極的にジャンルを問わず様々な表現に触れる機会を作ってください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション(子どもの心性と総合的な表現の理解) 劇制作組織を学ぶ 演出部の選出 〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	2	全体ワークショップ①(演出法・制作技術・音響照明効果) 演出部:題材の検討・制作計画 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	3	全体ワークショップ②(スージング、振付け、演技) 演出部:台本の作成 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	4	劇制作①全体:台本第一稿配布 物語・キャラクター理解 演出部:演出プランミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	5	劇制作②全体:本読み(5W1Hで台詞を捉える) 演出部:装置プランミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	6	劇制作③全体:シーン作り(役の関係性から考える動線) 道具係:制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	7	劇制作④全体:シーン作り(歌・踊りに意図を持たせるスージング) 道具係:制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	8	劇制作⑤全体:シーン作り(音響・照明の効果) 道具係:制作 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	9	劇制作⑥全体:シーン作り(芝居全体から見た部分の役割) 衣装ミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	10	劇制作⑦荒通し(全体を見通す) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	11	全体調整ミーティング 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	12	通し(全体調整・制作過程について)(装置、衣装付き通し) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	13	リハーサル(ゲネプロ) 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	14	本番映像鑑賞・片付け 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉本番の振り返りと片付け 90分
	15	省察・授業のまとめ ※発表本番は総合演習のクリスマス会で行います 〈予習〉活動プロセスをまとめておく 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔コメントを入れて成績発表時に返却します〕	

授 業 科 目 名	ピアノA			教員名	数野 麻衣子 / 大導寺 俊平 福士 紗希 / 宮尾 夕華		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 個別学習 習熟度別学習						
授業の概要	保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法を学びます。ピアノ未経験者から上級者まで、個々のレベルに合わせたレッスンを行います。初級者はバイエルなどの教則本を使い初歩的技術の習得を、中・上級者はソナチネなど様々な楽曲を用いて総合的な音楽力を身につけます。また、園生活で使われる基本的な生活の歌を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 読譜力を身につけ、正しい運指法、打鍵法で演奏できるようにします。幼稚園・保育所等で歌う生活の歌を弾き歌いできるレベルを目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○初級者は「ピアノ・弾き歌い進捗表」の基礎Ⅰまでを、中級者は基礎Ⅲまでを、上級者はソナチネ・ソナタ・ブルグミュラーなどが演奏できる。 ○園で歌われる生活の歌や季節の歌、童謡などが弾き歌いができる。						
授業の方法等	○演習形式で行います。 ○個人レッスンを毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔実技(ピアノ) 40%・(弾き歌い) 40%〕80% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 20%						
教科書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)/ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) 「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック出版) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参考書	「こどものうた 100」チャイルド社 「やさしく弾ける ピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲」新星出版社 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 2020年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表(山村短大オリジナル) やまたんテキストvol.4						
関連科目	音楽 音楽表現の探究 ピアノB						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 楽譜や教材、2020年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表は毎回持参してください。 楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参しましょう。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意すること。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉シラバスの内容確認 30分 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	2	2～14回 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	3	初級 バイエル 導入Ⅰ 右手・左手 (ピアノ・弾き歌い進捗表参照) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	4	初級 バイエル 導入Ⅱ 左右の手の独立・各指の独立 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	5	初級 バイエル 導入Ⅲ カノン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	6	初級・中級 バイエル 基礎Ⅰ 分散和音の練習と重音の練習 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	7	中級 バイエル 基礎Ⅱ 新しい調とその練習 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	8	中級 バイエル 基礎Ⅲ 複合問題 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	9	中級・上級 バイエル 応用Ⅰ 曲の構成の把握と転調を含む曲 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	10	中級・上級 バイエル 応用Ⅱ 総復習 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	11	上級 ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	12	初級・中級・上級 弾き歌い 生活の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	13	中級・上級 弾き歌い 行事の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	14	中級・上級 弾き歌い 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	15	実技試験リハーサル 〈予習〉試験曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り 30分、試験曲の練習(歌唱練習含) 毎日30分程度
定 期 試 験	◆定期試験〔実技〕80分 ◆振り返り・フィードバック〔実技試験の講評を行う〕10分	

授 業 科 目 名	ピアノB			教員名	数野 麻衣子 / 大導寺 俊平 富士 紗希 / 町田 百合絵 / 中川 悠子		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 習熟度別 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上						
授 業 の 概 要	「音楽」「ピアノA」における習得成果を踏まえ、保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法や弾き歌い、和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。個々のレベルに合わせた個人レッスンを行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場から求められる要求に応えられる専門性を身につけることができます。 習熟度の低い学生は、読譜力と演奏技術の向上を目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○習熟度の低い学生はバイエル100番程度の難易度の曲が演奏できる。弾き歌いでは和音や分散和音を用いたこどもの歌が弾きこなせるようになる。 ○中上級者はブルグミュラー、ソナチネ、ソナタや、それらと同等のピアノ曲を演奏することができる。また、コードや伴奏法を用い、童謡などに伴奏がつけられるようになる。						
授業の方法等	○12回の授業を行います。 ○演習形式で行います。 ○個人レッスンを毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔実技(ピアノ) 40%・(弾き歌い) 40%〕80% ■授業への取り組み・態度(予習・復習を含む) 20%						
教科書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参 考 書	「こどものうた 100」(チャイルド社) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 平成30年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表(山村短大オリジナル) やまたんテキストvol.4						
関 連 科 目	音楽 音楽表現 ピアノA						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 楽譜や教材、2019年度入学生ピアノ・弾き歌い進捗表を毎回必ず持参してください。 楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参してください。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉教育実習Ⅱピアノ見極めテストの練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	2	2～11回 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン ※2回目に教育実習Ⅱの見極めテスト 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	3	拍子とリズム テンポ 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	4	強弱法 音階法 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	5	曲想やフレーズについて 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	6	調性と移調について 実習園からの課題曲のレッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	7	伴奏法についてⅠ ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(童謡と唱歌) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	8	伴奏法についてⅡ ・分散和音奏法 ・メロディと伴奏 子どもの歌弾き歌い(童謡と唱歌) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	9	歌唱法について 初見演奏練習 子どもの歌弾き歌い(昭和初期～中期) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	10	総復習Ⅰ 子どもの歌弾き歌い(昭和後期) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	11	総復習Ⅱ 子どもの歌弾き歌い(平成) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
	12	実技試験リハーサル 〈予習〉試験曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り 試験曲の練習(歌唱練習含)毎日30分程度
定 期 試 験	◆定期試験〔実技〕70分 ◆振り返り・フィードバック〔試験の講評を行う〕20分	

授 業 科 目 名	教育方法・技術論			教員名	新井 英人/橋本 淳一		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む) 〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	遊びによる学び、環境による保育、子どもの主体性						
授 業 の 概 要	教育の方法及び技術に関する基本的な理論を学ぶ。また、幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。子どもが主体的かつ協働的に参加する学びとしての学校教育のあり方、特に幼児期の教育のあり方について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼児期の学びは子どもを主体として、環境や遊びなどの経験を通して育まれるものであるということを理解する。幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。						
	【到達目標】 様々な教育方法とその特徴を説明することができる。幼児期の特徴に応じた教育方法について説明できる。						
授業の方法等	オムニバス方式で各教員が授業回を担当する。 テキストに沿って、視聴覚教材により実践例などから理解を深める。 自身で考えた計画のプレゼンテーションを求めるなどアクティブ・ラーニングを取り入れて行う。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕 40％ ■授業への取り組み・態度 20％ ■提出物 40％						
教 科 書	「保育方法の探究」浅見均・田中正浩 編著 大学図書出版						
参 考 書	「幼児教育の方法」小田豊・青井倫子 編著 北大路書房 2009 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関 連 科 目	保育・教職論、保育・教職実践演習(幼稚園)						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意							

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		教育の方法、技術を学ぶ意義 〔担当:橋本〕
	1	〈予習〉自らの体験を振りかえり、教育の方法。技術を考える 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	2	児童中心主義保育の流れ 〔担当:新井〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	3	環境を通しての学び〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	4	遊びを通しての学び 〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	5	指導計画・評価の理解、幼稚園教育要領について 〔担当:橋本〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	6	子どもの主体性と教諭の意図 〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	7	保育形態のタイプ(自由保育・一斉保育・異年齢保育等)〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	8	保育形態のタイプ(プロジェクト・アプローチ) 〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	保育形態のタイプ(モンテッソーリ教育) 〔担当:新井〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	10	保育形態のタイプ(森のようちえん) 〔担当:新井〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	11	保育における評価の方法 〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	12	教諭の学びと成長 〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	13	指導計画作成について〔担当:新井〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	14	幼児教育におけるICT活用① 〔担当:橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	15	幼児教育におけるICT活用② 〔担当:橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔 筆記 〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕 30分	

授 業 科 目 名	教育相談			教員名	原田 友毛子		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法 〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP1	
授業内容を示すキーワード	教育相談、幼児、カウンセリングマインド、カウンセリング 教育的課題 連携						
授 業 の 概 要	学校における教育相談の基本となる考え方を学びます。幼児期、児童期の発達を視点に持ち、個々の心理的特質や教育的課題を、より幅広く、より深く捉えることを目指します。特に、幼児期における自己理解、望ましい人間関係の構築、集団の中で適応する生活力を育めるよう支援するための、基礎的知識(意義、理論、技法)を身に付けます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教育相談における教育活動の基盤となる、幼児期・児童期の発達に即した理論及び心理学理論に基づき、実際の教育的課題への対応に向けた基礎的知識と技能を身に付けることができる。 【到達目標】 (1)学校における教育相談の意義と理論を理解し、概説できる。 (2)教育相談を進める際に必要なカウンセリングに必要な基礎的知識を理解し、カウンセリング技法を活用できる。 (3)教育相談の展開過程を理解し、留意点や配慮点を説明できる。 (4)教育相談における連携や協働の必要性を教育的課題から理解できる。						
授 業 の 方 法 等	講義中心であるが、各々の理論を保育者の観点から演習等も行います。視聴覚教材を活用しながら事例検討も交えたグループワークも行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■定期試験〔 筆記 〕60％ ■授業への取り組み・態度 30％ ■提出物 10％						
教 科 書	「―コアカリキュラム対応―教育相談の理論と方法」会沢信彦編 北樹出版 2019						
参 考 書	「保育・教育相談支援-子育てを支える」太田光洋著 建帛社 2016						
関 連 科 目	保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助、子育て支援						
質 問 受 付 の 方 法	授業終了直後、または講師控室にて対応します。						
履 修 上 の 注 意	配付した資料は丁寧に整理、保存してください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		学校における教育相談の意義と課題
	1	〈予習〉シラバスの熟読 90分 〈復習〉教育相談の全体構造について整理する 90分
	2	教育相談に関わる心理学の基礎的理論と概念①(精神分析理論・自己理論) 〈予習〉精神分析理論や自己理論について教科書を熟読する 90分 〈復習〉本時のねらいについて整理する 90分
	3	教育相談に関わる心理学の基礎的理論と概念②(行動理論・交流分析理論) 〈予習〉行動理論や交流分析について検索し基礎的なことを理解しておく 90分 〈復習〉交流分析で得た自分自身の傾向性について思索する 90分
	4	幼児期、児童期の不適応や問題行動の意味 〈予習〉問題行動がなぜ起きるのかについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉授業で得た知見をノートにまとめる 90分
	5	幼児期、児童期が表出する言動の観察・評価方法 〈予習〉子どもの言動についてアセスメント方法を読み込んでおく 90分 〈復習〉アセスメントについて教育実習での経験を整理する 90分
	6	学校教育におけるカウンセリングマインド 〈予習〉カウンセリングマインドとは何かについて基礎的な知識を調べておく 90分 〈復習〉カウンセリングマインドを活かして一日を送りその感想をまとめる 90分
	7	カウンセリングの基礎的姿勢及び技法①(受容・傾聴) 〈予習〉リレーション形成に欠かせない技法としての受容や傾聴の例を自己の体験から思い出しておく 90分 〈復習〉授業中に行った「傾聴・受容」の体験について整理する 90分
	8	カウンセリングの基礎的姿勢及び技法②(共感的理解・面接技法) 〈予習〉共感的理解や面接技法について教科書を熟読する 90分 〈復習〉授業中の自分の面接技法についてノートを整理する 90分
	9	保育者が教育現場で行う教育相談の実際①(ケースの発見、目標の立て方) 〈予習〉どのようなことがケースとして相当するかについて調べる 90分 〈復習〉ケースによってどのような目標を立てて教育相談を実施するか整理する 90分
	10	保育者が教育現場で行う教育相談の実際②(校務分掌に沿った進め方) 〈予習〉教育相談の実例について9回目に配付された資料を読み込む 90分 〈復習〉担当する校務分掌によって役割分担することを整理する 90分
	11	不登園・虐待・いじめ・不登校・非行等の課題に対する発達段階や発達課題の背景 〈予習〉自身の体験と照らし合わせながらいじめ・不登校などについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉問題行動に伴う発達課題や発達段階についてノートを整理する 90分
	12	不登園・虐待・いじめ・不登校・非行等の課題に対する教育相談の進め方 〈予習〉不登園・虐待・いじめ・非行などの問題についての基本的な対処の仕方を調べる 90分 〈復習〉授業中に行った相談場面でのロールプレイについて感想をまとめる 90分
	13	教育相談の組織的取り組み(計画作成と園内体制整備等) 〈予習〉教育相談についての年間指導計画について教科書を熟読する 90分 〈復習〉教育実習を行った園の教育相談体制についてまとめる 90分
	14	地域の医療・福祉・心理等専門機関及び職種との連携 〈予習〉各専門機関との連携について配付された資料を熟読する 90分 〈復習〉専門機関との連携の実例についてノートを整理する 90分
定 期 試 験	15	教育相談のまとめ 〈予習〉 配付された資料や教科書を再度読み込む 90分 〈復習〉 教育相談についての知識をどの程度理解できたかノートを整理する 90分
		◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分

授 業 科 目 名	教育行政学			教 員	宇田川 和久/新井 英人		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修 〔教育の基礎的理解に関する科目/教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）〕					卒業認定・学位授与方針	DP1
授業内容を示すキーワード	教育行政、教育制度、学校運営協議会、学校安全						
授 業 の 概 要	わが国の公教育制度の原理や制度を支える教育法規の体系を理解すると共に、学校経営とその評価やこれからの学校と地域社会との連携の在り方、学校管理下における事故の実情を踏まえた危機管理や学校安全の取り組みなどについて、課題作成や協議を通して理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 公教育制度の意義やその法的・制度的仕組み、近年の教育政策の動向、地域との連携を図った学校経営の在り方、学校安全の目的と具体的な取り組みに関する基礎的な知識を習得する。 【到達目標】 (1)わが国公教育制度の原理と近年の教育政策の動向を理解できる。 (2)学校経営の仕組みと学校評価の在り方を理解できる。 (3)学校と地域社会との連携や協働の意義と実際について理解できる。 (4)学校安全の必要性と具体的な取り組みを理解できる。						
授業の方法等	授業では、自身の出身小・中学校や住所地の市町村教育委員会の教育行政の実情等の調査課題を通して、公教育制度の実際について理解を図ることができるようにします。そのために、レポート作成・発表・協議など学生の主体的な学びを大切にします。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕60％ ■授業への取り組み・態度 10％ ■提出物 30％						
教 科 書	「新しい教育行政学」 河野和清編著 ミネルヴァ書房 2014						
参 考 書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018 「小学校学習指導要領」「埼玉県教育行政重点施策」他、文部科学省ホームページ						
関 連 科 目	教育原理						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義の記録、配付した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		わが国の公教育制度の原理と学校体系〔担当:宇田川〕
	1	〈予習〉第1章「わが国の公教育制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	2	教育法規の体系と教育基本法改正後の動向〔担当:宇田川〕 〈予習〉第2章「教育法制の構造と機能」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	3	教育行政の概念と基本理念〔担当:宇田川〕 〈予習〉第3章「教育行政の概念と基本理念」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	4	教育行政の構造と機能〔担当:宇田川〕 〈予習〉第4章「教育行政の構造と機能」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	5	学校経営の仕組みと学校評価〔担当:新井〕 〈予習〉第5章「学校経営」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	6	教育課程行政の仕組み〔担当:新井〕 〈予習〉第6章「教育課程行政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	7	教職員の職務と教員評価制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第7章「教職員の服務と教員評価制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	8	教員養成・研修制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第8章「教員養成・研修制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	9	生涯学習時代における社会教育行政の課題〔担当:宇田川〕 〈予習〉第9章「社会教育行政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	10	幼稚園・保育所の行政制度〔担当:宇田川〕 〈予習〉第10章「保育行政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	11	教育財政の規模と構造〔担当:宇田川〕 〈予習〉第11章「教育財政」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	12	学校の危機管理と学校安全〔担当:新井〕 〈予習〉第11回で配布した資料を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	13	イタリアやアメリカの教育行政制度〔担当:新井〕 〈予習〉第13章「アメリカの教育行政制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	14	フィンランドやドイツなどの教育行政制度〔担当:新井〕 〈予習〉第19章「フィンランドの教育行政制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
	15	わが国教育行政の課題と展望〔担当:宇田川〕 〈予習〉第12章「わが国の公教育制度」を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメを整理する。90分
定 期 試 験		◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授 業 科 目 名	保育・教職実践演習(幼稚園) *			教員名	橋本 淳一 相沢 和恵 / 巢立 佳宏		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔 保育実践演習 〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔 教職実践演習 〕					卒業認定・学位授与方針	DP3
授業内容を示すキーワード	保育者としての資質・能力 フィールドワーク グループワーク ロールプレイ ICT ビデオ録画						
授業の概要	幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、特に現場経験のある教員からその職務経験を生かしたフィールドワーク(保育実践)、グループワーク(壁面製作)、ロールプレイなどの実践的な学びを取り入れながら授業を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園教諭・保育士として最小限必要な資質能力の全体について、確実に身につけるとともに、その資質能力の全体を確認する。 【到達目標】 学生が、教員・保育者となる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を各自で図る。						
授業の方法等	講義、演習、ディスカッション、フィールドワーク、ロールプレイ、グループワークと多様な形式で進めます。また、ITCを活用した授業として、幼稚園・保育所・つどいの広場等での保育実践(フィールドワーク)などでは、その実践の様子をスマートフォン等でビデオ撮影し、その様子をプロジェクターに提示して改善点や工夫点等を議論するとともに、レポート提出はウェブアンケートシステムを利用するなど、双方向型授業を意図したものとします。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕 30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔 課題・発表 〕 50%						
教科書	特に使用しません。						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ 施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	履修カルテの作成と保育実践でのビデオ撮影とプロジェクター上映は必須です。 なお、ビデオ撮影は各自のスマートフォン利用を原則とします。また、自主学習支援として、保育実践に関するグループでの事前自主学習で撮影映像を担当教員に随時送信可とし、適宜アドバイスを受けることができます。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	これまでの教育実習・保育実習における学修の振り返りについて（履修カルテⅠ・Ⅱの作成）と自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認と自己課題の設定 1 〈予習〉実習での学修を振り返る 90分 〈復習〉自己課題を認識し今後の学修を計画する 90分 2 教職や保育職の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、あるいは、社会性や対人関係能力等についてのグループ討議とロールプレイ(模擬授業) 〈予習〉教職や保育職の意義・役割・職務等を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分 3 保育内容等の指導法・指導力についてのグループ討議とロールプレイ(模擬授業) 〈予習〉保育内容等の指導法・指導力を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分 4 保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求① 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分 5 保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求② 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分 6 保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求③ 〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分 7 幼児理解や学級経営についてのグループ討議とロールプレイ(模擬授業) 〈予習〉幼児理解や学級経営を考える 90分 〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分 8 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究① ～つどいの広場 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分 9 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究② ～幼稚園 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分 10 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究③～保育所 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分 11 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究④ ～幼稚園 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分 12 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究⑤ ～保育所 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分 13 幼児理解や学級経営についてのフィールドワーク(保育実践)による探究⑥ ～つどいの広場 〈予習〉フィールドワークを準備する 90分 〈復習〉フィールドワークでの自他のエフォートを評価する 90分 14 ロールプレイ・グループワーク・フィールドワークを通した実践的指導力修得の相互評価 〈予習〉自他の実践的指導力を振り返る 90分 〈復習〉他者評価から実践的指導力を振り返る 90分 15 幼稚園教諭・保育士としての資質の確認とまとめ 〈予習〉自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認 90分 〈復習〉自らの課題を再設定する 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック(成績発表時にコメントを入れ返却します)

保育者の資質を高める科目

授 業 科 目 名	基礎演習(4月～8月) *			教員名	巢立 佳宏 / 新井 英人 / 室井 佑美 宇田川 和久 / 福泉 博子		
配 当 年 次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修						卒業認定・学位授与方針 DP5
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト、個人面談						
授業の概要	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方法、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、社会人・職業人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について実践的な活動を通して学ぶ。 幼稚園、小学校教諭等の実務経験を有する教員からその経験を生かした、具体的・実践的な授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、クラスゼミ学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。 【到達目標】 (1)幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2)保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3)園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4)基本的な生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。						
授業の方法等	教育実習1週間分(後期)を除く、通年29回の授業を行います。 学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	特に使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ 総合演習 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	各担任に直接質問してください。						
履修上の注意	基礎演習(第1時限)とキャリアアップセミナーⅠ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。 また、保育体験Ⅳとして、土日祝等を利用した地域のボランティアに参加する活動も必須となります。						

授 業 計 画 (4 月 ～ 8 月) と 時 間 外 学 習	ガイダンス
	1 〈予習〉シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
	2 クラスゼミ(新しいクラスづくり) 〈予習〉クラスづくりについて考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	3 保育体験Ⅰ事前学習 〈予習〉保育体験を理解する 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分
	4 保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)① 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	5 防災避難訓練、学生総会 〈予習〉防災避難訓練を考える 45分 〈復習〉防災避難訓練の自己点検・評価 45分
	6 保育体験Ⅰ(園に向いたふれあい体験)② 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
	7 保育体験Ⅱ(園見学)① 〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	8 保育体験Ⅱ(園見学)② 〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
	9 クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	10 クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	11 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉テストの振り返り 45分
	12 山緑祭振り返り、体験学習事前学習 〈予習〉反省点等をメモしておく 45分 〈復習〉振り返りを確認する 45分
	13 七夕まつり準備① 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	14 前期試験に向けて、里山保全・動物飼育体験オリエンテーション 〈予習〉体験学習の目的・内容を整理する 45分 〈復習〉体験学習の進め方を確認する 45分
	15 建学の精神・学習ゼミ希望等アンケート、TDL事前準備 〈予習〉体験学習の目的・内容を整理する 45分 〈復習〉体験学習の進め方を確認する 45分
定 期 試 験	◆定期試験は行わない

授 業 科 目 名	基礎演習(9月～1月) *			教員名	巢立 佳宏 / 新井 英人 / 室井 佑美 宇田川 和久 / 福泉 博子		
配 当 年 次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修					卒業認定・学位授与方針	DP5
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト、個人面談						
授 業 の 概 要	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方法、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、社会人・職業人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について実践的な活動を通して学ぶ。 幼稚園、小学校教諭等の実務経験を有する教員からその経験を生かした、具体的・実践的な授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、クラスゼミ学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。 【到達目標】 (1)幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2)保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3)園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4)基本的な生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。						
授業の方法等	教育実習1週間分(後期)を除く、通年29回の授業を行います。 学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	特に使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参 考 書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他、必要な資料は適宜配布します。						
関 連 科 目	キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ 総合演習 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	各担任に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	基礎演習(第1時限)とキャリアアップセミナーⅠ(第2時限)とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。 また、保育体験Ⅳとして、土日祝等を利用した地域のボランティアに参加する活動も必須となります。						

授 業 計 画 (9 月 ～ 1 月) と 時 間 外 学 習		後期オリエンテーション、建学の精神表彰
	16	〈予習〉後期の学習計画を立てる 45分 〈復習〉後期の学習計画を確認する 45分
		クラスゼミ
	17	〈予習〉来学園児対応計画を考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
		クラスゼミ
	18	〈予習〉来学園児の具体的な対応計画を考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
		保育体験Ⅲ(施設見学)
	19	〈予習〉施設見学の準備 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
		来学する園児対応の準備、双子ちゃん集まれ参観
	20	〈予習〉来学園児の対応準備を考える 45分 〈復習〉参観の振り返り、来学園児対応準備の確認 45分
		実習報告会
	21	〈予習〉実習経験を振り返る 45分 〈復習〉報告会の見聞をまとめる 45分
		来学した園児とふれあおう
	22	〈予習〉来学園児の対応を確認する 45分 〈復習〉園児対応を自己点検・評価する 45分
		鳩山フェスタ準備
	23	〈予習〉鳩山フェスタでの企画を考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
		学習ゼミ③
	24	〈予習〉研究計画を立てる 45分 〈復習〉振り返り 45分
		ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習
	25	〈予習〉テキストを使って試験対策をする 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分
		ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定
	26	〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉テストの振り返り 45分
		クリスマス会リハーサル
	27	〈予習〉活動内容等を確認する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		クリスマス会振り返り
	28	〈予習〉反省点をメモしておく 45分 〈復習〉振り返りを確認する 45分
		後期試験に向けて等
	29	〈予習〉4月までのスケジュールを計画 45分 〈復習〉4月までのスケジュールを確認 45分
定 期 試 験	◆定期試験は行わない	

授 業 科 目 名	総合演習(4月～8月) *			教員名	相沢 和恵 / 鴨志田 加奈 酒井 誠 / 橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修						卒業認定・学位授与方針 DP4
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、園行事、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト						
授業の概要	基礎演習に引き続き、体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力等を一層向上させ、社会人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について学習します。 幼稚園や保育所、小学校の教員等の実務経験を有する教員からその経験を生かした、具体的・実際の授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 行事の企画・運営を通して園行事を円滑に行うための実践的な能力を習得し、宿泊研修や体験学習を通じて保育者として必要な資質を向上し、社会人としての自覚や職業観を習得します。 【到達目標】 (1)幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力を身に付けることができる。 (2)宿泊研修や体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身に付けることができる。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回の授業を行います。 学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他必要な資料は適宜指示します。						
関連科目	基礎演習、キャリアアップセミナーⅡ、実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子ども文化演習B						
質問受付の方法	各担任に随時間いてください。						
履修上の注意	総合演習(第1時限)とキャリアアップセミナーⅡ(第2時限)は、行事や実習の日程に合わせて2時限連続で一体的に授業展開する場合があります。						

授 業 計 画 (4 月 ～ 8 月) と 時 間 外 学 習	カリキュラム理解・2年オリエンテーション
	1 〈予習〉学生便覧(学生生活の案内、科目一覧)を熟読する 45分 〈復習〉今後の学習等についてまとめる 45分
	2 クラスゼミ(総務委員会企画) 〈予習〉クラスづくりについて考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	3 クラスゼミ(新しいクラスづくり) 〈予習〉クラスづくりについて考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	4 クラスゼミ・個人面談(進路等) 〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	5 防災避難訓練、学生総会 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	6 クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	7 クラスゼミ(山緑祭準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	8 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉テストの振り返り 45分
	9 山緑祭振り返り・小川町七夕準備 〈予習〉目的と理解する・活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	10 クラスゼミ・個人面談(進路等) 〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
	11 建学の精神・学習ゼミ希望等アンケート・体験学習事前学習 〈予習〉学習ゼミの内容・体験学習等を理解する 45分 〈復習〉振り返り、アンケート記入 45分
	12 クラスゼミ・個人面談(進路等) 〈予習〉進路について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
定 期 試 験	◆定期試験は行わない

授 業 科 目 名	総合演習(9月～1月) *			教員名	相沢 和恵 / 鴨志田 加奈 酒井 誠 / 橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修					卒業認定・学位授与方針	DP4
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、園行事、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、やまたんテキスト						
授業の概要	基礎演習に引き続き、体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力等を一層向上させ、社会人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について学習します。 幼稚園や保育所、小学校の教員等の実務経験を有する教員からその経験を生かした、具体的・実際の授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 行事の企画・運営を通して園行事を円滑に行うための実践的な能力を習得し、宿泊研修や体験学習を通じて保育者として必要な資質を向上し、社会人としての自覚や職業観を習得します。 【到達目標】 (1)幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力を身に付けることができる。 (2)宿泊研修や体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身に付けることができる。						
授業の方法等	教育実習3週間分(前期)を除く、通年27回の授業を行います。 学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参考書	やまたんテキストWeb版、Natural保育検定テキストWeb版。その他必要な資料は適宜指示します。						
関連科目	基礎演習、キャリアアップセミナーⅡ、実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、子ども文化演習B						
質問受付の方法	各担任に随時間いてください。						
履修上の注意	総合演習(第1時限)とキャリアアップセミナーⅡ(第2時限)は、行事や実習の日程に合わせて2時限連続で一体的に授業展開する場合があります。						

授 業 計 画 (9 月 ～ 1 月)	と 時 間 外 学 習	後期オリエンテーション、建学の精神表彰 13 〈予習〉建学の精神等について理解する 45分 〈復習〉後期の学習等についてまとめる 45分 14 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉活動の目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分 15 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分 16 双子ちゃん集まれの準備 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分 17 双子ちゃん集まれ 〈予習〉活動内容等を確認する 45分 〈復習〉振り返り 45分 18 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分 19 実習報告会(1・2年合同) 〈予習〉実習経験を振り返る 45分 〈復習〉ワークシートにまとめる 45分 20 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分 21 クラスゼミ(クリスマス会準備) 〈予習〉目的等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分 22 学習ゼミ③ 〈予習〉活動内容等を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分 23 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習 〈予習〉テキストを熟読する 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分 24 ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定 〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉テストの振り返り 45分 25 クリスマス会リハーサル 〈予習〉活動内容等を確認する 45分 〈復習〉振り返り 45分 26 クリスマス会振り返り 〈予習〉反省点をメモしておく 45分 〈復習〉振り返りを確認する 45分 27 後期試験に向けて、「建学の精神」等アンケート 〈予習〉試験準備を考える、建学の精神等について読み返す 45分 〈復習〉今後の生活についてまとめる 45分
定 期 試 験	◆定期試験は行わない	

授 業 科 目 名	乳児小児救命法			教員名	酒井 誠 / マスターワークス		
配 当 年 次	2	開講時期	後期集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	乳児、小児、救命法、心肺蘇生法、けが・事故・病気、手当						
授業の概要	保育環境においては、睡眠時の呼吸停止や窒息、溺水など、生命にかかわる緊急時への対応が最も重要であり、さらに日常的なけがや急病への適切な対応と手当での仕方を習得しておくことが必要となります。本授業は生命の優先順位に基づき、現場の手順に沿って救命・応急処置の講義、実習を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 この授業の目的は、乳幼児の保育現場における事故防止と、万一の緊急時に医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当を習得することである。 【到達目標】 全ての授業に出席することにより、希望者はL.S.F.A.-Children's(小児用BLSプログラム)の「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。 認定を取得すると、L.S.F.A.本部により2年間にわたり訓練内容が証明される。						
授業の方法等	こどもの事故や急病における現場の行動手順に沿い、Step-bay-step で進めます。 短時間の講義を行った後、該当する実技演習を行います。 なお心肺蘇生については2015年末に改訂された最新ガイドラインに準拠した実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■試験〔実技〕20% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔事前・事後レポート・中間試験 各20点×3〕60%						
教科書	「こどもの事故と応急手当」(第6版) 吉田一心・伊東和雄著 マスターワークス 2017 ※購入方法については後日指示する。						
参考書	適宜紹介、資料を配付する。						
関連科目	子どもの保健 子どもの健康と安全						
質問受付の方法	講師控室・講習中随時						
履修上の注意	運動できる服装・髪型で参加して下さい。 遅刻・欠席・私語・居眠り等は、内容理解不足として不認定になる場合があります。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	事前指導・受講上の留意点、子どもの安全と事故事例、及び法的責任に関する法令について
	1 〈予習〉シラバスと事前に配布するプリントを基に内容を確認する。90分 〈復習〉当日配付のプリントをまとめる。90分
	保育環境における突然死と予防対策、こどもの事故の現状と応急手当の必要性
	2 〈予習〉事前配布の突然死予防資料を確認。教科書P3-9 事故防止と応急手当の役割を確認。90分 〈復習〉保育睡眠中の安全管理方法をリストアップする。教科書P8 連携の必要性を確認する。90分
	事故や急病の現場における観察と接触(安全確保、感染予防)
	3 〈予習〉教科書P12-13現場における安全確保の手順を確認。感染防止の方法を確認する。90分 〈復習〉事故現場に遭遇した際の4つのステップをまとめる。90分
	生の徴候(反応、呼吸、出血)の調査、反応がないこどもの呼吸管理(気道確保と回復体位)
	4 〈予習〉教科書P15-16 脳への酸素供給の重要性和P20-22意識不明者への気道確保の方法を確認。90分 〈復習〉緊急性の評価(赤、黄、緑)をまとめる。呼吸管理の重要性を再確認。90分
	心肺停止への一次救命処置(乳児、小児の心肺蘇生/CPR)
	5 〈予習〉教科書P25-29 乳児、小児への心肺蘇生の手順および胸骨圧迫、人工呼吸の方法を確認。90分 〈復習〉心肺蘇生の手順とスキルをまとめる。心原性心停止と呼吸原性心停止の違いをまとめる。90分
	心肺蘇生とAEDの使用
	6 〈予習〉教科書P36-39 AEDのメカニズムと使用方法を確認。90分 〈復習〉乳児、小児への心肺蘇生とAED使用の手順をまとめる。90分
	気道内異物の除去(乳児、小児)
	7 〈予習〉教科書P42-44 乳児と小児の窒息時の手順と手当の方法を確認する。90分 〈復習〉気道内異物除去方法と、窒息事故防止についてまとめる。90分
	止血とショック管理(止血法、保温法)
	8 〈予習〉教科書P47-50 止血の方法とショックの徴候・症状を確認する。90分 〈復習〉直接圧迫による止血方法を再確認する。体位管理と保温の必要性についてまとめる。90分
	全身のけがの調べ方、各部のけがと応急手当(頭、首、胸、腹のけが、傷と包帯、骨折、熱傷など)
	9 〈予習〉教科書P52-55 けがの調査17項目とP58-69 けがの応急手当を確認。90分 〈復習〉17項目のけがの確認方法をまとめる。生命に関わるけがの注意点をまとめる。90分
	中間指導 10回目までの内容を確認するため筆記試験とフィードバック
	10 〈予習〉10回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
	こどもの急病の調査(脈拍、呼吸、体温、顔色など)
	11 〈予習〉教科書P70 4つの調査項目を確認する。90分 〈復習〉脈拍、呼吸、体温、顔色の観察方法をまとめる。90分
	こどもの病気の手当(熱中症、発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシー、中毒など)
	12 〈予習〉教科書P72-83 こどもに起こる急病と手当を確認する。90分 〈復習〉保育園でよく起こりうる熱中症、けいれん、アナフィラキシーへの対応方法をまとめる。90分
	生物によるけが、こどもの虐待、災害時の注意
	13 〈予習〉教科書P84-94 生物によるけが、中毒、災害時の対応について確認する。90分 〈復習〉野外活動の際に注意すべき生物のけがについてまとめる。90分
	心肺蘇生実技評価セッション(乳児、小児)
	14 〈予習〉実技評価表を使用し、乳児・小児への心肺蘇生手順とスキルを確認する。90分 〈復習〉実技評価の結果から、改善の必要な手順とスキルを再確認する。90分
	事後指導 3日間のまとめ、振り返りシートへの記入
	15 〈予習〉10-15回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
試 験	◆試験〔実技〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔試験の講評を行う〕30分

授 業 科 目 名	アウトドア演習A			教員名	新井 英人 / 井上 満		
配 当 年 次	1・2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						卒業認定・学位授与方針	
						DP5	
授業内容を示すキーワード	自然、グループリーダー ネイチャーゲーム いつでもだれでも						
授 業 の 概 要	自然を直接体験するプログラムや各種のゲームを体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付けます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所・幼稚園・認定こども園等で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、人や自然を深く愛し慈しむことのできる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。 【到達目標】 ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授 業 の 方 法 等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら授業を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕 80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	「子どもと自然とネイチャーゲーム」 日置光久・村山哲哉・神長美津子・津金美智子編著 日本ネイチャーゲーム協会 ※購入方法については授業時に指示する。						
参 考 書	必要に応じて紹介します。						
関 連 科 目	アウトドア演習B						
質 問 受 付 の 方 法	授業の前後で行います。						
履 修 上 の 注 意	運動ができる服装、シューズを用意します。資格取得には所定の費用が必要です。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム[担当:井上]
	1	〈予習〉様々な動物の特徴について調べておく 90分 〈復習〉プリントを読みまとめる 90分
	2	動物の特徴に気付くネイチャーゲーム[担当:井上] 〈予習〉副読本P56～57を読みカモフラージュのねらいや手順を調べておく 90分 〈復習〉個々の動物の生態についてまとめる 90分
	3	生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム[担当:井上] 〈予習〉人間の持つ五感について他の生き物との違いを調べておく 90分 〈復習〉動物の生きる知恵についてまとめる 90分
	4	観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念[担当:井上] 〈予習〉副読本P20～21を読みネイチャーゲームの概要をつかむ 90分 〈復習〉ネイチャーゲームとは何かまとめておく 90分
	5	身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法[担当:井上] 〈予習〉副読本P69(事前の準備・注意事項)を読み安全対策について調べておく 90分 〈復習〉下見の重要性についてまとめておく 90分
	6	他の人の感性に気付くネイチャーゲーム、安全対策[担当:井上] 〈予習〉野外活動時に起こりうる事故や事件について過去の事例を調べておく 90分 〈復習〉実践時の安全対策についてまとめておく 90分
	7	生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲー指導員制度[担当:井上] 〈予習〉指導者の立場に立ち、実践時のシミュレーションをしてみる 90分 〈復習〉指導員の心構えをまとめておく 90分
	8	現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む[担当:井上] 〈予習〉現場で指導する際の留意点についてシミュレーションをしてみる 90分 〈復習〉アドバイスシートを読み指導法を振り返る 90分
	9	感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習[担当:井上] 〈予習〉ネイチャーゲームの理論をまとめる 90分 〈復習〉どんな場面で使えるか具体的な場面を考える 90分
	10	全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる)[担当:井上] 〈予習〉体験したことがどこで生かされるか考えておく 90分 〈復習〉ネイチャーゲームについてまとめる 90分
	11	自然講座 パート1 樹木[担当:新井] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の樹木について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	自然講座 パート2 草花[担当:新井] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の草花について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	自然講座 パート3 動物[担当:新井] 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の動物について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	レクリエーション パート1 歌遊びゲーム[担当:新井] 〈予習〉前時に配付したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
	15	レクリエーション パート2 頭のゲーム[担当:新井] 〈予習〉前時に配付したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕 60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 30分	

授 業 科 目 名	アウトドア演習B			教員名	山村 穂高 / 堀口 芳嗣		
配 当 年 次	2	開講時期	後期/後期集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針 DP5
授業内容を示すキーワード	キャンピングインストラクター キャンプ キャンプのアクティビティー						
授業の概要	キャンピングインストラクターの資格取得を目指します。キャンピングインストラクターとは、キャンプでの活動を指導できる能力を持った指導者で、キャンプの基礎的な知識、技術、考え方を習得していると認定される者に与えられます。組織化された複数の指導者により運営・指導がなされる「幼児向けの組織キャンプ」を中心に、キャンプの目的やねらい、キャンプの特性、生活技術、さまざまなアクティビティー、キャンプの安全、キャンプの指導など、理論と実技を学びます。授業には実習を含み、グループワークにより、主体的な学びを行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 キャンプでの活動(アクティビティ)を指導できる能力を養うため、基礎的な知識、技術、考え方を習得し、希望者はキャンピングインストラクターを申請し、取得する。 【到達目標】 キャンプにおいて、小集団の生活を指導する基礎的な理論(キャンプの特性、対象、指導、安全)を理解している。さらに基礎的な技術(キャンプにおける生活技術、アクティビティ)を身につけ、実践につなげることができる。						
授業の方法等	屋内での講義、演習、実技など、多様な授業形態に加え、宿泊によるキャンプも実施します。資格認定に関しては、後期期間内に実施します。 2020年10月10日(土)、11月28日(土)に、集中講義形式による集中講義及び実習を行います。 また、e-learningシステムにより、双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教科書	「キャンプ指導者入門」 日本キャンプ協会指導者要請委員会 公益社団法人日本キャンプ協会 ※購入方法については後日指示する。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
関連科目	アウトドア演習A						
質問受付の方法	専任の科目担当教員の研究室等にて受け付けます。						
履修上の注意	学内での演習と講義、実習の集中授業を行います。集中授業では運動できる身だしなみで参加して下さい。テキスト代、宿泊費及び資格取得にかかる申請登録費用等がかかるためよく確認して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	キャンプの指導(1)めざせ！キャンピングインストラクター(アイスブレイキング、キャンピングインストラクターの資質と役割) 〈予習〉教科書を読んでおく。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	2	キャンプの特性(1)キンプの意義と目的、キャンプの組織と種類 〈予習〉キャンプの意義と目的、組織と種類について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	3	様々なアクティビティ(1)キャンプファイア指導法 〈予習〉様々なアクティビティ、キャンプファイアについて用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	4	キャンプの生活技術(1)キャンプの基本装備 〈予習〉キャンプの生活技術、基本装備について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	5	宿泊等による集中講義、実習、グループワーク ・キャンプの生活技術(2・3・4) テント設営・撤収法、アウトドアクッキング・工具及び道具使用法 ・様々なアクティビティ(2・3・4) キャンプファイア指導法、人とかかわるアクティビティ、キャンプクラフト ・キャンプの安全(1)ファーストエイドの実際 ・キャンプの安全(1)安全管理 ・キャンプの対象(1)人間の理解 ・キャンプの指導(2)指導者のためのコミュニケーションスキル
	6	
	7	
	8	キャンプの指導(3)キャンパーの観察と記録 〈予習〉キャンプの指導、キャンパーの観察と記録について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	9	キャンプの対象(2)人間と自然の関係 〈予習〉キャンプの対象、人間と自然の関係について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	10	様々なアクティビティ(5)自然観察 〈予習〉様々なアクティビティについて用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	11	様々なアクティビティ(6)野外ゲーム 〈予習〉様々なアクティビティ、野外ゲームについて用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	12	キャンプの生活技術(5)ロープワーク 〈予習〉キャンプの生活技術、ロープワークについて用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	13	キャンプの安全(2)事故事例に学ぶ 〈予習〉キャンプの安全、事故事例について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	14	キャンプの対象(3)体験は未来を拓く力(自然の理解) 〈予習〉キャンプの対象、自然の理解について用意したプリント課題をやってくる。90分 〈復習〉用意したプリント課題をやってくる。90分
	15	授業の振り返り。 〈予習〉それまで配付したプリントの内容を覚える。90分 〈復習〉使用したプリントでわからなかった部分を覚えてくる。90分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授 業 科 目 名	ソーイング演習			教員名	成田 吾津子		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針 DP2
授業内容を示すキーワード	建学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー						
授 業 の 概 要	・学園の建学の精神や歴史を理解し、学園のルーツである和裁を体験し自分の浴衣を製作します。 ・翌年の学園祭に、自作の浴衣を着て参加できるようにします。 ・学園祭の前に数回補習を行い、着付け・帯結び・着物着用時のマナー等を学習します。 ・幼稚園児の浴衣の着付け・へこ帯の結び方・肩揚げ・腰揚げの方法を学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・学園のルーツに触れ、建学の精神を理解する。 ・実際に和裁に触れ、和の知識を体験する。 ・自分の浴衣を完成させ、学園祭で着用することにより達成感と自信を身につける。 【到達目標】 ・学園の建学の精神、創立のルーツについて説明できる。 ・和裁の知恵が詰まった浴衣と製作方法を理解し、自分で浴衣を作ることができる。 ・子どもに浴衣を正しく着せることができる。						
授業の方法等	講義と演習方式で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■提出物(浴衣完成) 50% ■その他〔 単元ごとのできばえ 〕 30%						
教科書	和裁教本 ゆかた （著作者 山村学園創設者 山村 婦みよ先生） ※購入の方法については授業時に指示します。						
参 考 書	適宜、プリントを配付します。						
関 連 科 目	子ども文化演習A						
質問受付の方法	授業中は勿論、授業前・後に理解ができるまで質問を受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	後期授業開始前に、浴衣地の販売とガイダンス(授業計画・教材の説明・用具の使い方)を行います。 次年度の学園祭で着られるように制作を行い、学園祭の前に着付け・帯結び・ヘアスタイル・マナー指導等の補習を3回程度行います。必要な費用等がかかるためよく確認して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		柄合わせ・裁断
	1	〈予習〉各部の名称を覚えること。20分 〈復習〉袖標付け、袖下袋縫いができるように柄合わせ・裁断を終わらせる。160分
	2	袖標付け・ミシンの使い方・アイロンの使い方・袖下袋縫い 〈予習〉ミシンの使い方を理解し、練習する。20分 〈復習〉袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけに進めるようにする。160分
	3	袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけ 〈予習〉三つ折りぐけの方法を調べる。20分 〈復習〉見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方に進めるようにする。160分
	4	見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方 〈予習〉きせのかけ方について調べる。20分 〈復習〉肩当て・居敷当てに進めるようにする。160分
	5	肩当て・居敷当ての縫い方(新モス使用) 〈予習〉寸法通りにミシンがかけられるよう練習する。90分 〈復習〉肩当て付け・居敷当てに進めるようにする。90分
	6	肩当て付け・居敷当て付け 〈予習〉耳ぐけ・折りぐけについて調べる。20分 〈復習〉衽標付け・衽襟下三つ折りぐけに進めるようにする。160分
	7	衽標付け・衽襟下三つ折りぐけ 〈予習〉衽標付け・衽襟下三つ折りぐけを進める。90分 〈復習〉三つ折りぐけを完成させる。90分
	8	衽付け・衽付け始末 〈予習〉きせのかけ方について調べる。20分 〈復習〉衽付け・衽付け始末を終わらせる。160分
	9	襟標付け・共衿標付け・共衿付け 〈予習〉本ぐけの方法を理解する。20分 〈復習〉襟標付け・共衿標付け・共衿付けを進める。160分
	10	衿付け(三つ衿芯の入れ方・待ち針の打ち方) 〈予習〉棒衿・ばち衿・広衿の形を理解する。20分 〈復習〉衿付けを進める。160分
	11	衿(きせのかけ方)・衿先の始末・衿ぐけ 〈予習〉ほんぐけの針の入れ方・出し方を調べる。20分 〈復習〉脇縫いに進めるようにする。160分
	12	脇縫い・脇縫い代の始末 〈予習〉きせをかけた後の、かくしじつけの方法を理解する。20分 〈復習〉脇縫い代の始末を進める。160分
	13	脇縫い始末 〈予習〉脇縫い代の始末を進める。90分 〈復習〉正しい耳ぐけの方法を、再度見直す。90分
	14	裾ぐけ(額縁の作り方) 〈予習〉額縁の作り方について調べる。20分 〈復習〉裾の長さを確認する。160分
	15	袖付け・袖付け始末・完成確認・仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方 〈予習〉かんぬき止め(6ヶ所)の方法を覚える。90分 〈復習〉仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方を練習する。90分
定 期 試 験	◆定期試験は行わない。	

授 業 科 目 名	ナチュラルアート			教員名	酒 井 誠		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針 DP5
授業内容を示すキーワード	自然を知る 色彩の活用 形状のデザイン 素材の特性 技法の理解						
授業の概要	自然界には様々な色や形、質感があります。この講義では自然物を利用した作品制作を通すことで、様々な素材・技法の理解と応用力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 身近にあるものを使用し、様々な技法を用いて作品を制作することで個々の創作に対する方法の引き出しを広げ、指導を行う際にも適切かつ、イメージを沸かせる事のできる指導者を育成させます。 【到達目標】 その場その場で目的にあった適切な表現ができるようになること。素材や道具の適切な扱い方を知り、確実に安全な造形ができる、また指導ができるようになること。						
授業の方法等	12回の授業を、講義と演習形式で行います。 考え方や手順の説明の後、実際に制作していきます。 制作の体験を通して感じた問題点、感想及び発展のアイデア等をレポートにまとめます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕15% ■授業への取り組み・態度 35% ■提出物 50%						
教科書	適宜、資料を配付します。						
参考書	適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	図画工作 造形表現の探究 保育内容表現						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨んで下さい。 2.積極的な姿勢で授業に関わりましょう。 3.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	ガイダンス/課題説明/フィールドワーク-作品制作素材の採取(押し花) 〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	2	張り子のペン立て①/デザイン決め～張り込み作業 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	3	張り子のペン立て②/張り込み作業 〈予習〉予め装飾デザインを考える～必要な素材を考察 45分 〈復習〉必要素材(押し花)を調達 45分
	4	張り子のペン立て③/張り込み作業～押し花装飾、ニス塗装まで 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉作品を完成させてレポートを添付する 70分
	5	リメイク鉢制作①/デザイン決め～必要素材の検討 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	6	リメイク鉢制作②/フィールドワーク-作品制作素材の採取(木の枝、葉っぱなど) 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	7	リメイク鉢制作③/作品組み立て～装飾 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	8	リメイク鉢制作④/作品組み立て～装飾。実際に植物を植えてみる。 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉作品を完成させてレポートを添付する 70分
	9	太陽と植物、和紙を利用したサイアノタイププリント実習①/説明～デザイン決め 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	10	太陽と植物、和紙を利用したサイアノタイププリント実習②/フィールドワーク-素材集め～感光作業 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	11	太陽と植物、和紙を利用したサイアノタイププリント実習③/フィールドワーク-感光作業 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	12	太陽と植物、和紙を利用したサイアノタイププリント実習④/フィールドワーク-感光作業/試験対策 〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉作品を完成させてレポートを添付する 70分
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕 30分	

授 業 科 目 名	ダンスムーブメント			教員名	鴨志田 加奈		
配 当 年 次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						卒業認定・学位授与方針	
						DP3	
授業内容を示すキーワード	身体性・表現・ダンス・創作・発表						
授 業 の 概 要	身体表現について発展的に学びます。踊ることの意義や文化的背景について知識を深めながら、実技としてバレエ・ジャズダンス・テーマパークダンス・シアターダンス等に取り組み、身体性と表現力を身につけます。グループでダンスの創作・発表を行い振付についての経験を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ダンス文化に関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。 【到達目標】 ①身体表現や音楽等についての文化的教養を身につける。 ②自身の表現経験を積み重ね、子どもたちとの表現活動に対する身体知・応用力を身につける。 ③身体性と表現力を向上させる。						
授業の方法等	14回の授業を行います。 実技、講義、ビデオ視聴、グループワークを併用して展開します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 50% ■その他〔授業内発表〕30%						
教科書	使用しない						
参 考 書	授業にて適宜紹介します						
関 連 科 目	幼児体育・保育内容表現・言葉と表現の指導法						
質問受付の方法	適宜、研究室等にて受け付けます						
履 修 上 の 注 意	日常から身体表現や音楽表現に興味を持って、音楽・映像鑑賞、パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会を作ってください。日常から体を動かす習慣を身につけてください。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	オリエンテーション ダンスと文化（講義）						
	1	〈予習〉ダンスについて調べる 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分					
	2	バレエ基礎1 パーレッスン 〈予習〉バレエ動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	3	バレエ基礎2 ターン・ジャンプ 〈予習〉バレエ動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	4	ジャズダンス基礎1 アイソレーション 〈予習〉ジャズダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	5	ジャズダンス基礎2 クロスフロア・ステップ 〈予習〉ジャズダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	6	テーマパークダンス基礎1 コンビネーション1 〈予習〉テーマパークダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	7	テーマパークダンス基礎1 コンビネーション2 〈予習〉テーマパークダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	8	シアターダンス基礎1 コンビネーション1 〈予習〉シアターダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	9	シアターダンス基礎2 コンビネーション2 〈予習〉シアターダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	10	シアターダンス基礎3 発表 〈予習〉発表に向けた練習 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分					
	11	ダンス創作1 グループ・楽曲決め 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 45分					
	12	ダンス創作2 振付 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 45分					
	13	ダンス創作3 振付完成 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 45分					
	14	ダンス作品の発表 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・創作) 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分					
定 期 試 験		◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック〔成績通知日等に返却〕					

実 習 科 目

授 業 科 目 名	実習指導Ⅰ *			教員名	橋本 淳一 / 相沢 和恵 / 宇田川 和久 巢立 佳宏 / 室井 佑美		
配 当 年 次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習指導Ⅱ〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕						卒業認定・ 学位授与方針 DP6
授業内容を示す キーワード	教育実習Ⅰ 幼稚園						
授業の概要	主として「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の事前・事後指導として、実習準備から実習終了に至る細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、実習に必要な態度、基礎的な知識や技術、たとえば観察のポイントや子どもとのかかわり方から、幼稚園におけるより実践的な指導法や指導計画の立て方や指導案の書き方までを学びます。						
授業のねらいと 到達目標	【ねらい】 主として教育実習Ⅰ・Ⅱを円滑に行うため、「記録」することを中心にして必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 特に事前指導では、実習生として幼稚園の教育活動に参画するする意識を高め、取得すべき知識や技能等について知り、実習の意義を理解する。 【到達目標】 保育者であることを自覚し、基本的な実習態度を習得している。保育場面の適切な観察を行うことができる。観察をもとに振り返り・評価までの必要十分な実習日誌を作成できる。幼児の発達等をふまえて保育実践にも参与できる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の 基準と方法	■定期試験〔レポート〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関連科目	教育実習Ⅰ・Ⅱ 実習指導Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の 方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは原則他の曜日と時間を設定して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習		オリエンテーション～実習科目の概略と実習スケジュールの説明
	1	〈予習〉学生便覧・実習関係を下読み 45分 〈復習〉テキスト第1章1-4を読み返し理解を定着 45分
	2	幼稚園と幼稚園教育実習について、実習の意義と実習生の心構え 〈予習〉テキスト第2章3を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	3	子どもの姿と子どもとのかかわり方①（保育場面のビデオ教材から） 〈予習〉テキスト第2章1.2.3を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	4	子どもの姿と子どもとのかかわり方②（保育場面のビデオ教材から） 〈予習〉テキスト第2章1.2.3を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	5	保育体験の準備（態度、マナー、体験の仕方・観点） 〈予習〉テキスト第1章7、第2章3を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	6	保育体験Ⅰの振り返り①／幼稚園と保育所に焦点をあてて 〈予習〉テキスト第3章1、第4章1を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	7	保育体験Ⅰの振り返り②／幼稚園教諭と保育士に焦点をあてて 〈予習〉テキスト第3章1、第4章1を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	8	幼稚園・保育園見学の準備（態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	9	幼稚園・保育園見学の振り返り①（学生の記録と園の日案をもとに） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 45分 〈復習〉見学記録を作成し、書き方を習得する 45分
	10	幼稚園・保育園見学の振り返り②（学生の記録と園の日案をもとに） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 45分 〈復習〉見学記録を作成し、書き方を習得する 45分
	11	保育実践ボランティアのねらいと進め方 〈予習〉テキスト第4章5を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分
	12	実習日誌の書き方① 実習の進め方と実習目標・課題、実習計画の立て方 〈予習〉テキスト第2章4を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	13	実習日誌の書き方② 一日の流れと環境構成 〈予習〉テキスト第2章5を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
	14	実習日誌の書き方③ 子どもの活動と保育者の援助、一日の振り返り 〈予習〉テキスト第2章5を下読み 45分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 45分
15	教育実習Ⅰ・保育実践ボランティアへ向けての準備の確認、オリエンテーションの受け方 〈予習〉テキスト第1章6.7を下読み 45分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 45分	
定 期 試 験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 コメントを入れ成績発表時に返却します 〕	

授 業 科 目 名	実習指導Ⅱ *			教員名	橋本 淳一 / 相沢 和恵 / 宇田川 和久 巢立 佳宏 / 室井 佑美		
配 当 年 次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 保育実習指導Ⅰ 〕						卒業認定・学位授与方針 DP4
授業内容を示すキーワード	保育所 乳幼児 保育実習Ⅰ 児童福祉施設 施設実習Ⅰ						
授業の概要	主として「保育実習Ⅰ」及び「施設実習Ⅰ」の事前・事後指導として実習手続きの細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、保育所や児童福祉施設の機能やそこでの保育や養護、援助の実際、保育者の職務や必要とされる子どもや利用者とのかかわり方、実習における観察・記録・評価、実習計画、さらに子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務などを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 主として保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰを円滑に行うため、実習の意義・目的を理解した上で、「計画を立てて保育実践する」ことを中心に、必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 【到達目標】 保育者としての役割行動(言葉遣いや立居振舞)を取得し、自分で保育計画・指導案を作成して部分・責任実習等で適切な保育実践ができる。実習を総括し、自己評価し、課題の明確化ができる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕 30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔 課題・発表 〕 50%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016						
参考書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅲ 教育実習Ⅰ 保育実習Ⅰ 施設実習Ⅰ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは原則他の曜日と時間に設定して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	保育実践ボランティアの振り返り、教育実習Ⅰの事前準備から実習終了までの手続きの確認 日誌の書き方・事前記入編(①オリエンテーションの記録、②園の記録、③目標・課題、④実習計画) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉日誌の書き方・事前記入の理解と定着 90分
	2	日誌の書き方①(園の一日の流れと実習生の役割に着目した記述) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉園の一日の流れと実習生の役割に着目した記述の理解と定着 90分
	3	日誌の書き方②(保育者の援助やこどもの発達に着目した考察) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉保育者の援助や子どもの発達に着目した考察の理解と定着 90分
	4	部分実習の考え方・進め方とその準備① (絵本・紙芝居他) 〈予習〉関連配布物とテキスト付録4を読む 90分 〈復習〉絵本・紙芝居の読み聞かせ練習 90分
	5	教育実習Ⅰ直前指導 (求められる態度、知識、技能の確認) 〈予習〉関連配布物とテキスト第1章7を読む 90分 〈復習〉求められる態度、知識、技能の確認 90分
	6	教育実習Ⅰの振り返り、保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの事前準備とオリエンテーションまでの手続き確認、施設見学の準備(態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方) 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章2を読む 90分 〈復習〉施設見学の準備の理解と定着 90分
	7	施設実習の特色と施設実習のねらい、施設実習のスケジュール 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章1を読む 90分 〈復習〉施設実習の目的と内容の理解と定着 90分
	8	施設の種類と実習施設の概要の理解 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章2を読む 90分 〈復習〉施設実習の施設・概要の理解と定着 90分
	9	施設実習における実習生の目標・課題 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章4を読む 90分 〈復習〉施設実習の目標・課題理解と定着 90分
	10	施設実習の日誌の書き方、考え方 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章6を読む 90分 〈復習〉施設実習の日誌の書き方の理解と定着 90分
	11	施設と施設実習の実際(ケーススタディ) 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章7を読む 90分 〈復習〉施設実習のケーススタディの理解と定着 90分
	12	保育所保育の特色と保育実習Ⅰのねらい、実習目標・課題の立て方 〈予習〉関連配布物とテキスト第4章1.2.3.4を読む 90分 〈復習〉保育実習の特色の理解と定着 90分
	13	部分実習の考え方・進め方② (含、ロールプレイ) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章6を読む 90分 〈復習〉部分実習の考え方の理解と定着 90分
	14	部分実習の考え方・進め方③ (含、ロールプレイ) 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章6を読む 90分 〈復習〉部分実習の進め方の理解と定着 90分
	15	保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰ 実習の進め方、実習日誌の書き方のまとめ 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章2.5.6を読む 90分 〈復習〉保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの理解と定着 90分
定 期 試 験		◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 コメントを入れ成績発表時に返却します 〕

授 業 科 目 名	実習指導Ⅲ *			教員名	橋本 淳一 / 相沢 和恵 / 宇田川 和久 巢立 佳宏 / 室井 佑美		
配 当 年 次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔 保育実習指導Ⅲ 〕					卒業認定・学位授与方針	
						DP3	
授業内容を示すキーワード	教育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 責任実習 主活動 指導案						
授 業 の 概 要	主として「保育実習Ⅱ」又は「施設実習Ⅱ」(選択)の事前・事後指導として実習手続きの細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、保育の実践に必要な実践的な知識や技術、子どもや利用者への指導・援助法や指導案の書き方、クラスでの主活動や利用者の活動の展開方法などを学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱ、教育実習Ⅱを円滑に行うため、計画に基づいて「保育を実践」することを中心に必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 【到達目標】 保育者としての使命感や責任感を醸成し、問題解決思考に基づいて保育場面を計画・設定したり、対象に応じた保育を実践したりできる。						
授業の方法等	教育実習3週間分を除く、12回の授業を行います。 全体講義、グループ別の演習・ディスカッション・実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕 30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016						
参 考 書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省、フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
関 連 科 目	保育実習Ⅱ 施設実習Ⅱ 教育実習Ⅱ 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは原則他の曜日と時間を設定して下さい。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	教育実習Ⅱの準備(オリエンテーションから実習終了までの手続き確認) 部分責任実習を伴う実習の特色とその目標・課題の立て方 保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの振り返り 〈予習〉これまでの実習を振り返り、テキスト第2章6を読む 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる 45分
	2	指導案作成のポイント(①季節と子どもの発達に合った主活動の選び方、②留意点記述の観点) 〈予習〉テキスト第2章6を熟読する 45分 〈復習〉指導案作成のポイントの理解と定着 45分
	3	部分責任実習の指導案作成～製作とゲーム・体操遊びの2編～(実習クラス別演習／個別面談)① 〈予習〉テキスト第2章6を熟読する 45分 〈復習〉指導案作成のポイントの理解と定着 45分
	4	部分責任実習の指導案作成～製作とゲーム・体操遊びの2編～(実習クラス別演習／個別面談)② 〈予習〉製作の主活動を考える 45分 〈復習〉製作を主活動とした指導案の理解と作成 45分
	5	教育実習Ⅱ直前指導(実習目標・課題と主活動の確認) 〈予習〉ゲーム・運動遊びの主活動を考える 45分 〈復習〉ゲーム・運動遊びを主活動とした指導案の理解と作成 45分
	6	教育実習Ⅱの振り返り 保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱの準備(オリエンテーションから実習終了まで) 〈予習〉関連配布物を読み、今後の実習スケジュールを確認 45分 〈復習〉実習振り返りシートの完成 45分
	7	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱの特色と実習のねらい、実習目標の立て方 〈予習〉関連配布物を読み、実習の特色とねらいを理解する 45分 〈復習〉実習目標を立てる 45分
	8	保育所保育の特色の研究① / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究① 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	9	保育所保育の特色の研究② / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究② 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	10	保育所保育の特色の研究③ / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究③ 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	11	保育所保育の特色の研究④ / 通所型児童福祉施設・他での施設実習の研究④ 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
	12	保育実習Ⅱと施設実習Ⅱでの留意事項と実習準備指導 〈予習〉関連配布物とテキスト該当箇所を熟読する 45分 〈復習〉ワークシートを完成させる 45分
定 期 試 験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 コメントを入れ成績発表時に返却します 〕	

授 業 科 目 名	保育実習Ⅰ *			教員名	室井 佑美 / 巢立 佳宏		
配 当 年 次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔 保育実習Ⅰ 〕					卒業認定・学位授与方針	DP6
授業内容を示すキーワード	保育所 見学・観察実習 参加実習 部分実習 保育実践ボランティア						
授 業 の 概 要	保育所において実習指導者の指導の下、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に、保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所の機能と役割を具体的に理解するとともに、子どもの観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解および保育士の職務に対する理解を深める。 【到達目標】 保育所の機能や役割について観察を通して把握し、説明ができる。子どもへの観察やかかわりを通して、発達段階を理解し、個性を実感して洞察を深め、直接的に援助へと行動ができる。保育士の指導・援助を得て、自ら保育を部分的に実践し、振り返りから課題を見つけ出せる。						
授業の方法等	原則、公立保育所（一部、私立保育所）において、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に10日間以上、80時間上の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔 総合評価：実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15% 〕100%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参 考 書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016 「幼稚園教育指導資料（第1集、第3集、第5集）」文部科学省						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ・Ⅱなど						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	細菌検査陰性、実習指導Ⅰの出席状況、麻疹の予防接種証等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 また、1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加は必須です。 実習園は、原則として居住地をもとに大学が依頼し、当該の市区町村が決定します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 保育所の役割と機能 （1）保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり （2）保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 （1）子どもの観察とその記録による理解 （2）子どもの発達過程の理解 （3）子どもへの援助や関わり 3. 保育内容・保育環境 （1）保育の計画に基づく保育内容 （2）子どもの発達過程に応じた保育内容 （3）子どもの生活や遊びと保育環境 （4）子どもの健康と安全 4. 保育の計画・観察・記録 （1）全体的な計画と指導計画及び評価の理解 （2）記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 （1）保育士の業務内容 （2）職員間の役割分担や連携・協働 （3）保育士の役割と職業倫理 （3）保育士の役割と職業倫理 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
---------------------------	---

授 業 科 目 名	施設実習Ⅰ *			教員名	宇田川 和久 / 巢立 佳宏		
配 当 年 次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅰ〕					卒業認定・学位授与方針	DP6
授業内容を示すキーワード	児童福祉施設 障害児・者 児童養護 日常生活支援 施設保育士 デイリープログラム						
授 業 の 概 要	乳児院や児童養護施設などの居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等の生活に参加し、実習指導者の指導の下、利用者の理解を図るとともに、施設の役割や機能及び保育士としての職務、養護や支援の実践を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 児童福祉施設等で子どもや利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実践、施設の役割と機能について理解する。 【到達目標】 児童福祉施設等の役割と機能、施設等の生活と一日の流れ、養護の意義と内容、技術などについて理解し、説明できる。子どもや利用者の心情等を受容し、共感することができる。職員の指導・援助を得て子どもや利用者に対する援助・支援の一部を担当できる。						
授業の方法等	居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等において、10日間以上、80時間以上の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価：実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参 考 書	必要な資料は適宜配付します。						
関 連 科 目	実習指導Ⅱ 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	細菌検査陰性、実習指導Ⅱの出席状況、麻疹の予防接種証等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 実習施設の決定は大学が行います。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 施設の役割と機能 （1）施設における子どもや利用者の生活と保育士の援助や関わり （2）施設の役割と機能 2. 子どもや利用者の理解 （1）子どもや利用者の観察とその記録 （2）個々の状態に応じた援助や関わり 3. 施設における子どもや利用者の生活と環境 （1）計画に基づく活動や援助 （2）子どもや利用者の心身の状態に応じた生活と対応 （3）子どもや利用者の活動と環境 4. 計画と記録 （1）支援計画の理解と活用 （2）記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と倫理 （1）保育士の業務内容 （2）職員間の役割分担や連携 （3）保育士の役割と職業倫理 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
---------------------------	--

授 業 科 目 名	保育実習Ⅱ *			教員名	橋本 淳一		
配 当 年 次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習Ⅱ〕					卒業認定・学位授与方針	DP3
授業内容を示すキーワード	保育所 部分・責任実習 指導案作成・実践						
授 業 の 概 要	保育実習Ⅰをふまえて、保育所等において実習指導者の指導の下、保育所の保育を実践に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術の定着をめざします。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる技術・能力を養います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育全般に参加し、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術について、その確実な習得を図る。 【到達目標】 子どもの個性やニーズ、保育内容を踏まえて子どもと関わることができる。保育の計画・観察・記録及び自己評価等を適切に行うことができる。保育計画に基づいて指導計画を立案し、保育者にかかわって保育を実践できる。保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。						
授業の方法等	原則、私立保育所等において、見学・観察・参加実習に加えて、指導案作成を伴う部分・責任(全日)実習を行います。10日間以上、80時間以上の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15% 〕100%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参 考 書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016 「幼稚園教育指導資料(第1集、第3集、第5集)」文部科学省						
関 連 科 目	保育実習Ⅰ 実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	「保育実習Ⅰ」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導Ⅱの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また「施設実習Ⅱ」との重複履修はできません。なお、実習園は自己決定方式で行います。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 保育所の役割や機能の具体的展開 (1)養護と教育が一体となって行われる保育 (2)保育所の社会的役割と責任 2. 観察に基づく保育の理解 (1)子どもの心身の状態や活動の観察 (2)保育士等の援助や関わり (3)保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 (1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 (2)入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 (3)関係機関や地域社会との連携・協働 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1)全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2)作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 5. 保育士の業務と職業倫理 (1)多様な保育の展開と保育士の業務 (2)多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
-----------------------------------	--

授 業 科 目 名	施設実習Ⅱ *			教員名	宇田川 和久 / 巢立 佳宏		
配 当 年 次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習Ⅲ〕						卒業認定・学位授与方針 DP3
授業内容を示すキーワード	個別支援計画 児童家庭福祉 社会的養護 家族支援 生活リズム 生活指導						
授業の概要	保育所以外の児童福祉施設(児童館を含む)等で実習指導者の指導の下その生活に参加し、役割や機能を実践を通して理解するとともに、子ども・利用者の養護や支援の実際について理解を深めます。また、子どもや利用者の置かれている環境や障がいの状況等にも目を向け、地域や社会との関連性についても理解を深めます。さらに、保育士として業務内容や職業倫理についても実践に結びつけて学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 児童福祉施設等で利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実際、施設の役割と機能について理解する。さらに、家庭と地域の生活実態にふれて、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力の習得をめざす。 【到達目標】 子どもや利用者の心情等を受容、共感して、援助や支援をすることができる。保育士としての養護内容の実際を理解し個別支援計画を作成できる。子どもや利用者の家族への対応や支援を理解する。施設における保育士の役割・倫理を理解して適用することができる。						
授業の方法等	保育所以外の児童福祉施設(児童館等を含む)、障害児通所施設、障害者支援施設、指定福祉サービス事業所等において、10日間以上、80時間以上の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配付します。						
関連科目	実習指導Ⅱ・Ⅲ 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	「施設実習Ⅰ」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また、「保育実習Ⅱ」との重複履修はできません。 児童館を含む実習施設は自己決定方式で行います。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能 2. 施設における支援の実際 (1)受容し、共感する態度 (2)個人差や生活環境に伴う子どもや利用者のニーズの把握と子ども・利用者の理解 (3)個別支援計画の作成と実践 (4)子どもや利用者の家族への支援と対応 (5)各施設における多様な専門職との連携・協働 (6)地域社会との連携・協働 3. 保育士の多様な業務と職業倫理 4. 保育士としての自己課題の明確化 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
-----------------------------------	---

授 業 科 目 名	教育実習Ⅰ *			教員名	相沢 和恵 / 巢立 佳宏		
配 当 年 次	1	開講時期	集中	単位数	1	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕						卒業認定・学位授与方針
							DP6
授業内容を示すキーワード	幼稚園 幼稚園教諭 観察実習 部分実習 子どもの発達理解						
授 業 の 概 要	幼稚園において実習指導者の指導の下、幼児と生活をともにしながら幼児の発達理解に努め、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動の基本的事項を学ぶとともに、幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術の基礎を培います。特に、実際の現場において見学・観察を行うことで、幼児の実態や幼稚園教諭が行うさまざまな活動（援助、学級経営、その他職務など）を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園での生活を通して、幼児や教育活動の保育環境等に対し適切な観察を行うとともに、幼稚園教諭の補助的な役割を担うことを通して、幼児及び幼稚園の実態を理解し、学級経営や教育活動の特色を理解する。 【到達目標】 幼児との関わりを通じて、その実態や課題を把握することができる。教諭の保育を視点を持って観察し記録できる。実習園の保育方針や組織体制を理解している。クラスの担任の補助的な役割を担うことができる。						
授 業 の 方 法 等	公立または私立の幼稚園において、見学・観察実習を中心に1週間の実習を行います。						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参 考 書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016 「幼稚園教育指導資料(第1集、第3集、第5集)」文部科学省						
関 連 科 目	実習指導Ⅰ・Ⅱ 教育実習Ⅱ						
質 問 受 付 の 方 法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	実習指導Ⅰ・Ⅱの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加は必須です。 実習園の決定は、希望調査を実施して大学で行います。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 幼稚園の一日、生活の流れを把握する。 2. 幼児の発達や興味・関心、個性などの幼児に関する理解に努める。 3. 物的環境や人的環境、社会的環境など保育環境について学ぶ。 4. 保育内容や幼児の活動の様子について学ぶ。 5. 幼稚園教諭の行うさまざまな活動について知る。 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
---------------------------	--

授 業 科 目 名	教育実習Ⅱ *			教員名	相 沢 和 恵 / 巢 立 佳 宏		
配 当 年 次	2	開講時期	集中	単位数	3	授業形態	実習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕						卒業認定・学位授与方針 DP3
授業内容を示すキーワード	幼稚園 幼稚園教諭 部分・責任実習 指導案立案・実践 学級経営						
授業の概要	幼稚園において実習指導者の指導の下、幼児とかかわりながら幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術を培います。特に、実際の現場において幼児の活動へ参加することに加え、幼稚園教諭が行うさまざまな活動（保育指導、学級経営、その他の職務など）を助手的立場あるいは担任に代わって行い、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動を実践的に学ぶとともに、その本質や役割への理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園での幼児の実態を踏まえて、保育内容・5領域や教職に関する専門的知識・理論・技術等（話法・保育形態・保育展開・環境構成他）、保育を実践するために必要な基礎を確実に身につける。 【到達目標】 ・幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し保育を実践することができる。 ・クラス担任の役割と職務内容を实地に即して理解している。 ・さまざまな場面で適切に幼児と関わるることができる。						
授業の方法等	原則、教育実習Ⅰと同じ幼稚園において、部分・責任実習を中心に3週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価：実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15%〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018						
参考書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016 「幼稚園教育指導資料（第1集、第3集、第5集）」文部科学省						
関連科目	教育実習Ⅰ 実習指導Ⅰ・Ⅱ 実習指導Ⅲ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	教育実習Ⅰの単位取得、実習指導Ⅰ・Ⅲの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	【実習の内容】 1. 保育全般に参加し、幼稚園教諭の保育技術・指導方法を習得する 2. 指導案を立案し、保育の一部または全部を担当し、実際に実践する。 3. 幼児の個性、発達、興味・関心など個々の幼児の理解を深め、対応方法を習得する。 4. 幼稚園教諭、幼稚園に求められる地域社会のニーズを体験・理解する。 5. 幼稚園教諭としての職業倫理を実践的に理解する。 6. 幼稚園教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ、自己の課題を明確化する。 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。
-----------------------------------	--

山村学園短期大学子ども学科カリキュラムツリー

ディプロマポリシー(学位授与の方針)
子ども学科では、建学の精神(質実・英知・愛敬)、学則にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学則第43条(卒業)に示す所定の教育課程を修め、66単位以上を累積GPA一定以上の成績で修得し、以下のような知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。
(知識・技能)
1 保育者としての専門的知識・技能
2 社会人として必要な教養・知識
(思考力・判断力・表現力)
3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもって的確に表現する力
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
4 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする主体的・積極的な態度
5 人や自然を深く愛し、慈しむ態度
6 社会人として必要なマナー・常識・態度

保育士必修科目	幼稚園教諭二種必修科目	卒業・学科必修科目	選択科目
---------	-------------	-----------	------

1 年		2 年	
前期	後期	前期	後期
5301アウトドア演習 A		5301アウトドア演習 A	5201アウトドア演習 B
1118子ども文化演習 A	2102ソーイング演習		
1117ピアノ A	1121音楽表現の探求	1211ピアノ B	4202子ども文化演習 B
1112音楽			
1113図画工作	1120造形表現の探求	5202ナチュラルアート	
1114幼児体育	3301ダンスムーブメント		3301ダンスムーブメント
1107保育内容健康			
1108保育内容人間関係	3101健康と人間関係の指導法		1209教育行政学
1109保育内容環境		3206環境の指導法	1201教育原理
1110保育内容言葉	3102言葉と表現の指導法		3207保育内容総論
1111保育内容表現	1104保育・教職論		
1101保育原理	1119教育方法・技術論	1208保育・教育課程論	3201保育・教職実践演習(幼稚園)
6102実習指導 I	4101実習指導 II	3205実習指導 III	
	6105教育実習 I	6103保育実習 I	3204教育実習 II
		6104施設実習 I	3203施設実習 II
5103基礎演習			
保育体験 I	保育体験 II	保育体験 III	4201総合演習
6101キャリアアップセミナー I			6201キャリアアップセミナー II
初年次教育	進路ガイダンス		
	3105子育て支援	1206子どもの理解と援助	1205子ども家庭支援の心理学
1105保育の心理学	1102子ども家庭福祉	1210教育相談	1203子ども家庭支援論
1115乳児保育 I	3103乳児保育 II	1202社会福祉	1212乳児小児救命法
1106子どもの保健	1116子どもの健康と安全	1207子どもの食と栄養	2202体育講義
	1103社会的養護 I	3208社会的養護 II	2203体育実技
	3104障がい児保育	1204特別支援教育	2204保育英会話
2101コンピュータ基礎演習	4b生命倫理	2201日本国憲法	2301生命倫理
1001保育入門			保育体験 IV

○科目の前の数字は、千の位：ディプロマポリシーのNo、百の位：履修学年、十と一の位：同一ディプロマポリシー内の科目の順番を示す。
○保育体験Ⅰは幼稚園・保育所の協力を得て行うふれあい体験活動。Ⅱは幼稚園・保育所見学、Ⅲは施設見学を示す。保育体験Ⅳは1・2年生全員が参加するボランティア活動を示す。

令和2年度 実務教員の略歴

R2.4.1

教員名	担当科目	単位数	略歴
相沢 和恵	キャリアアップセミナーⅡ	2	昭和52年より東京都区立の幼稚園で幼稚園教諭として勤務。 平成19年から保育所にて派遣保育士、非常勤保育士として勤務の後、平成26年短期大学・専門学校の非常勤・専任を経て現在に至る。
	保育内容総論	2	
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	
	総合演習	2	
	実習指導Ⅰ	1	
	実習指導Ⅱ	2	
新井 英人	実習指導Ⅲ	1	昭和54年よりさいたま市立(大宮市立)小学校やローマ日本人学校の教員として勤務。 平成12年からさいたま市立(大宮市)教育委員会で勤務の後、平成18年さいたま市立の小学校で教頭・校長を経て現在に至る。
	キャリアアップセミナーⅠ	2	
宇田川 和久	基礎演習	2	昭和58年より埼玉県立養護学校の教員として勤務。 平成18年から養護学校の開設準備委員、開設準備副委員長、埼玉県立総合教育センター、埼玉県教育局で勤務の後、平成29年埼玉県立特別支援学校校長を経て現在に至る。
	キャリアアップセミナーⅠ	2	
	教育原理	2	
	基礎演習	2	
	実習指導Ⅰ	1	
巢立 佳宏	実習指導Ⅱ	2	平成23年より子育て支援センタの保育士として勤務。また、児童養護施設にて心理士、小学校(群馬県)の学校カウンセラー、鴻巣市教育支援センターで埼玉県スクールソーシャルワーカーとして勤務の後、現在に至る。
	実習指導Ⅲ	1	
	キャリアアップセミナーⅠ	2	
	保育の心理学	2	
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	
橋本 淳一	基礎演習	2	平成3年より東京都社会福祉協議会東京ボランティアセンター専門員として勤務。 昭和63年より看護専門学校の非常勤講師、保育専門学校の講師、短期大学・大学での非常勤講師を経て現在に至る。
	実習指導Ⅰ	2	
	実習指導Ⅱ	1	
	実習指導Ⅲ	2	
	キャリアアップセミナーⅡ	2	
室井 佑美	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	平成17年より東京都区立の障害保健福祉センター子ども療育事業で保育士として勤務の後、平成18年より病院内の医事課連携相談室で社会福祉士として勤務。 平成19年からは大学にて助教(実習担当)、専門学校での専任講師および非常勤講師、病院内で非常勤保育士として勤務を経て現在に至る。
	基礎演習	2	
	実習指導Ⅰ	2	
	実習指導Ⅱ	1	
	実習指導Ⅲ	2	
単位数 合計		60	

山村学園短期大学

〒350-0396 埼玉県比企郡鳩山町石坂604

【TEL】 049-296-2000

【FAX】 049-096-4880